

Canon

コントロールROM

CR-MES/MEN/HIS

コントロールフォントROM

CFR-M1/M2

15577ユーザーズガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

はじめに

このたびは、キヤノンコントロールROM (CR-MES、CR-MEN、CR-HIS)、コントロールフォントROM (CFR-M1、CFR-M2) をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本書はコントロールROM、コントロールフォントROMでご利用いただけるエミュレーションモード（以降I5577エミュレーションモードと呼びます）の各種の機能や操作パネルを使った操作のしかた、およびエミュレーションモードで使用できる制御命令などを詳しく説明しています。本書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、本書をお読みになる前に、必ずLBPシリーズ/iRシリーズの取扱説明書をお読みください。

本書は、LBPシリーズ付属の「ユーザーズガイド」および「LIPS機能ガイド」、iRシリーズ付属の「LIPSプリンタガイド」または「LIPSリファレンスガイド」といっしょにご活用ください。

Canon、Canonロゴ、iR、LBP、LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- 本書の内容を無断で転載することは禁止されております。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

第1章 ご使用になる前に

I5577エミュレーションモードの特長を紹介します。

第2章 I5577モードの解説

I5577エミュレーションモードの概要とエミュレーションモードの持ついろいろな機能について説明します。

本エミュレーションモードを初めてお使いになるときや、エミュレーションモードの機能の全容を知りたいときにお読みください。

第3章 I5577モードの設定

操作パネルを使って行うことのできるI5577エミュレーションモードのメニュー設定と、その操作について説明します。

本エミュレーションモードで作業するときにお読みください。

第4章 制御命令

I75モードの制御命令およびLBPシリーズ/iRシリーズ専用の制御命令について説明します。独自にプログラミングを行われるときにお読みください。

付 録

I5577エミュレーションモードをお使いになるときの注意事項や制限事項、初期状態の設定値、テストプリントのサンプルなどを掲載します。

必要に応じてお読みください。

本書で使用している記号

本書では、説明を分かりやすくするために、いろいろな記号を使用しています。



：操作の手順を説明しています。



：詳細な説明や、補足的な説明を行っています。



：ご使用上の注意事項や制限事項を説明しています。



：製品の破損などにつながる注意事項を説明しています。



：関連事項が説明されているページを知らせます。《P.ページ》



：制御命令のパラメータを説明しています。



：I75モードとProモード共通の説明です。



：I75モードの説明です。



：Proモードの説明です。

対応機種について

お使いのLBPシリーズ/iRシリーズによっては、本ROMを使用できない機種があります。

本ROMが使用できるかどうかについては、LBPシリーズに付属の「設置ガイド」または「ユーザーズガイド」、iRシリーズに付属の「LIPSプリンタガイド」または「LIPSリファレンスガイド」をご覧ください。

目次

第1章 ご使用になる前に	1-1
1.1 I5577モードの特長	1-2
1.2 I5577モードを使用する準備	1-5
1.3 PCI-5577との互換性について (LBPシリーズのみ)	1-7
第2章 I5577モードの解説	2-1
2.1 用紙のセット	2-2
2.2 ページフォーマット	2-3
2.2.1 ページフォーマットの種類	2-8
(1) 実寸で縦に印刷する【実寸縦：Fmode 1】	2-9
(2) 実寸で横に印刷する【実寸横：Fmode 2】	2-11
(3) 連続用紙 (10×11インチ) をA4縦に印刷する【10" →A4縦：Fmode 3】	2-12
(4) 連続用紙 (15×11インチ) をA4横に印刷する【15" →A4横：Fmode 4】	2-14
(5) 連続用紙 (15×11インチ) をB4横に印刷する【15" →B4横：Fmode 6】	2-16
(6) カット紙B4をA4縦に印刷する【B4→A4縦：Fmode 7】	2-18
(7) カット紙B4をA4横に印刷する【B4→A4横：Fmode 8】	2-20
2.2.2 1ページの文字数と行数	2-22
2.3 ワイド領域に印刷する	2-23
2.3.1 ワイド領域モードのページフォーマット	2-23
(1) 連続用紙 (10×11インチ) をA4縦いっぱい印刷する 【10"→A4縦：Fmode 3：ワイド領域】	2-23
(2) 連続用紙 (15×11インチ) をA4横いっぱい印刷する 【15"→A4横：Fmode 4：ワイド領域】	2-25
(3) 連続用紙 (15×11インチ) をB4横いっぱい印刷する 【15"→B4横：Fmode 6：ワイド領域】	2-26
(4) カット紙B4をA4縦いっぱい印刷する 【B4→A4縦：Fmode 7：ワイド領域】	2-27

(5) カット紙B4をA4横いっぱい印刷する	
【B4→A4横：Fmode 8：ワイド領域】	2-28
2.3.2 ワイド領域での1ページの文字数と行数	2-29
2.4 ページフォーマットと用紙サイズの関係	2-30
2.5 印字領域と印字動作	2-33
2.5.1 印字領域の上端での印字動作	2-33
2.5.2 印字領域の左端での印字動作	2-36
2.5.3 印字領域の下端での印字動作	2-38
2.5.4 印字領域の右端での印字動作	2-41
2.6 I5577モードの拡張機能	2-42
2.6.1 ページオーバーレイ機能	2-42
(1) システムページ	2-43
(2) ユーザページ	2-45
2.6.2 複写用紙機能	2-48
2.6.3 マクロ機能	2-53
2.6.4 行桁固定機能	2-57
2.6.5 2ページ印刷機能	2-62

第3章 I5577モードの設定 3-1

3.1 I5577モードの設定項目の種類	3-3
3.2 I5577モードの設定	3-7
3.2.1 ページレイアウトグループ	3-7
(1) ページフォーマットを設定する (ページフォーマット)	3-7
(2) 上余白を設定する (上余白)	3-9
(3) 用紙位置を左右に微調整する (用紙位置微調整)	3-11
(4) 印字領域を設定する (領域)	3-13
(5) 右マージンの位置を設定する (右マージン既定値)	3-14
(6) 印刷幅を設定する (印刷幅)	3-15
(7) 用紙サイズを設定する (用紙サイズ)	3-16
(8) 2ページ分のデータを1ページに印刷する (2ページ印刷設定)	3-17
3.2.2 行桁固定グループ	3-18

(1) 改行ピッチを自動的に設定する (行固定機能)	3-18
(2) 文字ピッチを自動的に設定する (桁固定機能)	3-19
(3) 1ページの行数を設定する (行数).....	3-20
(4) 1行の文字数を設定する (桁数).....	3-21
(5) 漢字の文字ピッチを設定する (LBPシリーズ：漢字ピッチ、iRシリーズ：漢字比率)	3-22
3.2.3 フォントグループ	3-23
(1) 漢字の書体を設定する (漢字書体)	3-23
(2) オプションの漢字書体を設定する (フォントID)	3-24
(3) JISコードの種類を切り替える (漢字グラフィックセット)	3-25
(4) 漢字サイズを設定する (漢字サイズ)	3-26
(5) OCR文字を設定する (LBPシリーズ：OCR文字、iRシリーズ：OCRフォント)	3-27
3.2.4 印字機能グループ	3-29
(1) イメージデータの補正を設定する (イメージの補正)	3-29
(2) システムページのオーバーレイ印字を設定する (システムオーバーレイ)	3-30
(3) マクロ機能を設定する (スタートアップマクロ)	3-32
(4) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ：ユーザオーバーレイ1、iRシリーズ：ユーザオーバーレイ1設定)	3-34
(5) ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ：ユーザオーバーレイ2、iRシリーズ：ユーザオーバーレイ2設定)	3-35
(6) カットシートフィード制御の選択 (ASFコントロール) <LBPシリーズのみ>	3-36
3.2.5 印字動作グループ	3-37
(1) 自動排紙の時間を設定する (自動排紙)	3-37
(2) ヘキサ形式モード後の改行無視の設定 (LBPシリーズ：HEXモード後のLF、iRシリーズ：HEXモード後の改行設定)	3-39
(3) イメージの折り返しモードを設定する (イメージラップ)	3-40
3.2.6 VFCグループ	3-41
(1) 改行ピッチの設定 (改行幅)	3-41
(2) 初期状態で有効になるページ長を設定する (用紙長機能)	3-42
(3) ページ長を設定する (用紙長設定)	3-43
(4) ミシン目スキップ行数を設定する (ミシン目スキップ)	3-45

3.2.7	プロプリンタグループ	3-46
(1)	復帰コード受信時の動作を設定する (CR機能)	3-46
(2)	制御命令の復帰動作を設定する (自動復帰機能)	3-47
(3)	ゼロの書体を設定する (ゼロ書体)	3-48
(4)	文字セットを設定する (文字セット)	3-49
(5)	コードページを設定する (コードページ)	3-50
(6)	代替グラフィックモードを設定する (グラフィックモード)	3-51
3.2.8	その他のグループ	3-52
(1)	I75/Proモードを切り替える (コマンドモードメニュー)	3-52
(2)	登録データの削除方法を設定する (登録レベル)	3-53
(3)	ヘキサ形式モードを設定する (HEX/LIPS機能)	3-54
(4)	フォーム登録時のLIPSモードを設定する (LIPSフォーム)	3-56

第4章 制御命令

4.1	制御命令の種類	4-2
(1)	I75モードの基本制御命令	4-4
(2)	I75モードの拡張制御命令	4-4
(3)	LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令	4-6
4.2	I5577モードの制御命令	4-8
4.2.1	基本制御命令	4-8
(1)	後 退	4-8
(2)	水平タブ位置への移動	4-8
(3)	改 行	4-9
(4)	垂直タブ位置への移動	4-9
(5)	改ページ	4-10
(6)	復 帰	4-11
(7)	データ削除	4-11
(8)	固定長イメージデータの印字	4-12
(9)	スペース	4-12
4.2.2	[ESC]シーケンス	4-13
(1)	イメージデータの印字	4-13

(2) イメージデータの拡大印字	4-14
(3) 水平相対位置への移動 (右方向)	4-16
(4) 水平相対位置への移動 (左方向)	4-17
(5) 垂直相対位置への移動 (下方向)	4-18
(6) 水平絶対位置への移動	4-18
(7) 垂直相対位置への移動 (上方向)	4-19
(8) 改行ピッチの設定 (1/120インチ単位)	4-20
(9) イメージの3バイト転送モードの指定	4-21
(10) イメージの2バイト転送モードの指定	4-22
(11) ページ長の設定	4-23
(12) 給紙 (改ページ)	4-24
(13) 排紙 (改ページ)	4-24
(14) 文字の横幅拡大指定	4-25
(15) 文字の横幅拡大解除	4-25
4.2.3 [ESX]シーケンス	4-26
(1) LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理	4-26
(2) 文字ピッチの設定	4-26
(3) 改行ピッチの設定 (lpi単位)	4-27
(4) ページ長の設定	4-28
(5) ANK文字フォントの指定	4-29
(6) 全文字コードの印字	4-30
(7) 給紙 (改ページ)	4-30
(8) 排紙 (改ページ)	4-31
(9) ANK文字の横幅縮小指定	4-31
(10) ANK文字の横幅縮小解除	4-32
(11) 文字の横幅拡大指定	4-32
(12) 文字の横幅拡大解除	4-33
(13) 縦書きモードの指定	4-33
(14) 横書きモードの指定	4-34
(15) 上付き文字の指定	4-34
(16) 下付き文字の指定	4-35
(17) 上付き/下付き文字の解除	4-35

(18) 1/2行逆改行	4-36
(19) 1/2行改行	4-36
(20) イメージの3バイト転送モードの指定	4-37
(21) イメージの2バイト転送モードの指定	4-38
(22) 強調印字の指定	4-39
(23) 強調印字の解除	4-39
(24) アンダーラインの指定/解除	4-40
(25) 重ね印字の指定/解除	4-41
(26) 水平タブ位置の設定	4-43
(27) 垂直タブ位置の設定	4-45
(28) 左右マージンの設定	4-46
(29) ミシン目スキップ行数の設定	4-47
(30) 水平方向への絶対移動/相対移動	4-48
(31) 垂直相対位置への移動(下方向)	4-50
(32) 文字の拡大/縮小指定	4-51
4.3 LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令	4-52
4.3.1 フォーム作成の制御命令	4-52
(1) ユーザページの登録	4-52
(2) ユーザページの登録終了	4-53
(3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録	4-54
(4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了	4-57
(5) 複写ページの登録	4-57
(6) 複写ページの消去	4-58
(7) 複写用紙のオーバーレイ印字開始	4-59
(8) 複写用紙のオーバーレイ印字終了	4-60
4.3.2 文字修飾の制御命令	4-61
(1) 強調印字の指定/解除	4-61
(2) 縦縮小文字の上付き/下付き指定	4-62
(3) 文字の拡大/縮小指定	4-63
(4) 文字ピッチの設定	4-64
(5) 漢字文字ピッチの1/2指定/解除	4-65
(6) 全文字印字	4-65

4.3.3	マクロ機能の制御命令	4-66
(1)	マクロの登録	4-66
(2)	マクロの実行	4-67
(3)	マクロの削除	4-67
(4)	マクロの追加登録	4-68
4.3.4	LIPSモードの制御命令	4-69
(1)	LIPS-ヘキサ形式モードの開始	4-69
4.3.5	そのほかの制御命令	4-71
(1)	ヘキサ形式データの設定	4-71

付 録		app.1
付録1.	I5577モードの注意と制限	app.1
(1)	解像度の違いについて	app.1
(2)	文字セット・フォントパターンについて	app.2
(3)	そのほかの制限	app.3
付録2.	初期状態	app.7
付録3.	I5577ステータスプリント	app.18
付録4.	内蔵フォームの印字サンプル	app.19
付録5.	コード表	app.24
(1)	I75モード（日本語モード）の1バイトコード表	app.24
(2)	プロモード（英語モード）の1バイトコード表	app.25
(3)	2バイトコード表	app.27

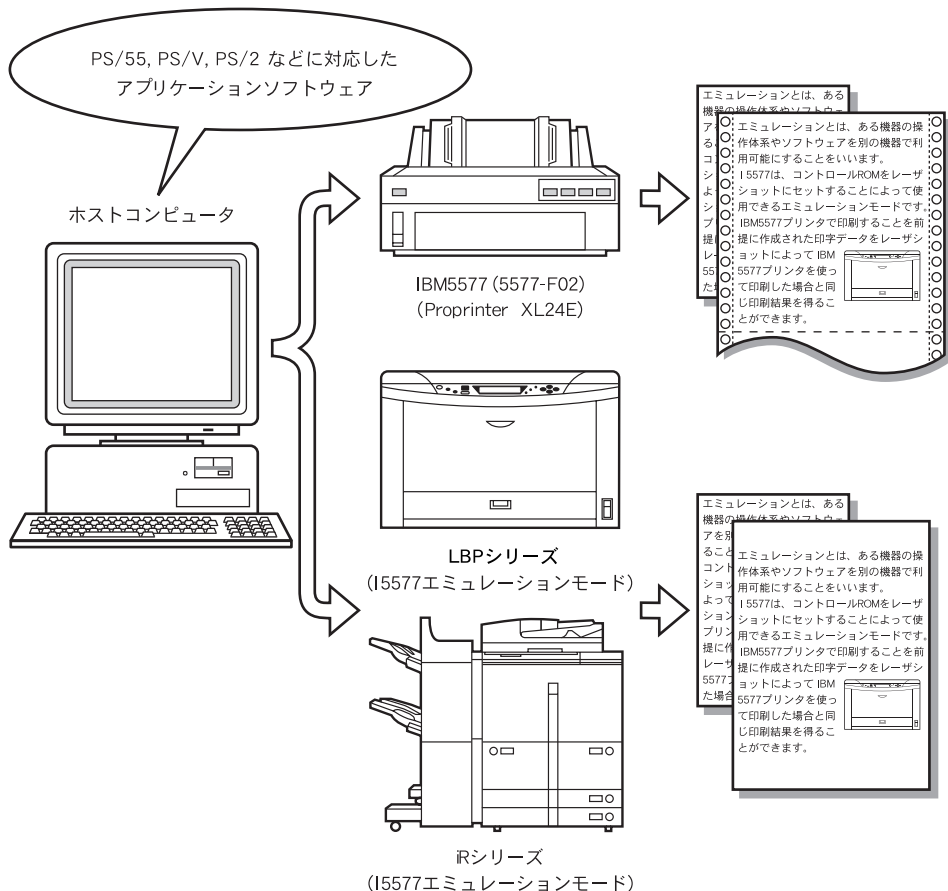
1

ご使用になる前に

本ROM (CR-MES、CR-MEN、CR-HIS、CFR-M1、CFR-M2) を LBPシリーズ/iRシリーズにセットすることによって、I5577エミュレーションモードをご利用いただけます。

LBPシリーズ/iRシリーズの動作モードが本ROMのI5577エミュレーションモードに切り替わることによって、IBM5577プリンタを使って印字したときと同等の印字を行うことができます。

LBPシリーズ/iRシリーズのLIPSモードに対応していないアプリケーションソフトウェアなどをお使いのときは、アプリケーション側でプリンタ機種にIBM5577 (または同等の機種) を指定し、本エミュレーションモードをご利用ください。



1

ご使用になる前に

1.1 I5577モードの特長

日本語モードと英語モードをエミュレーション……………
IBM5577の日本語モードはIBM5575-F02プリンタと同等の機能を持ち、英語モードはIBM Proprinter XL24Eプリンタと同等の機能を持ちます。本エミュレーションモードは、IBM5577プリンタの持つ日本語モードおよび英語モードの印字動作をそれぞれエミュレーションします。IBM5577が接続可能なIBMPS/55シリーズ、PS/V、PS/2などのホストコンピュータのシステムに合わせて、日本語のオペレーティングシステム（日本語DOS、OS/2J、DOS/V日本語モードなど）をお使いの場合は日本語モード（以降I75モードと呼びます）、英語のオペレーティングシステム（IBM PC-DOS、OS/2、DOS/V英語モードなど）をお使いの場合は英語モード（以降Proモードと呼びます）に切り替えてご使用ください。エミュレーションモードの切り替えは、LBPシリーズでは操作パネルのセットアップメニュー（I5577グループ）、iRシリーズでは操作パネルのI5577設定によって行えます。《☞ P.3-52》

豊富な書体をサポート……………
IBM5577の持っているすべての文字フォントに対応する専用のフォントが用意されています。日本語モードでは、明朝10cpi、12cpi、15cpi、DPゴシック、クーリエ、エリートを持ち、英語モードでは、クーリエ10cpi、エリート12cpi、縮小文字17.16cpi、プロポーショナルを持っています。また、日本語モードでは明朝体のほか、ゴシック体、丸ゴシック体（丸ゴシック体がプリンタに搭載されている場合のみ）、OCR文字（OCR-A、OCR-B、OCR-カナ）を使用できます。

ページのレイアウトを活かした印字……………
IBM5577と同じサイズの内紙をセットすれば、IBM5577と同じレイアウトで印字できることはもちろんですが、印字する内紙に応じて印字データを縮小してレイアウトを変えずに印字することもできます。たとえば、連続用紙に印字するためのデータをレイアウトを変えることなく、そのままカット紙に印字したり、B4サイズのデータをA4サイズのカット紙に印字したりすることが可能です。《☞ P.2-3》

1ページの文字数や行数を簡単に決定

1ページに印字したい行数や文字数が決まっていれば、その行数や文字数に合わせて改行ピッチと文字ピッチを自動的に設定できます。また、文字幅の異なる漢字と英数字を混ぜて印字したときに、文字がきれいにそろうように文字間隔を調整することもできます。この機能を行桁固定機能といいます。この機能は、LBPシリーズでは操作パネルのセットアップメニュー（I5577グループ）、iRシリーズでは操作パネルのI5577設定によって利用できます。《P.2-57》

用紙を無駄なく活用した印字

印字データを縮小すると、用紙の上下、左右の余白ができることがあります。このようなとき、印字領域をワイド領域にすることによって、文字数や行数を用紙サイズいっぱいまで広げて印字することができ、用紙を無駄なく使えます。《P.2-23》

設定しやすいメニュー構造

このエミュレーションモードでは、操作パネルを使って印字に必要ないろいろな設定を行うことができます。印字設定の項目はメニュー形式で並んでおり、ディスプレイに表示されるメニューにしたがって簡単に探すことができます。それぞれの設定は、LBPシリーズでは操作パネルのセットアップメニュー（I5577グループ）、iRシリーズでは操作パネルのI5577設定で行うことができます。

印字設定はメモリに登録

メニューなどで設定した印字環境は、自動的に不揮発性メモリに登録されます。ですから、いったん設定値を登録してしまえば、他の動作モードに移ったり、電源をオフ（同等のリセット処理も含みます）にしたりしても、いつでも同じ設定で印字を行うことができます。

印字データと定型フォームを重ねて印字

ページ全体を枠取りしたり、1行おきに網や横罫を入れたりするデータをページ単位であらかじめ用意しておき、プログラムリストや帳票データなどを印字する際に、重ねて印字することができます。この機能をページオーバーレイ機能といい、重ねる罫線や網かけデータをフォームといいます。

LBPシリーズ/iRシリーズには、5種類の汎用的なフォームが登録されていますが、必要に応じてユーザ独自のフォームを作成し、登録することもできます。《P.2-42》

バックカーボン付き複写用紙のような印字が可能……………

バックカーボン付き複写用紙を使用したときと同じように、1ページの印字データを送るだけで、複写枚数分の印字を行えます。この機能を複写用紙機能といいます。それぞれの複写ページには、共通の枠や罫線などをオーバーレイ印字することができるほか、異なるタイトル名などをページごとにオーバーレイ印字することもできます。《☞ P.2-48》

定型的な処理を登録……………

一連の処理を行う制御命令の手順や、文字・イメージなどのデータが繰り返し使用される場合は、それらのデータを登録し、必要なときに呼び出して実行することができます。この機能をマクロ機能といいます。マクロを使うと、同じ印字データを繰り返し送る必要がなくなるため、印字処理を効率化できます。マクロの登録や実行は制御命令によって行えます。《☞ P.2-53》

また、制御命令でリセット処理が行われた場合に自動的に特定のマクロを実行することもできます。このマクロをスタートアップマクロといい、LBPシリーズでは操作パネルのセットアップメニュー（I5577グループ）、iRシリーズでは操作パネルのI5577設定で設定できます。《☞ P.3-32》

2ページのデータを見開きで印字……………

A4サイズやB5サイズの用紙2ページ分の内容を、A3サイズやB4サイズの用紙に見開きになるように印字することができます。印字した文書を二つ折りにしてとじるときなどに便利です。

なお、文書のとじかたに応じて、右開きまたは左開きになるようにページの向きを設定することも可能です。《☞ P.2-62》

1.2 I5577モードを使用する準備

本ROM (CR-MES、CR-MEN、CR-HIS、CFR-M1、CFR-M2) をLBPシリーズ/iRシリーズにセットすることによって、LBPシリーズ/iRシリーズに内蔵されたLIPSモード (LIPS II+、LIPS III、LIPS IV)、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードのほかに、IBM5577プリンタの日本語モード (I75モード) と英語モード (Proモード) をエミュレートすることができるようになります。

印字を行うときのLBPシリーズ/iRシリーズのモード (動作モードといいます) は、送られてくる印字データを判別して自動的に切り替わりますので、特に設定する必要はありません。ただし、動作モードの自動切り替えがうまくいかなかったり、印刷が正常に行えない場合は、動作モードを本エミュレーションに設定してください。

使用するモードが決まっているときなどは、動作モードの設定を本エミュレーションに設定することをお勧めします。詳しくは、LBPシリーズ/iRシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。

また、セントロニクスインタフェースで使用している場合に、動作モードを固定しても正常に印刷されないときは、以下の操作を行ってください。

- (1) 専用インタフェースケーブルを使用してください。
- (2) LBPシリーズの場合はインタフェースの設定を「セントロニクス」に設定し、ハードリセットまたは電源のオフ/オンをしてください。

詳しくは、LBPシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。



ハードディスクを装着しているLBPシリーズで本エミュレーションを使用する場合、「タイムアウト」を無効 (シナイ) に設定すると正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。



■I5577エミュレーションモードは、従来のLBPシリーズで使用できるPCI-5577/3コントロールカードの機能を継承し、かつ新しいLBPシリーズに対応したIBM5577のエミュレーションモードです。

■コントロールROM (CR-MES、CR-MEN、CR-HIS) をLBPシリーズに取り付ける手順については、LBPシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。

本エミュレーションモードには、日本語モードに対応するI75モードと英語モードに対応するProモードの2種類のコマンドモードがあります。

工場出荷時の設定では、I75モードになっています。Proモードでお使いになる場合は、LBPシリーズではセットアップメニュー、iRシリーズではI5577設定によってモードを切り替えてください。



「3.2.8 その他のグループ (1) I75/Proモードを切り替える」 《☞ P.3-52》



LBPシリーズの場合は、オンラインエミュレータ等の特殊なハンドシェイクを必要とするアプリケーションを使用する際にはLIPSのジョブが終了したことを確認してから起動してください。

1.3 PCI-5577との互換性について（LBPシリーズのみ）

コントロールROMのI5577エミュレーションモードは、旧コントロールカードPCI-5577のエミュレーションと次の点などで異なります。

旧エミュレーションモードをご利用の方は、本エミュレーションモードをご利用になる前に、ここの説明をよくお読みください。

ページフォーマットFmode 4, 7, 8のイメージ印字

旧エミュレーションモードでは、ページフォーマットFmode4, 7, 8のときにイメージを実寸で印字していましたが、本エミュレーションモードでは、LBPシリーズの解像度が600dpiまたは300dpiであるため同じ大きさに見えるように印字するためイメージを拡大しています。

文字フォント

文字フォントのデザインが旧エミュレーションモードと異なります。

メニューの操作とリセット処理

旧エミュレーションモードでは、操作パネルによって排紙やメニュー操作を行ったときに一部のメニュー操作を除き印字パラメータが保持されていましたが、本エミュレーションモードでは、それらの操作を行った場合にジョブ終了が行われます。

イメージの展開

旧エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度240dpiと、本エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度600dpiまたは300dpiとの違いから、イメージの展開方法が異なります。本エミュレーションモードでは、イメージの印字方法をメニューの「イメージの補正」で選択できます。

登録文字の印字

エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度の違いによって、登録文字はパターンを拡大して登録します。

文字罫線の印字方法

旧エミュレーションモードでは、メニューの設定で罫線文字の印字方法をイメージまたはキャラクタ（文字）から選択できましたが、本エミュレーションモードでは、イメージとして印字します。

ページ番号の印字

旧エミュレーションモードにあったページ番号を印字する機能は、本エミュレーションモードにはありません。

複写用紙機能の開始

複写用紙機能の開始を指定した場合、旧エミュレーションモードでは現在ページから機能が有効になりましたが、本エミュレーションモードでは現在のページに影響を与えず、次ページから有効になります。

未登録マクロ実行時の処理

旧エミュレーションモードでは、メニューにより、未登録のマクロを実行した場合に処理を続行するか、オフライン状態にするかを選択できましたが、本エミュレーションモードでは未登録のマクロを実行しても処理は続行されます。

用紙サイズの確認

旧エミュレーションモードでは、メニューの設定により、操作パネルまたは制御命令で設定した用紙サイズとLBPシリーズにセットされている用紙サイズが異なるかどうかをチェックする機能がありましたが、本エミュレーションモードではセットアップメニュー（共通メニュー）の自動エラースキップの設定に従います。

ホスト・コンピュータ

本エミュレーションモードは、16ビットCPUのホスト・コンピュータには対応していません。

システムページのフォーム

オーバーレイ印字を行うシステムページの定形フォームの矩形罫線は、旧エミュレーションモードでは1ページ内の印字可能行数を元に罫線を描いていましたが、本エミュレーションモードでは有効印字領域を元に描きます。

また、システムページ2および5の網かけの順序は、旧エミュレーションモードでは網罫から始まっていましたが、本エミュレーションモードでは網かけしない行から始まります。

オーバーレイページの反転・上書き

旧エミュレーションモードではオーバーレイページに対して実ページの反転・上書き印字ができましたが、本エミュレーションモードではできません。

LIPS-ヘキサ形式モード

旧エミュレーションモードは、LIPS II+の命令のみ使用でき、LIPSのジョブ開始/終了命令、ソフトリセット命令は無効でしたが、本エミュレーションモードではLIPS命令に制限が緩和され、LIPSのジョブ開始/終了命令、ソフトリセット命令も有効になります。したがって、LIPSのジョブ終了命令でLIPS-ヘキサ形式モードを終了します。

また、従来はLIPS-ヘキサ中に登録したものはLIPS-ヘキサを終了するときに削除していましたが、本エミュレーションモードでは削除せず、登録されています。

また、本エミュレーションではI5577モードで登録したものの、LIPS-ヘキサモードの開始/終了をしても削除されません。LIPS-ヘキサ中の登録は一時登録で行い、不用になった登録データは必ずLIPS-ヘキサ終了前にソフトリセット命令を発行して削除してください。

LIPSの制御命令によるユーザページの登録

旧エミュレーションモードは、LIPS II+の命令のみ使用できましたが、本エミュレーションモードではメニューの「LIPSフォーム」で次の2種類のモードが選べます。

●メニューで「LIPS2」を選んだとき

旧エミュレーションモードと同様に、LIPS II+の命令のみ使用できます。

したがって、LIPSのジョブ開始命令やオーバーレイページ登録開始命令などが使用できません。

●メニューで「LIPS4」を選んだとき

LIPS命令に制限がなくなります。ただし、LIPSのジョブ開始命令やオーバーレイページ登録開始命令などが正しく送られなければなりません。

メニューとホルダー

本エミュレーションモードでは、排紙などのパネル操作を行った場合や、ジョブタイムアウトした場合に、メニューで設定した値にリセットされます。また、従来のホルダー機能は使用できません。

エミュレーションモードの自動切り替え

本エミュレーションモード使用時は、動作モードを自動切り替える機能は使用できません。

メニューの機能

旧エミュレーションモードのメニューにあった次の機能はサポートされません。

- ページ番号印字の機能は、本エミュレーションモードでは使用できません。
- 未登録のマクロを実行したときの処理を継続が停止か選択できましたが、本エミュレーションモードではつねに継続となります。
- 旧エミュレーションモードでは、操作パネルなどで設定した用紙サイズと給紙元のサイズを確認し、用紙サイズが異なる場合の処理を続行または中止から選択できましたが、本エミュレーションモードではつねに印字を中止してメッセージを表示します。

フォント／解像度の違い

フォントおよび解像度に関連して、次のような違いがあります。

- 旧エミュレーションモードでは、240dpiのドットフォントを使用していましたが、本エミュレーションモードでは本体内蔵のスケラブルフォントを使用します。また、従来は240dpiで印字していましたが、本エミュレーションモード対応のLBPシリーズでは600dpiまたは300dpiで印字します。このため、印字結果や印字スピードが異なる場合があります。
- 解像度が異なるため、イメージの補正や登録文字の展開方法も異なります。また、罫線文字はつねにイメージとして印字されます。
- 240dpi専用のイメージデータ、登録文字パターンデータは、従来と同じ大きさになるように補正されるため、印字するパターンが異なります。矩形罫線も線幅および太り方の違いがあるほか、4点に同一点を指定した場合描画されません。
- 旧エミュレーションモードでは、拡大文字をスケラブルフォントで印字するかどうかをメニューで設定しましたが、本エミュレーションモードでは、すべてスケラブルフォントで印字します。

フォント指定

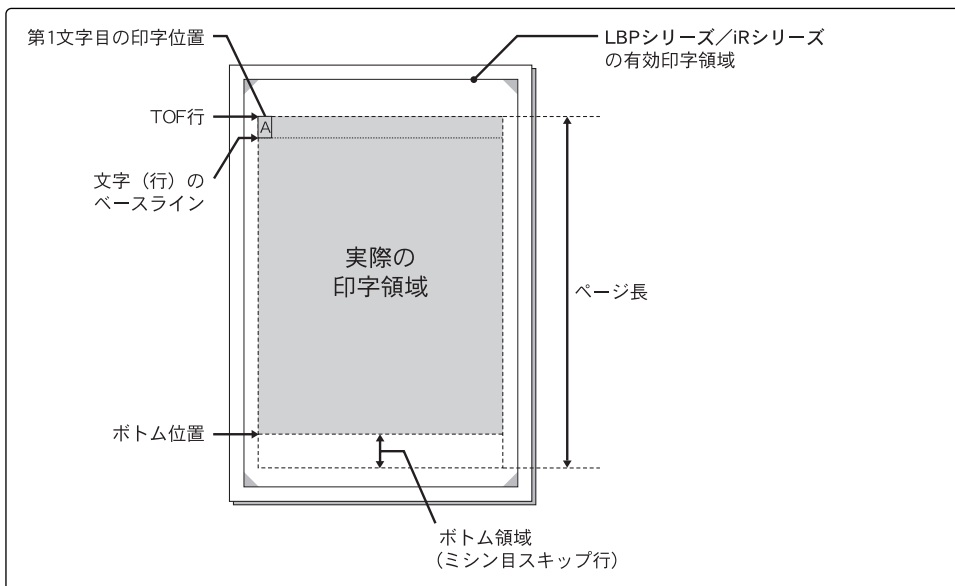
LIPSの制御命令によるページ登録中は、LIPSのフォントが指定できます。また、LBPシリーズ専用命令による文字セットの選択では本体内蔵の漢字フォントのみ指定できます。

2


15577モードの解説

本 エミュレーションモードを使用して印字を行うときの用紙の向きと印字方向の関係や、IBM5577プリンタと同等の印字結果を得るための情報などについて説明します。

本エミュレーションモードでは、実際用の紙上での印字位置と印字領域について次の用語で説明しています。



■実際の印字領域

IBM5577プリンタ用に作成された印字データが、の領域に同等のレイアウトで印字されます。印字領域の位置とサイズは最初に決められていますが、LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域内で変更できます。

■ページ長とボトム領域

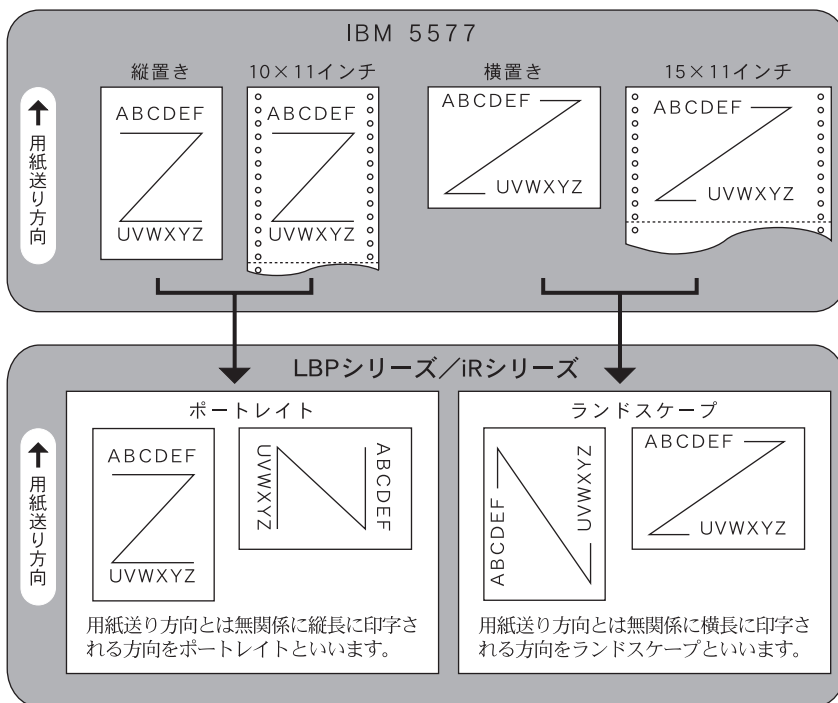
印字領域のページ長はLBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域内で任意の行数に変更することができます。また、印字しないで改ページする領域（ボトム領域）を設定することもできますので、連続用紙用に作成されたデータなども任意のレイアウトで印刷することができます。

2.1 用紙のセット

IBM5577はカット紙や連続用紙に印字できます。印字方向は常に一定ですから、カット紙を縦置きや横置きにすることで縦長（ポートレイト）または横長（ランドスケープ）の文書を印字します。

これに対して、LBPシリーズ/iRシリーズは印字に際して用紙の方向（縦置き／横置き）を意識する必要はありません。操作パネルの設定によって縦長（ポートレイト）で印刷するか横長（ランドスケープ）で印刷するかが決まり、印字データ全体の向きを自動的に変換して印字します。また、連続用紙を想定した印字データもカット紙に印字します。

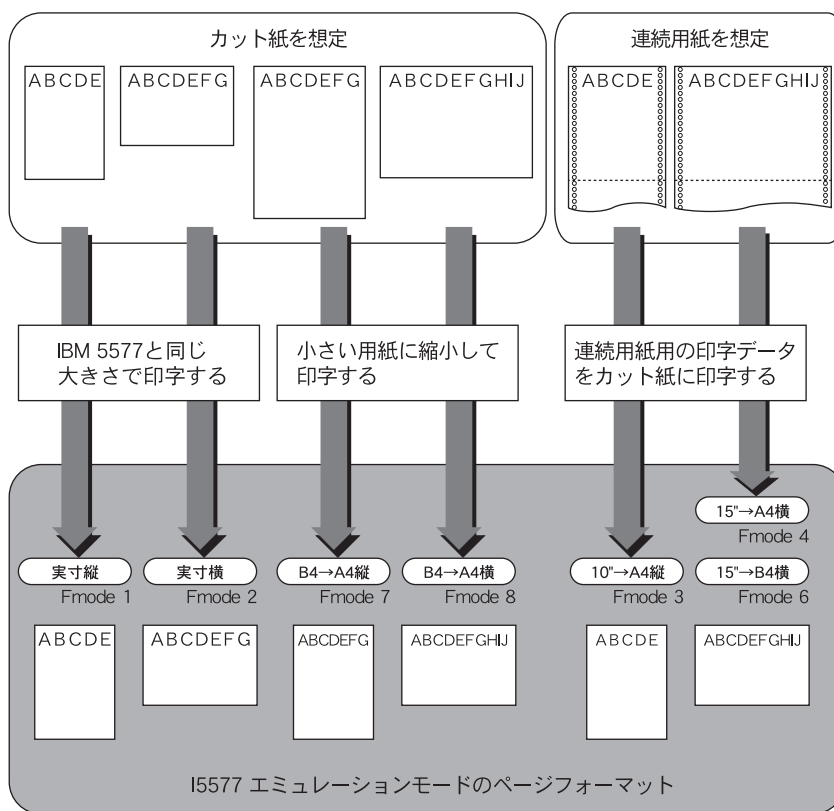
IBM5577で印刷するときと本エミュレーションモードで印刷するときの用紙セットの対応は次のとおりです。



2.2 ページフォーマット

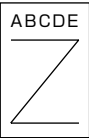
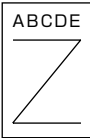
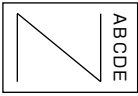
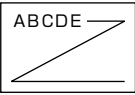
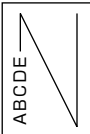
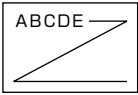
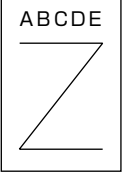
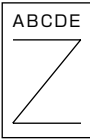
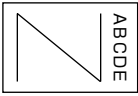
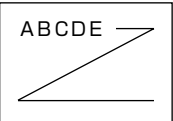
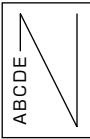
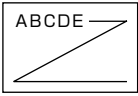
15577エミュレーションモードには、IBM5577プリンタでの印刷を想定した様々なアプリケーションソフトウェアおよび印字データに対応するために、7種類のページフォーマットが用意されています。

ホストコンピュータ側で印字開始を指示する前に、想定されている用紙の種類（カット紙／連続用紙／用紙サイズ）や用紙の方向（縦置き／横置き）に合わせて、最適なページフォーマットを選んでおきます。



ページフォーマット名の右下にある名称（Fmode 1, 2, 3, 4, 6, 7, 8）は、各ページフォーマットに対応するモードNo.です。以後、本書の操作説明および制御命令の説明では、おもにこのモードNo.を使用しています。

■カット紙のページフォーマット

ページ フォーマット	IBM 5577	I5577エミュレーションモード	
		縦送り	横送り
実寸縦 (Fmode 1)	縦置き 		ポートレイト 
	IBM 5577にカット紙を縦置きでセットすることを想定している印字データを実寸のポートレイトで印字します。		
実寸横 (Fmode 2)	横置き 		ランドスケープ 
	IBM 5577にカット紙を横置きでセットすることを想定している印字データを実寸のランドスケープで印字します。		
B4→A4縦 (Fmode 7)	縦置き 		ポートレイト 
	IBM 5577にB4サイズのカット紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してポートレイトで印字します。		
B4→A4横 (Fmode 8)	横置き 		ランドスケープ 
	IBM 5577にB4サイズのカット紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		



■ページフォーマットFmode 1, 2では、IBM5577の印字結果と同じ大きさ（実寸）で印字します。これに対して、Fmode 7, 8は、印字データを縮小します。

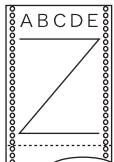
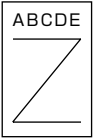
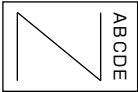
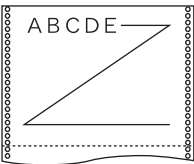
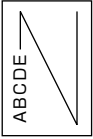
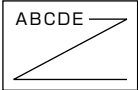
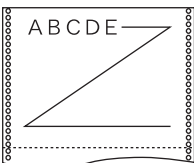
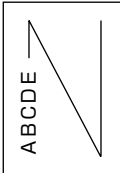
■操作パネルで設定されている用紙サイズにしたがってレイアウト・印字されます。
「3.2.1 ページレイアウトグループ（7）用紙サイズを設定する」《☞ P.3-16》

■改ページの制御命令により、ページ長の設定に関わらず用紙1枚を排紙します。ただし、Proモードでは、ページ長の設定によって1ページに印字できる行数（改ページの位置）が変わります。

「3.2.2 行桁固定グループ（3）1ページの行数を設定する」《☞ P.3-20》

「3.2.6 VFCグループ（3）ページ長を設定する」《☞ P.3-43》

■連続用紙のページフォーマット

ページ フォーマット	IBM 5577	I5577エミュレーションモード	
		縦送り	横送り
10"→A4縦 (Fmode 3)	10×11インチ 	A4以上 	ポートレイト A4以上 
	IBM 5577に10×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してポートレイトで印字します。		
15"→A4横 (Fmode 4)	15×11インチ 	A4以上 	ランドスケープ A4以上 
	IBM 5577に15×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		
15"→B4横 (Fmode 6)	15×11インチ 	ランドスケープ 	B4以上
	IBM 5577に15×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをB4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		



■連続用紙に対応するページフォーマットは、印字データを縮小して印字します。

■1ページに印字できる行数（改ページの位置）は、ページ長の設定によって異なります。

「3.2.2 行桁固定グループ（3）1ページの行数を設定する」《☞ P.3-20》

「3.2.6 VFCグループ（2）初期状態で有効になるページ長を設定する」《☞ P.3-42》

「3.2.6 VFCグループ（3）ページ長を設定する」《☞ P.3-43》

「3.2.6 VFCグループ（4）ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-45》

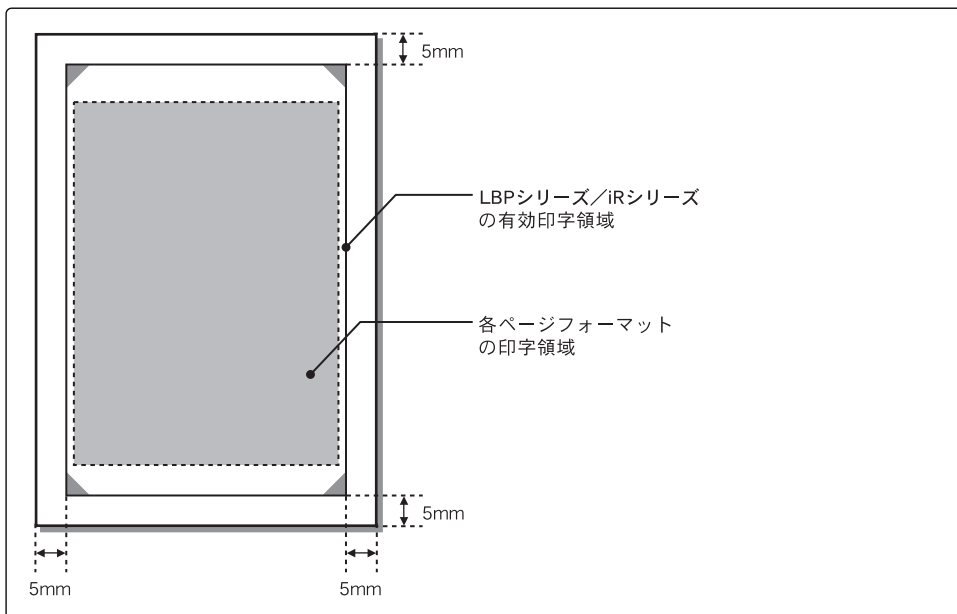
■用紙の余白を有効に活用するワイド領域モードが使用できます。

「3.2.1 ページレイアウトグループ（4）印字領域を設定する」《☞ P.3-13》

2.2.1 ページフォーマットの種類

本エミュレーションモードの7種類のページフォーマットについて説明します。それぞれのページフォーマットでは、IBM5577プリンタと同等の印字結果を得られるように、印字データの縮小方法や、印字領域などが決められています。

なお、LBPシリーズ/iRシリーズの機械的な制限により、用紙の上下、左右5mmの範囲には印字できません。この余白を除いた印字可能な範囲を有効印字領域といいます。各ページフォーマットでは、この有効印字領域内に、IBM5577用に作成された印字データが収まるように、それぞれ印字領域が定められています（設定によって、実際の印字領域は有効印字領域内で変更可能です）。



図に示されている周囲の空きを示す値はLBP-730で本エミュレーションを使用した場合の参考値です。

尚、以降の図や文中に示されている値も同様です。



ページフォーマットはメニューの「ページフォーマット」で設定します。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (1) ページフォーマットを設定する」 《☞ P.3-7》

(1) 実寸で縦に印刷する【実寸縦：Fmode 1】

IBM5577にカット紙を縦置きにセットして印字するときのデータを、実寸のサイズでポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。

改行ピッチ、文字間隔は、IBM5577と同一です。

■用紙サイズ

A3、B4、A4、B5、A5、はがきの6種類のサイズの用紙を使用できます。

用紙サイズは、メニュー操作または制御命令で設定したサイズになります。

初期状態の用紙サイズは、LBPシリーズでは現在選択されている給紙元の用紙サイズ、iRシリーズでは共通メニューの「デフォルト用紙サイズ」で設定されている用紙サイズになります。

■文字の印字

ANK文字および漢字を10ポイントの文字フォントで印字します。ただし、メニューの「漢字サイズ」によって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は10ポイントのままです）。

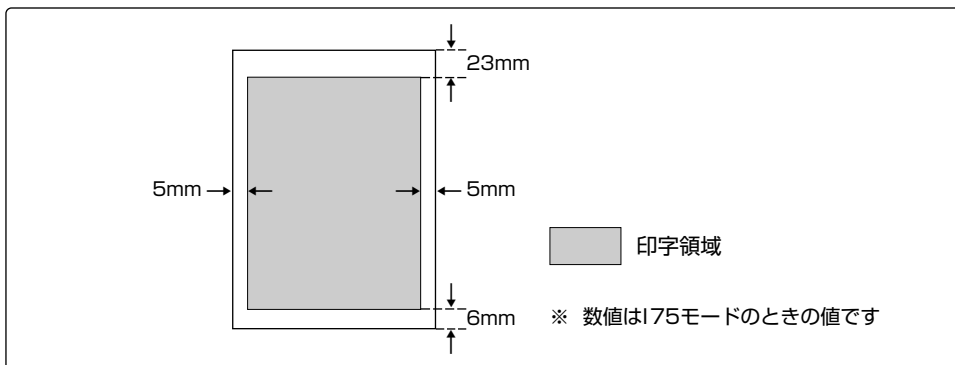
■イメージの印字

IBM5577の解像度とLBPシリーズ/iRシリーズの解像度の違いにより、1ドットを約1.67ドット（300 dpi）に拡大して印字します。

■印字領域

■第1文字目の印字位置

TOF行は用紙の上端から約23mmの位置になり、第1文字目の印字位置は、有効印字領域の左端とほぼ同じ位置になります。



■印字データの折り返し位置

メニューの「右マージン既定値」および「印刷幅」の設定によって、行の折り返しかが変わります。初期状態は「13.2インチ」に設定されています。

- 「印刷幅」：用紙サイズに関係なく印字領域の左端からメニューの「印刷幅」で設定した値（13.2インチ、13.6インチまたは8インチ）の位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が設定値より狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。
- 「右端」：印字する用紙サイズの有効印字領域の右端（用紙端から5mm内側）が折り返し位置になります。右端を越えた印字データは、次行の左端に折り返して印字します。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (5) 右マージンの位置を設定する」《☞ P.3-14》

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 印刷幅を設定する」《☞ P.3-15》

■ページ長

メニューの「用紙長機能」が「無効」（初期状態）に設定されているときは、リセット処理後、現在の用紙サイズにしたがったページ長に決まります。このときのボトム位置は、IBM5577のカットシートフィーダが用紙の終わりを検出する位置とほぼ同じ位置です。

「用紙長機能」が「有効」に設定されているときは、「用紙長設定」の設定によって、ページ長が決まります。

「3.2.6 VFCグループ (2) 初期状態で有効になるページ長を設定する」《☞ P.3-42》

「3.2.6 VFCグループ (3) ページ長を設定する」《☞ P.3-43》

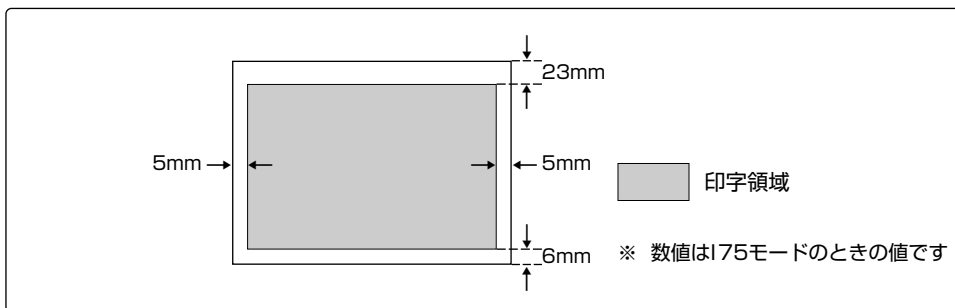
(2) 実寸で横に印刷する【実寸横：Fmode 2】

IBM5577にカット紙を横置きにセットして印字するときのデータを、実寸のサイズでランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。

改行ピッチ、文字間隔は、IBM5577と同一です。

用紙サイズ、文字の印字、イメージの印字、印字領域などについては、「ジッスタテ」（Fmode 1）と同じです。

■印字領域



B4、A3サイズの内紙を使用する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

(3) 連続用紙 (10×11インチ) をA4縦に印刷する【10” →A4縦 : Fmode 3】

IBM5577に10×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙 (またはA4サイズ以上の用紙) にポートレイト (縦置きと同じ印字結果になる) で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

IBM5577に10×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲 (横方向8インチ、縦方向11インチ) を、横方向、縦方向ともに290/300倍に縮小します。

■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのとおり縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

ANK文字および漢字を10ポイントの文字フォントで、文字ピッチをつめて印字します。

ただし、メニューの「漢字サイズ」によって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります (ANK文字は10ポイントのままです)。

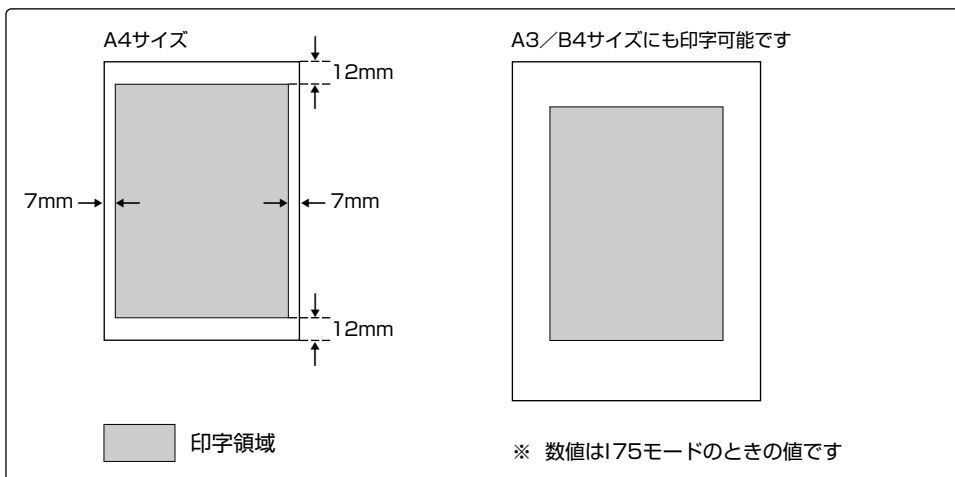
■イメージの印字

IBM5577の1ドットを約1.61ドット (300dpi) に拡大して印字します。

■印字領域

■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ (標準) では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3、B4サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左端に大きな余白ができます。



■印字データの折り返し位置

メニューの「印刷幅」で設定した位置（13.2インチ、13.6インチまたは8インチ）で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が設定した値より狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません

「3.2.1 ページレイアウトグループ（6）印刷幅を設定する」《P.3-15》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際用の紙上では約10.7インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

(4) 連続用紙 (15×11インチ) をA4横に印刷する【15” →A4横 : Fmode 4】

IBM5577に15×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙 (またはA4サイズ以上の用紙) にランドスケープ (横置きと同じ印字結果になる) で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

IBM5577に15×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲 (横方向13.6インチ、縦方向11インチ) を、横方向3/4倍、縦方向2/3倍 (横方向10.2インチ、縦方向7.3インチ) に縮小します。

■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのときと同じ縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで印字します。ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります (ANK文字は8ポイントのままです)。

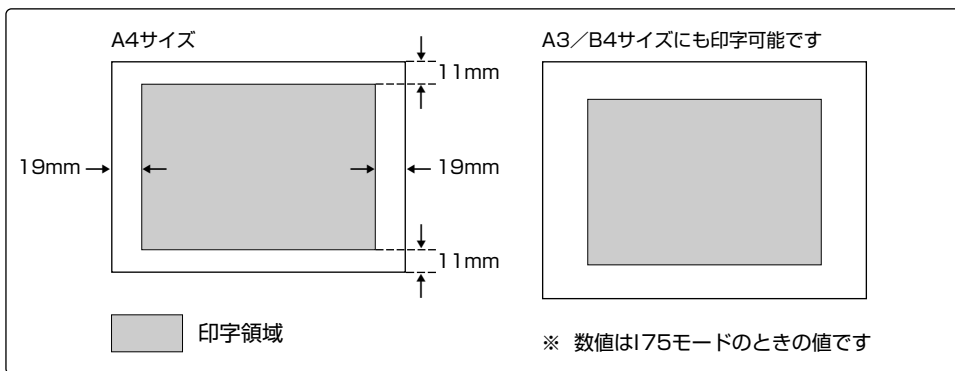
■イメージの印字

IBM5577の1ドットを約1.25ドット (300dpi) に拡大して印字します。

■印字領域

■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ (標準) では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3、B4サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左右端に大きな余白ができます。



■印字データの折り返し位置

メニューの「印刷幅」で設定した位置（13.2インチ：初期値、13.6インチまたは8インチ）で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が設定した値より狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 印刷幅を設定する」《☞ P.3-15》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際用の紙上では約8.3インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

(5) 連続用紙 (15×11インチ) をB4横に印刷する【15” →B4横：Fmode 6】

IBM5577に15×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してB4サイズのカット紙 (またはB4サイズ以上の用紙) にランドスケープ (横置きと同じ印字結果になる) で印字します。

印字データは、B4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

IBM5577に15×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲 (横方向13.6インチ、縦方向11インチ) を、縦方向のみ約259/300倍 (横方向13.6インチ、縦方向9.5インチ) に縮小します。

■用紙サイズ

標準ではB4サイズを使用しますが、A3サイズでも印字できます。

B4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

10ポイントの文字フォントを使用し、行ピッチのみ縮小して印字します (文字ピッチは実寸サイズになります)。

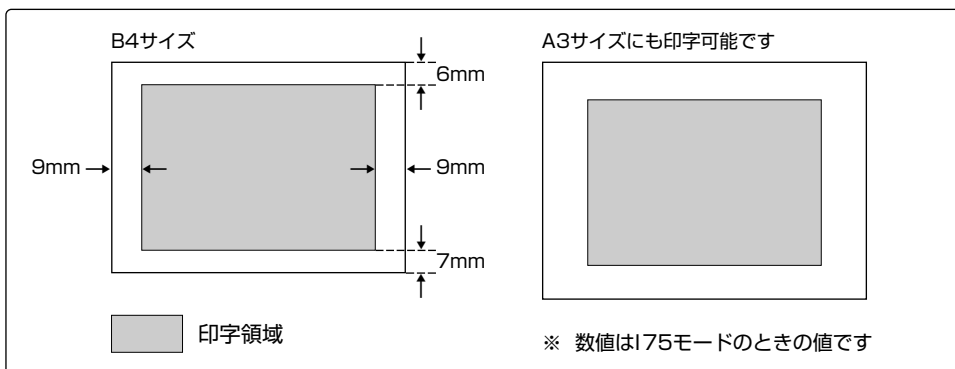
ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります (ANK文字は10ポイントのままです)。

■イメージの印字

IBM5577の1ドットを横方向約1.67ドット (300dpi)、縦方向約1.43ドット (300dpi) に拡大して印字します。

なお、横方向が実寸サイズで、縦方向のみ縮小されるため、横長のイメージになります。たとえば、真円は横長の楕円になってしまいます。

■印字領域



■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、B4サイズ（標準）では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左端に大きな余白ができます。

■印字データの折り返し位置

メニューの「印刷幅」で設定した位置（13.2インチ：初期値、13.6インチまたは8インチ）で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が設定した値より狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ（6）印刷幅を設定する」《P.3-15》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際の用紙上では約9.5インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

(6) カット紙B4をA4縦に印刷する【B4→A4縦：Fmode 7】

IBM5577にB4サイズのカット紙を縦置きにセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙（またはA4サイズ以上の用紙）にポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

IBM5577にB4サイズのカット紙を縦置きにセットしたときの印字範囲（横方向9.6インチ、縦方向13.8インチ）を、横方向、縦方向ともに3/4倍に縮小（横方向7.2インチ、縦方向10.4インチ）します。

■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのとおり縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで、文字ピッチおよび改行ピッチを3/4倍に縮小して印字します。

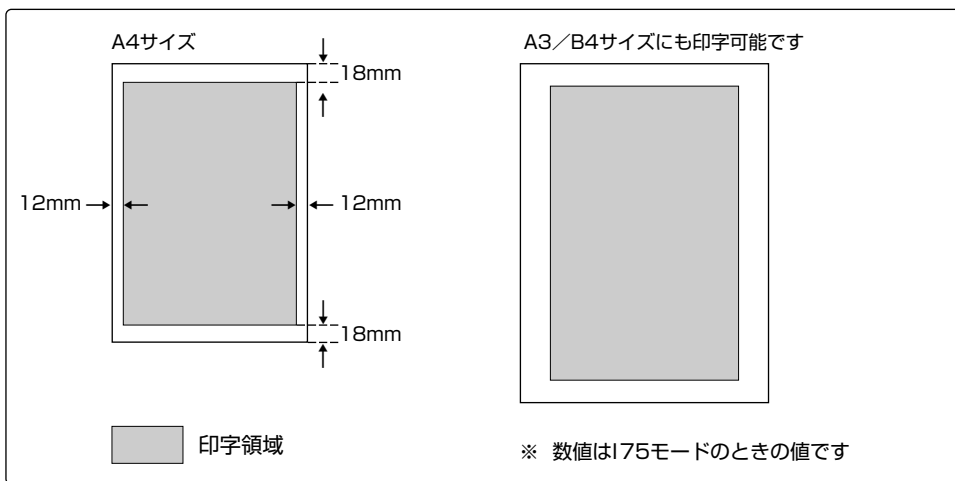
ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は8ポイントのままです）。

なお、印字できる文字数や行数は、「実寸縦」（Fmode 1）でB4サイズの用紙を使用した場合と同じです。

■イメージの印字

IBM5577の1ドットを約1.25ドット（300dpi）に拡大して印字します。

■印字領域



■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ（標準）では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の左上端より少し内側になります。ただし、A3、B4サイズの利用紙を使用する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

■印字データの折り返し位置

メニューの「印刷幅」で設定した位置（13.2インチ、13.6インチまたは8インチ）で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が設定した値より狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ（6）印刷幅を設定する」《P.3-15》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際の用紙上では約10.7インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

(7) カット紙B4をA4横に印刷する【B4→A4横：Fmode 8】

IBM5577にB4サイズのカット紙を横置きにセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙（またはA4サイズ以上の用紙）にランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

IBM5577にB4サイズのカット紙を横置きにセットしたときの印字範囲（横方向13.6インチ、縦方向9.5インチ）を、横方向、縦方向ともに3/4倍に縮小（横方向10.2インチ、縦方向7.1インチ）します。

■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのときと同じ縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで、文字ピッチおよび改行ピッチを3/4倍に縮小して印字します。

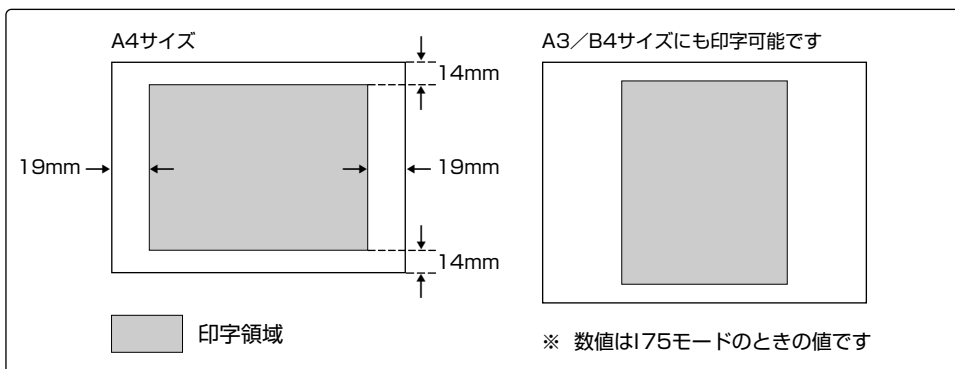
ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は8ポイントのままです）。

なお、印字できる文字数や行数は、「実寸横」（Fmode 2）でB4サイズの用紙を使用した場合と同じです。

■イメージの印字

IBM5577の1ドットを約1.25ドット（300dpi）に拡大して印字します。

■印字領域



■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ（標準）では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の左上端より少し内側になります。ただし、A3、B4サイズの利用紙を使用する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

■印字データの折り返し位置

メニューの「印刷幅」で設定した位置（13.2インチ、13.6インチまたは8インチ）で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が設定した値より狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ（6）印刷幅を設定する」《☞ P.3-15》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際の用紙上では約10.7インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

2.2.2 1ページの文字数と行数

それぞれのページフォーマットで1ページに印字できる文字数（10cpiのとき）と行数（6lpiのとき）を用紙サイズごとに示します。

ページフォーマット		A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦 (Fmode 1)	文字数	112	97	78	67	54	35
	行数	 :91  :96	 :78  :83	 :62  :67	 :53  :57	 :42  :46	 :28  :32
実寸横 (Fmode 2)	文字数	132	132	112	97	78	54
	行数	 :62  :67	 :53  :57	 :42  :46	 :35  :40	 :27  :32	 :16  :20
10"→A4縦 (Fmode 3)	文字数	80	80	80	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
15"→A4横 (Fmode 4)	文字数	132	132	132	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
15"→B4縦 (Fmode 6)	文字数	132	132	×	×	×	×
	行数	66	66	×	×	×	×
B4→A4縦 (Fmode 7)	文字数	97	97	97	×	×	×
	行数	82	82	82	×	×	×
B4→A4横 (Fmode 8)	文字数	132	132	132	×	×	×
	行数	57	57	57	×	×	×



- 「×」印になっているページフォーマットと用紙サイズの組み合わせでは、印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
- 上表の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値、印刷幅が初期状態の場合です。



「cpi」は、文字ピッチを表す単位です。1インチあたりの文字数で表します。
 10cpiは1インチの幅に10文字（1バイトコード文字）が10文字印字できることを意味します。

「lpi」は、行ピッチを表す単位です。1インチあたりの行数で表します。
 6lpiは1インチの高さに6行印字できることを意味します。

2.3 ワイド領域に印刷する

印字データを縮小するページフォーマット（Fmode 3, 4, 6, 7, 8）を使用する場合や、ページフォーマットで標準となる用紙より大きなサイズ of 用紙を使用する場合は、用紙の上下、左右に大きな余白ができることがあります。

IBM5577で印刷するときと同じレイアウトにする必要がなければ、ページフォーマットの印字領域を、ほぼ用紙の有効印字領域いっぱいまで広げて印字することができます。

ページフォーマットの印字領域にしたがって印字するモードを標準領域モードというのに対し、ページフォーマットの印字領域を広げて印字するモードを、ワイド領域モードといいます。

2.3.1 ワイド領域モードのページフォーマット

ワイド領域のページフォーマットFmode 3, 4, 6, 7, 8の内容を詳しく説明します。

(1) 連続用紙（10×11インチ）をA4縦いっばいに印刷する

【10"→A4縦：Fmode3：ワイド領域】

10×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっばいにポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット10" →A4縦（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-12》

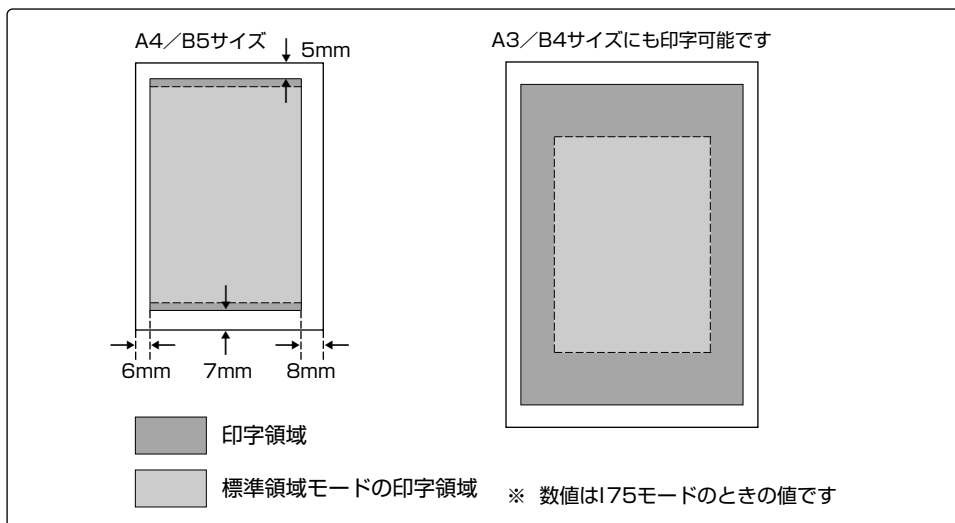
■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの用紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

A4サイズでは、標準領域モードでページフォーマットの印字領域と用紙の有効印字領域にあまり差がないため、ワイド領域モードにしてもあまり効果がありません。



■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約5mm、左端から約6mmの余白をとって印字されます。

■印字データの折り返し位置

LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の右端とほぼ同じ位置まで印字できます。印字領域の右端を越えた印字データは自動的に折り返されて、次の行の左端から印字されます。

■ボトム位置

LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の下端とほぼ同じ位置まで印字できます。

(2) 連続用紙（15×11インチ）をA4横いっぱい印刷する

【15"→A4横：Fmode 4：ワイド領域】

15×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット 15" →A4横（Fmode 4）と同じです。《☞ P.2-14》

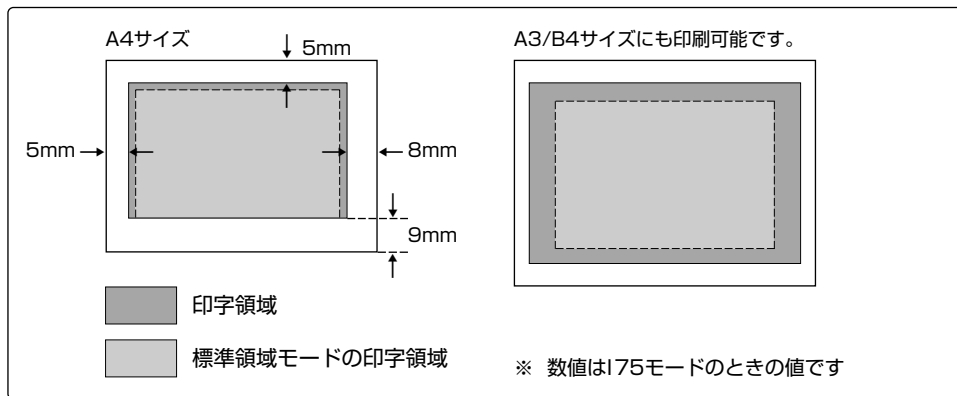
■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの内紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

15"→A4横（Fmode 4）は縮小率が大きいので、上下左右に大きな余白が空きます。このため、ワイド領域モードをもっとも有効に使用できます。



■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約5mm、左端から約5mmの余白をとって印字されます。



第1文字目の印字位置、印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4縦（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-23》

(3) 連続用紙（15×11インチ）をB4横いっぱい印刷する

【15"→B4横：Fmode 6：ワイド領域】

15×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、B4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット 15" → B4横（Fmode 6）と同じです。《☞ P.2-16》

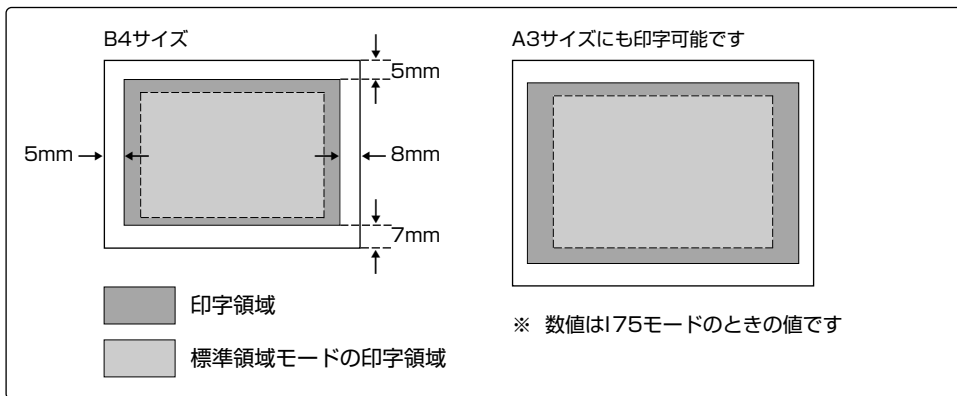
■用紙サイズ

A3、B4の2種類のサイズの内紙を使用できます。

B4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

B4サイズでは、標準領域モードでページフォーマットの印字領域と用紙の有効印字領域にあまり差がないため、ワイド領域モードにしてもあまり効果がありません。



■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約5mm、左端から約5mmの余白をとって印字されます。



第1文字目の印字位置、印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4縦（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-23》

(4) カット紙B4をA4縦いっぱい印刷する【B4→A4縦：Fmode 7：ワイド領域】

B4サイズのカット紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット B4→A4縦（Fmode 7）と同じです。《☞ P.2-18》

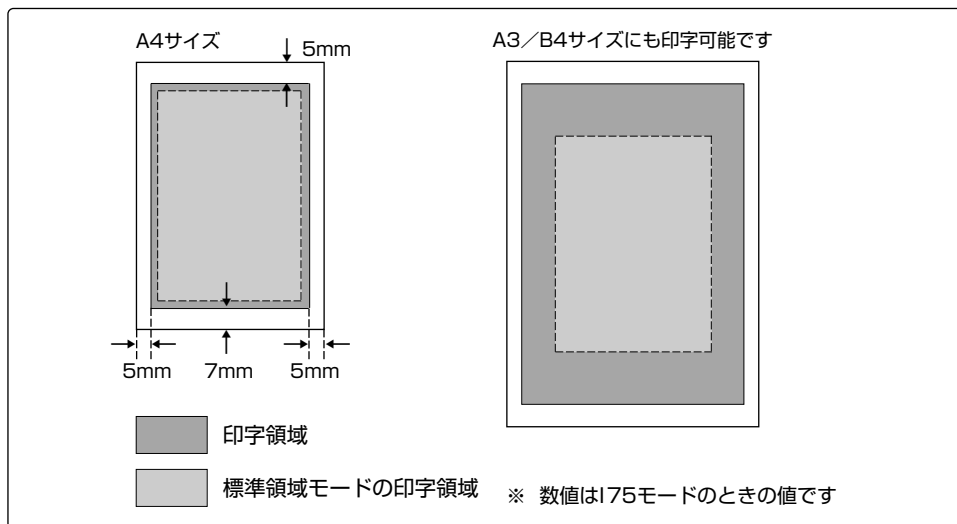
■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの内紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

B4→A4縦（Fmode 7）は縮小率が大きいので、上下左右に大きな余白が空きます。このため、ワイド領域モードを有効に使用できます。



■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約5mm、左端から約5mmの余白をとって印字されます。



第1文字目の印字位置、印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4縦（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-23》

(5) カット紙B4をA4横いっぱい印刷する【B4→A4横：Fmode 8：ワイド領域】

B4サイズのカット紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット B4→A4横（Fmode 8）と同じです。《P.2-20》

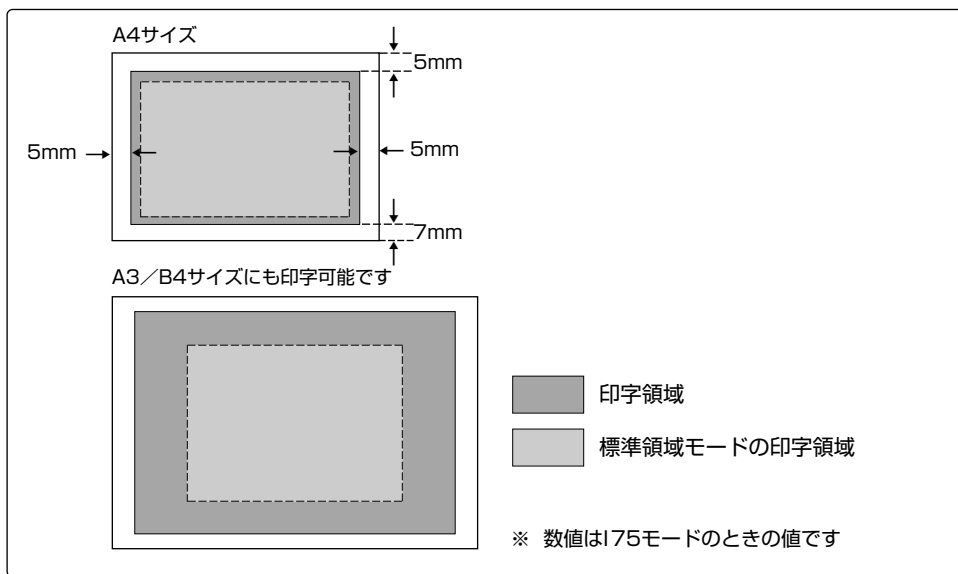
■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの内紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

B4→A4横（Fmode 7）は縮小率が大きいので、上下左右に大きな余白が空きます。このため、ワイド領域モードを有効に使用できます。



■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約5mm、左端から約5mmの余白をとって印字されます。



第1文字目の印字位置、印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10" →A4縦（Fmode3）と同じです。《P.2-23》

2.3.2 ワイド領域での1ページの文字数と行数

それぞれのページフォーマットでワイド領域モードにしたときに1ページに印字できる文字数（10cpiのとき）と行数（6lpiのとき）を、用紙サイズごとに示します。

ページフォーマット(ワイド領域)		A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4縦 (Fmode 3)	文字数	115	99	80	×	×	×
	行数	99	85	69	×	×	×
15"→A4横 (Fmode 4)	文字数	213	184	148	×	×	×
	行数	100	86	69	×	×	×
15"→B4横 (Fmode 6)	文字数	160	138	×	×	×	×
	行数	77	66	×	×	×	×
B4→A4縦 (Fmode 7)	文字数	150	129	104	×	×	×
	行数	128	110	89	×	×	×
B4→A4横 (Fmode 8)	文字数	215	186	150	×	×	×
	行数	89	76	62	×	×	×



- 「×」印になっているページフォーマットと用紙サイズの組み合わせでは、印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
- 上表の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値、印刷幅が初期状態の場合です。



「cpi」は、文字ピッチを表す単位です。1インチあたりの文字数で表します。
10cpiは1インチの幅にANK文字（1バイトコード文字）が10文字印字できることを意味します。

「lpi」は、行ピッチを表す単位です。1インチあたりの行数で表します。
6lpiは1インチの高さに6行印字できることを意味します。

2.4 ページフォーマットと用紙サイズの関係

それぞれのページフォーマットで使用できる用紙サイズは次のとおりです。

ページフォーマット \ 用紙サイズ	カセット給紙						トレイ給紙					
	A3	B4	A4	B5	A5	はがき	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦 (Fmode 1)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
実寸横 (Fmode 2)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
10"→A4縦 (Fmode 3)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
15"→A4横 (Fmode 4)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
15"→B4横 (Fmode 6)	△	○	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×
B4→A4縦 (Fmode 7)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
B4→A4横 (Fmode 8)	△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×

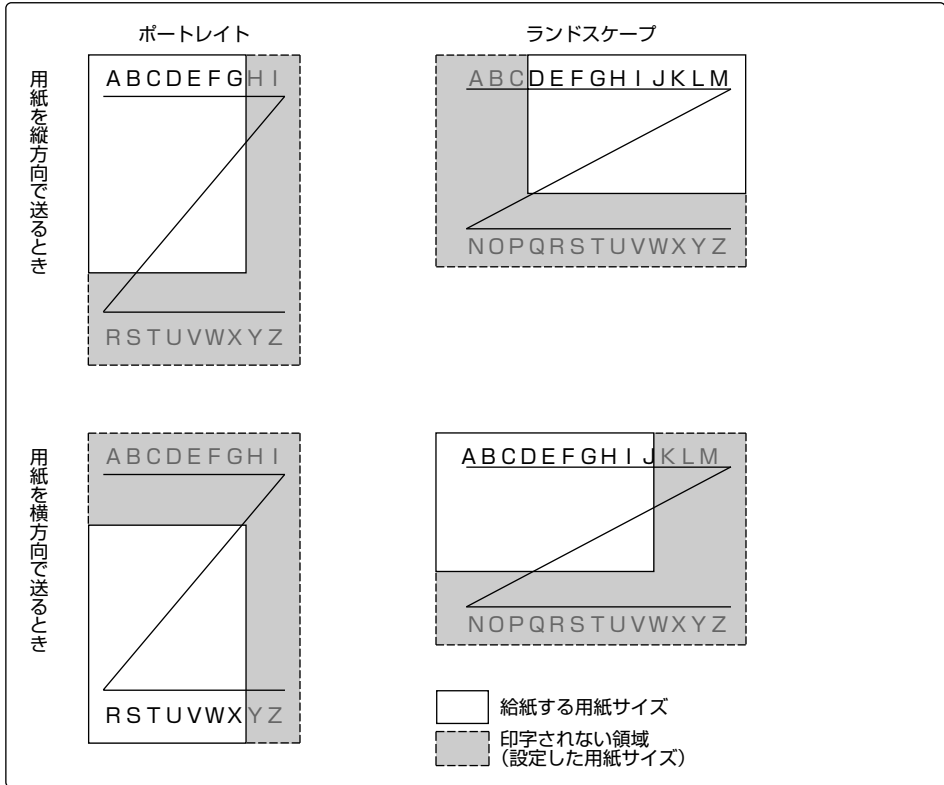
○	印字可能。用紙にちょうどよく納まります
△	印字可能ですが余白があきます
×	印字不可能。または、印字データが欠落するなどの不具合を生じることがあります



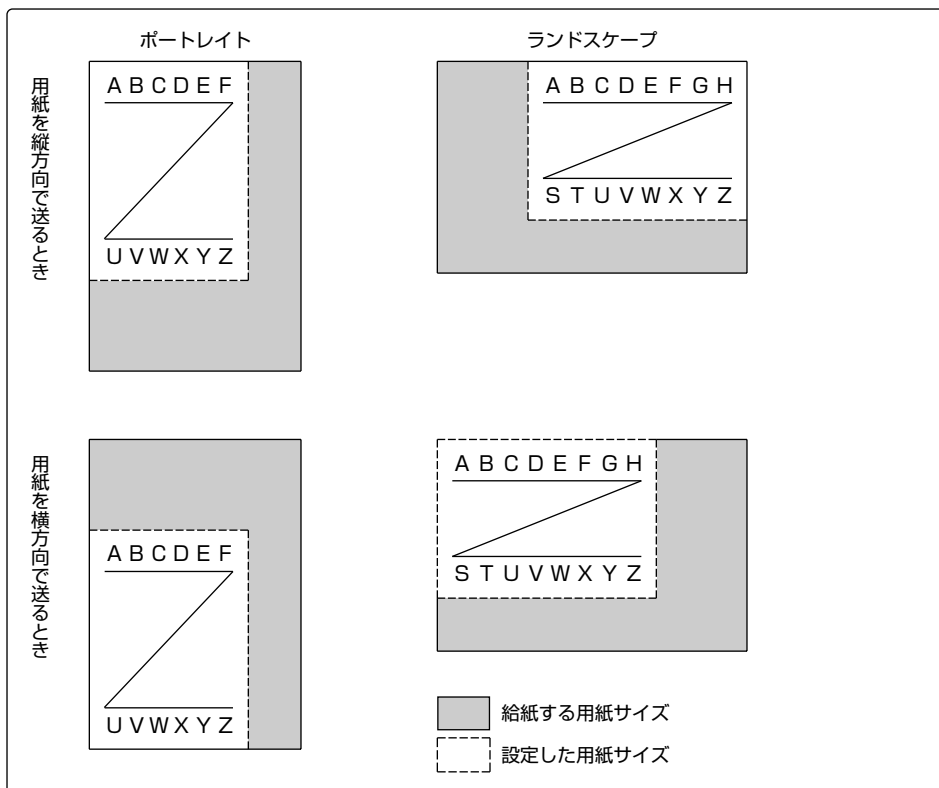
異なるサイズの下紙に強制的に印刷すると (LBPシリーズの場合)

メニューの「用紙サイズ」で設定した用紙サイズ (またはページフォーマットで決まる用紙サイズ) と異なるサイズの下紙に印字すると、用紙の大きさによって印字結果は次のようになります。

■設定した用紙サイズより給紙カセットの下紙サイズの方が小さいとき



■設定した用紙サイズより給紙カセットの用紙サイズの方が大きいとき



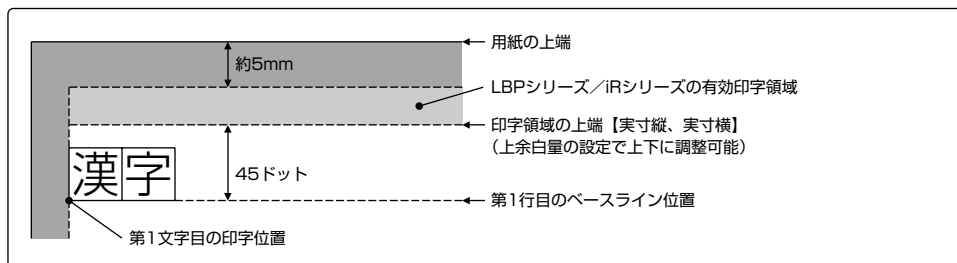
2.5 印字領域と印字動作

本エミュレーションモードの印字領域の上端、下端および左端、右端付近での印字動作について説明します。

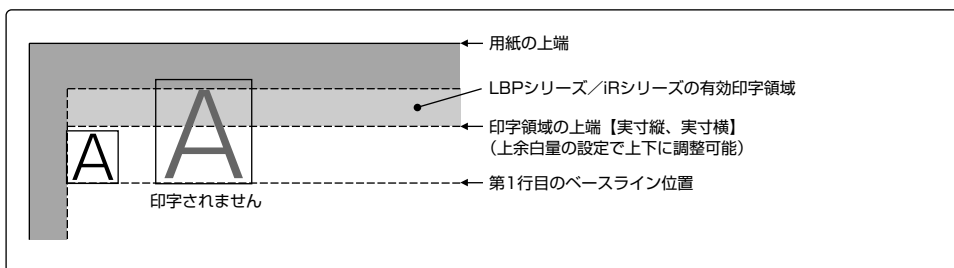
2.5.1 印字領域の上端での印字動作

実寸縦 (Fmode 1)、および実寸横 (Fmode 2) では、初期状態 (電源をオンにしたときや、LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理が行われた状態) のときの印字領域は、175モードとProモードとで異なり、175モードでは有効印字領域の上端からかなり下がった位置、Proモードでは有効印字領域の上端とほぼ同じ位置になります。

先頭行 (TOF行) の文字は、この位置から45ドット (300dpi) 下がった位置をベースラインとして印字されます。このベースライン位置が実際の第1行目の印字位置となります。



IBM5577では、日本語モードと英語モードとで文字をそろえる基準が違います。日本語モードでは、文字の上端を合わせて印字し、英語モードでは、文字の下端を合わせて印字します。先頭行に縦倍文字がある場合、文字が下端合わせとなる英語モードでは、先頭行の縦倍文字が有効印字領域を越えると印字されません。本エミュレーションモードでは、IBM5577と同等の印字動作を行います。



ページフォーマットFmode 3, 4, 6, 7, 8では、初期状態のときの先頭行（TOF行）の印字位置は、ページフォーマットおよび用紙サイズによって異なります。それぞれのページフォーマットでの印字領域の上端は、LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の上端から次の量だけオフセットした位置になります。

ページフォーマット	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4縦 (Fmode 3)	810	477	81		1	
15"→A4横 (Fmode 4)	578	345	65		1	
15"→B4横 (Fmode 6)	251	15			1	
B4→A4縦 (Fmode 7)	875	543	146		1	
B4→A4横 (Fmode 8)	621	386	106		1	

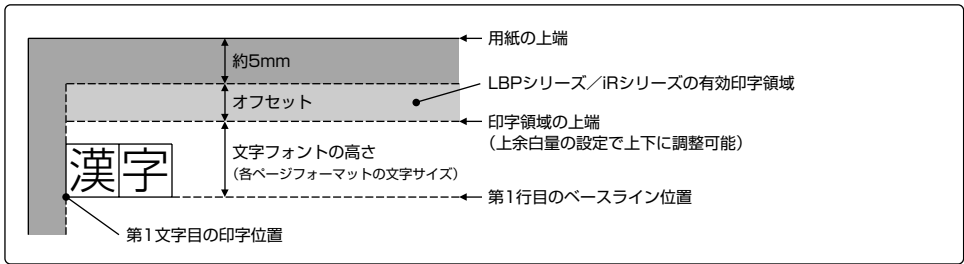
単 位：1/300インチ

・表の値は「上余白」が初期値「+000」の場合です。

Fmode 3, 4, 7, 8でA3、B4、A4サイズ of 用紙を使用するときや、Fmode 6でA3、B4サイズの用紙を使用するときは、印字が用紙の中央にレイアウトされるように、先頭行の文字の上端を有効印字領域の上端からのオフセット量で調整しています。

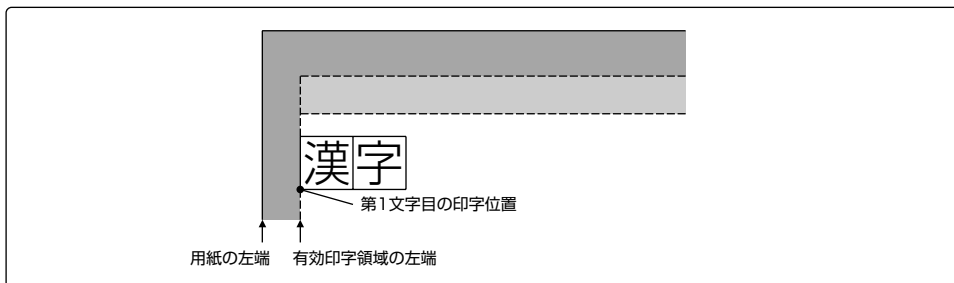
そのほかの組み合わせでは、1ドット（300dpi）のオフセット量で調整しています。

先頭行（TOF行）の文字のベースライン位置は、上の表で決まる印字領域の上端の位置から文字フォントの高さだけ下がった位置になります。このベースライン位置が実際の第1行目の印字位置となります。



2.5.2 印字領域の左端での印字動作

実寸縦 (Fmode 1)、および実寸横 (Fmode 2) では、初期状態 (電源をオンにしたときや、LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理が行われた状態) のときの第1文字目の印字位置は、有効印字領域の左端 (用紙の左端から5mm内側) とほぼ同じ位置になります。



ページフォーマットFmode3, 4, 6, 7, 8では、初期状態のときの第1文字目の印字位置は、ページフォーマットおよび用紙サイズによって異なります。

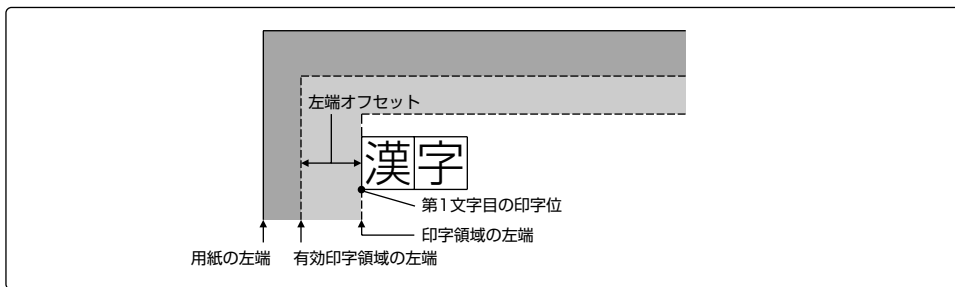
LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の左端から次の量だけオフセットした位置に、第1文字目を印字します。

ページフォーマット	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4縦 (Fmode 3)	533	290	12		0	
15"→A4横 (Fmode 4)	891	561	157		0	
15"→B4横 (Fmode 6)	381	50			0	
B4→A4縦 (Fmode 7)	602	357	81		0	
B4→A4横 (Fmode 8)	891	561	157		0	

単 位 : 1/300インチ

・左端オフセット量は「用紙位置微調整」が初期値「+000」の場合です。

ページフォーマットFmode 3, 4, 7, 8でA3、B4、A4サイズの内紙を使用するときや、Fmode 6でA3、B4サイズの内紙を使用するときは、1ページ分の印字データが内紙の中央にレイアウトされるように第1文字目の印字位置をオフセット量で調整しています。そのほかの組み合わせでは、LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域のほぼ左端が第1文字目の印字位置になります。



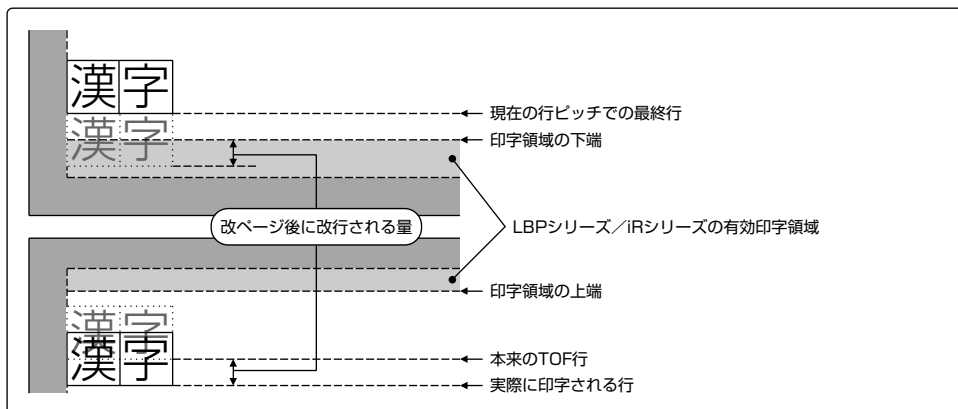
用紙位置の微調整 → 「3.2.1 ページレイアウトグループ (3) 用紙位置を左右に微調整する」

《 P.3-11 》

2.5.3 印字領域の下端での印字動作

15577エミュレーションモードでは、IBM5577とほぼ同じ印字動作を行うために、IBM5577の用紙エンド（用紙の下端）に相当する位置が用紙サイズごとに決められています。

この用紙エンドによって印字の下限となる印字位置（印字下限位置）は、先頭行（初期状態）からの最小改行ピッチ（日本語モード：1/120インチ、英語モード：1/216または1/180インチ）で設定されていますが、この位置が実際の印字の改行ピッチによる最終行（次行が用紙エンドを越える行）と一致しないと、次ページの先頭行の位置がずれてしまいます。これは、印字時の最終行で改行が行われると、その位置から用紙エンド位置までを改行量の一部とし、改ページしたあとで、その残りの改行が行われるためです。



複数のページにわたる印字データを、改ページ後に正しい先頭行の位置から印字させるには、次のいずれかを行う必要があります。

- 用紙エンドの検出位置より前で改ページ命令を送る
- メニューの「自動排紙」によって、データの送信が終わった時点で自動排紙する設定を行う



標準領域モードでの印字行数 → 「2.2.2 1ページの文字数と行数」 《☞ P.2-22》

ワイド領域モードでの印字行数 → 「2.3.2 ワイド領域での1ページの文字数と行数」

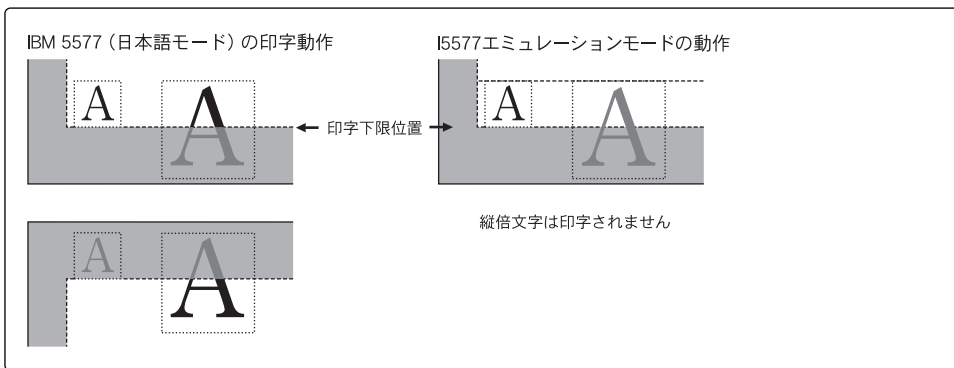
《☞ P.2-29》



日本語モードと英語モードとで文字をそろえる基準が違います。日本語モードでは、文字の上端を合わせて印字し、英語モードでは、文字の下端を合わせて印字します。

最終行に縦倍文字がある場合、IBM5577のカットシートフィーダ使用時は縦倍文字の上部を用紙内に印字し、下部を次の用紙のTOF行に印字します。トラクタフィーダ使用時はミシン目にまたがるように印字します。

本エミュレーションモードでは、ページフォーマットに関わらず、縦倍文字が有効印字領域内に入っている場合は印字し、有効印字領域をはみ出す場合は、印字しません。



なお、IBM5577の英語モードでは、ブロックグラフィックキャラクタ編集文字およびブロックグラフィックキャラクタ編集を指定した登録文字（ダウンロード文字）は、通常の文字より6ドット（180dpi）下方向に大きいため、下端付近でこの文字を印字した場合に文字の上部24ドット（180dpi）分を印字して改ページし、下部6ドット（180dpi）分を印字します（トラクタフィーダ使用時は、ミシン目にまたがって印字されます）。同様に、ダウンロード文字のアンダーライン編集は2ドット（180dpi）下方向に大きいため、2ドット分が次ページに印字されます。

英語モードのエミュレーションでは、カットシートフィーダ／トラクタフィーダモードとともにIBM5577の印字領域に関わらず、ブロックグラフィックキャラクタ編集文字およびブロックグラフィックキャラクタ編集を指定したダウンロード文字がLBPシリーズ／iRシリーズの有効印字領域に入る場合のみ文字を印字し、印字領域を越える場合は印字しません。

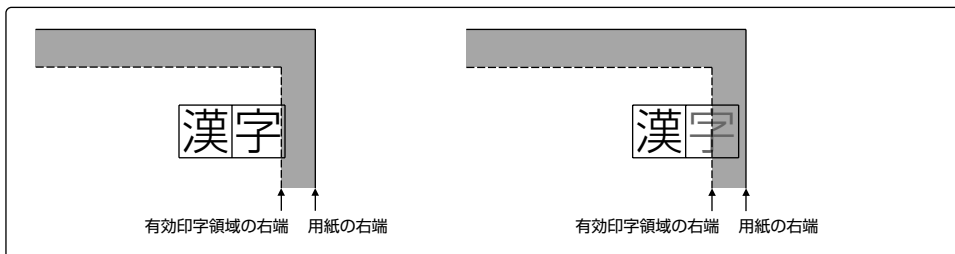
ブロックグラフィックキャラクタ編集文字の文字コードは次のとおりです。

- コードページ437 : 5Fh、B0h~DFh、F4h
- コードページ850 : 5Fh、B0h~B4h、B9h~BDh、BFh、C0h~C5h、C8h~CEh、D9h~DCh、DFh、F2h

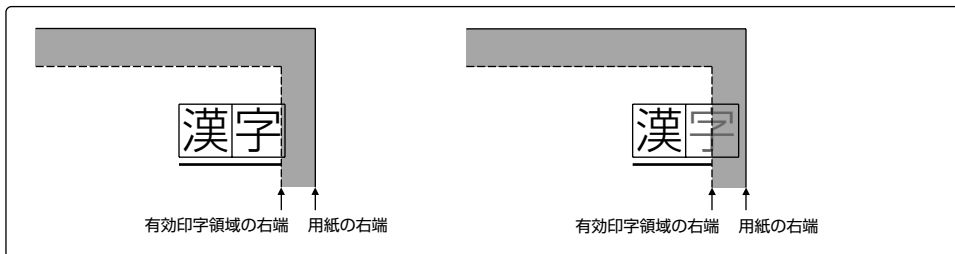
2.5.4 印字領域の右端での印字動作

IBM5577でカットシートフィードを使用している場合は、用紙の右端のチェックが行われません。

本エミュレーションモードでは、文字フォントの実際の文字幅が有効印字領域の右端を越えなければ、その文字を印字します。



文字にアンダーラインを引いている場合、同様に文字幅が有効印字領域を越えなければ、文字およびアンダーラインを印字しますが、文字幅が有効印字領域を越える場合は、文字を印字せずに有効印字領域内のアンダーラインだけを印字します。

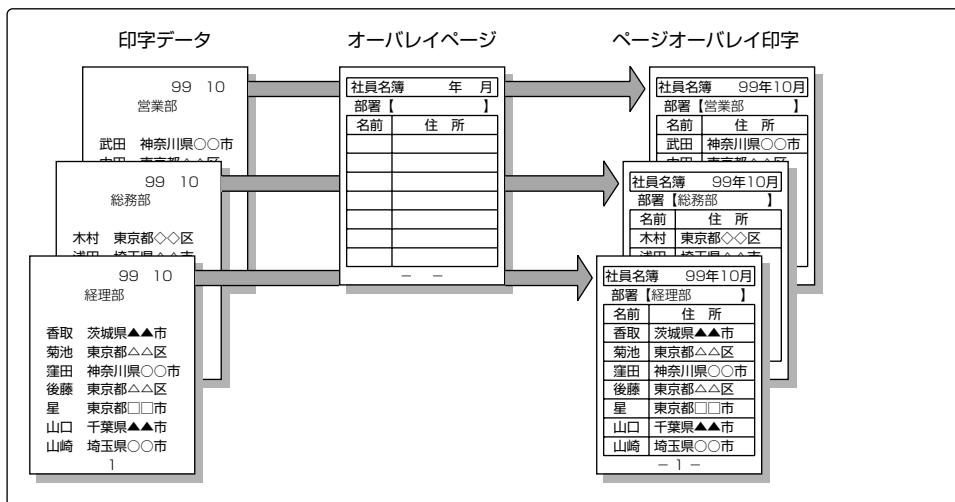


2.6 I5577モードの拡張機能

I5577エミュレーションモードが持っている拡張機能について説明します。

2.6.1 ページオーバーレイ機能

帳票などを印字するときに、それぞれのページの内容を枠取りしたり、罫線や網を掛けたい場合があります。この罫線や網などをそれぞれのページで作成するのではなく、LBPシリーズ/iRシリーズのオーバーレイページにあらかじめ登録しておいて、ホストコンピュータから送られる印字データに重ねて印字することができます。この機能をページオーバーレイといいます。このページオーバーレイ機能を使うと、表の罫線や文字、網掛けなどのデータをページごとを送る必要がないのでデータ量を減らすことができ、データ作成を効率よく行うことができます。

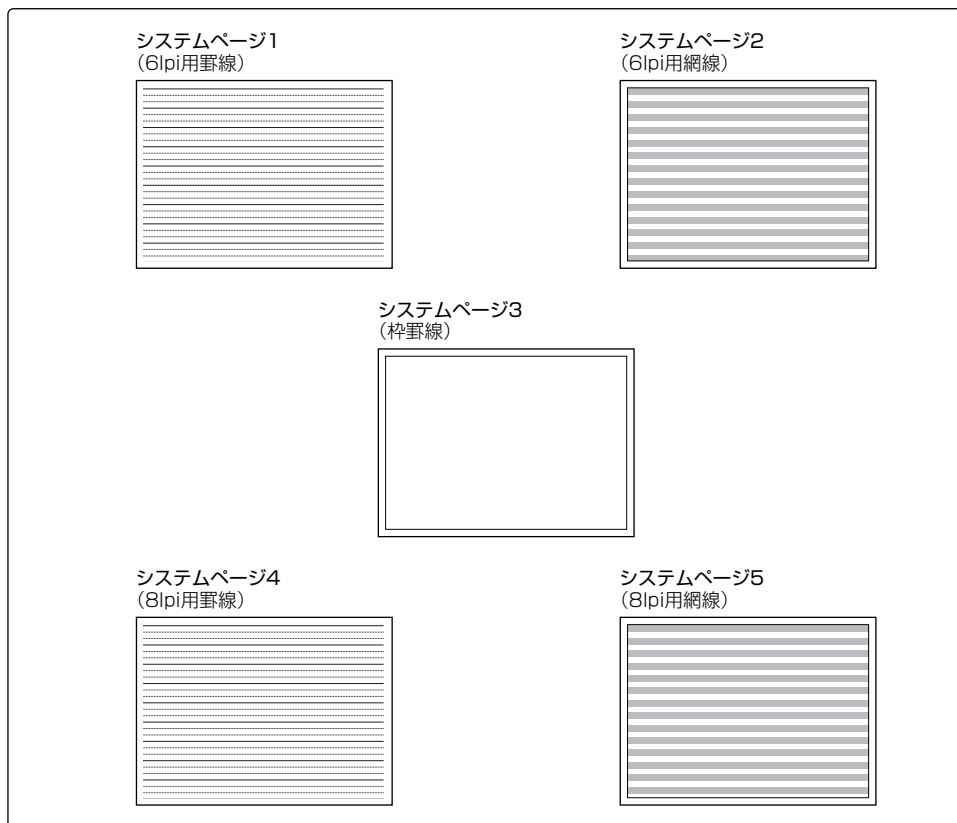


LBPシリーズ/iRシリーズには、横罫線、枠取り、行網掛けなど、汎用的な定型フォームが5種類ほど登録されています。あらかじめ保有しているこのオーバーレイページをシステムページといいます。

ユーザが独自にフォームを作成して登録できるオーバーレイページを、システムページに対してユーザページといいます。

(1) システムページ

システムページには、LBPシリーズ/iRシリーズが保有している次の5種類の定型フォームが登録されています。



システムページの印字サンプル → 「付録4. 内蔵フォームの印字サンプル」

《 P.app.19》

■システムページのオーバーレイ印字

システムページのオーバーレイ印字は、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を設定して開始します。

「3.2.4 印字機能グループ (2) システムページのオーバーレイ印字を設定する」

《 P.3-30》

ただし、システムページを指定した時点で、オーバーレイ印字が開始されるわけではなく、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対してオーバーレイ印字が行われます。

なお、システムページのオーバーレイ印字の開始を指定すると、パラメータリセット処理が行われます。

システムページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を指定せずに「オフ」を指定します（iRシリーズはメニューの「システムオーバーレイ設定」で「しない」を指定します）。



システムページをオーバーレイ印字に設定し、さらにユーザページに登録されているフォームを重ねてオーバーレイ印字することもできます。

(2) ユーザページ

ユーザページは、ユーザが独自にフォームを作成して登録できるオーバーレイページです。ユーザページは2ページ（ユーザページ1およびユーザページ2と呼びます）まで登録できます。

■ユーザページの登録

ユーザページのフォームの登録は、I5577エミュレーションモードで追加されたLBPシリーズ/iRシリーズ独自の制御命令（LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令）によって開始します。

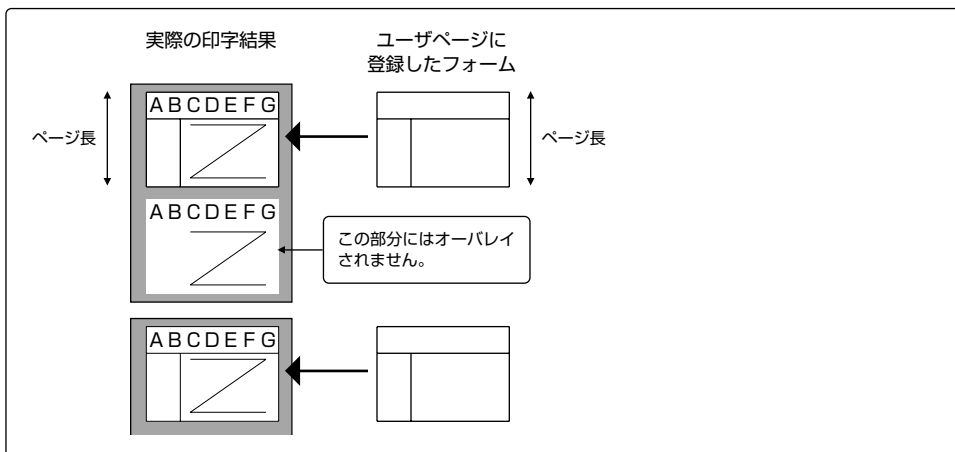
■ユーザページの登録 `[ESX] 01h 00h 02h h` (☞ P.4-52)

登録を開始すると、以降ホストコンピュータから送られてくるフォームデータが、指定されたユーザページ（1または2）に登録されます。なお、登録開始時にはパラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期状態に戻ります。ただし、メニューで設定した印字パラメータはそのまま残ります。また、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によってユーザページの登録を終了したときにも、パラメータリセット処理が行われます。



ひとつのユーザページに登録できるフォームデータは、用紙1ページ分です。

したがって、ページ長を短く設定して1枚の用紙に複数のページを確保した場合は、フォームは用紙単位でしかオーバーレイされません。



ユーザページの登録は、次のLBPシリーズ/iRシリーズ専用命令を受信すると終了します。

■ユーザページの登録終了 `[ESX] 01h 00h 02h e [NUL]` 《☞ P.4-53》

このほか、次のような場合にもユーザページの登録は終了します。

■排紙をとまなう制御命令を受信したとき

■パラメータリセットをとまなう制御命令を受信したとき

■制御命令によって、ソフトリセット処理が行われたとき

■垂直移動をとまなう制御命令によって用紙エンド位置を越えたとき

この制御命令には、改行[LF]、改ページ[FF]、垂直タブ位置への移動[VT]) などが
あります。

■メニューの「自動排紙」で設定した排紙時間になったとき

■ユーザページに登録するデータがメモリサイズを超えたとき

「23 ダウンロードメモリフル」(iRシリーズは「23 ダウンロードフル」というエラー
メッセージが表示されます。

このとき、「エラースキップ」をすると、これ以前のデータを登録し、以降のデータ
は読み飛ばします。

なお、ユーザページに登録したフォームのデータは、メニューの「登録レベル」の設定に
よって消去する時期を選択できます。

●「一時」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理（ジョブ）すべてのページの
印字が終了した時点で登録内容が消去されます。

●「永久」に設定したとき：LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするか同等のリセ
ット処理を行うまで登録した内容を保持します。



「3.2.8 その他のグループ (2) 登録データの削除方法を設定する」 《☞ P.3-53》



すでに登録されているユーザページに新しいフォームを登録すると、登録済みのフォーム
は消去されます。また、ユーザページに登録したフォームのデータ量が多いと、普通のペ
ージの印字が遅くなることがあります。



LIPSモードでユーザページを登録する → 「4.3.1 フォーム作成の制御命令 (3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録 / (4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了」

《☞ P.4-54 / P.4-57》

■ユーザページのオーバーレイ印字

ユーザページのオーバーレイ印字は、メニューの「ユーザページ1」または「ユーザページ2」を「オン」に設定して開始します (iRシリーズは、メニューの「ユーザオーバーレイ1設定」または「ユーザオーバーレイ2設定」を「する」に設定して開始します)。両方を「オン」に設定すれば両方のフォームを重ねてオーバーレイ印字することができます。

ただし、ユーザページを設定した時点で、オーバーレイ印字が開始されるわけではなく、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対してオーバーレイ印字が行われます。なお、ユーザページのオーバーレイ印字の開始を指定すると、パラメータリセット処理が行われます。



「3.2.4 印字機能グループ (4) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する / (5) ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する」 《☞ P.3-34 / P.3-35》

ユーザページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「ユーザページ1」または「ユーザページ2」を「オフ」に設定することによって終了します (iRシリーズは、メニューの「ユーザオーバーレイ1設定」または「ユーザオーバーレイ2設定」を「しない」に設定することによって終了します)。



ユーザページのフォームをシステムページの定型フォームと重ねて印字することもできます。システムページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を指定せずに「オフ」を指定します (iRシリーズは、メニューの「システムオーバーレイ設定」で「しない」を指定します)。

ユーザページの登録中は、次の制御命令が無視されます。

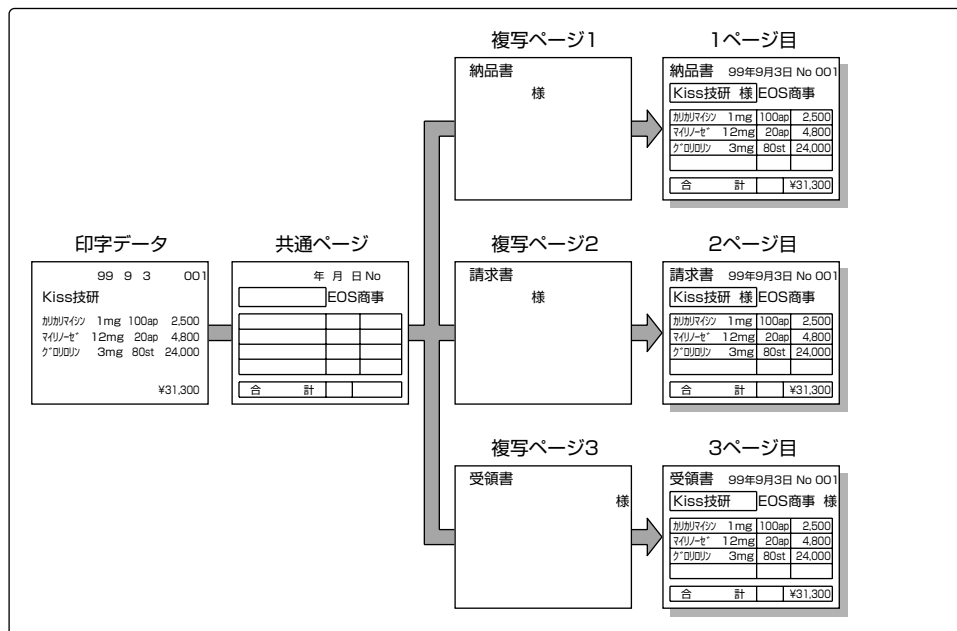
- ユーザページの登録開始 ESX 01h 00h 02h h
- LIPSの制御命令によるユーザページの登録 ESX 01h 00h 03h SP `
- LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了 ESX 01h 00h 03h SP . NUL
- 複写ページの登録 ESX 01h 00h 04h SP ?h
- 複写用紙のオーバーレイ印字開始 ESX 01h 00h 05h SP ? p
- 複写用紙のオーバーレイ印字終了 ESX 01h 00h 03h SP ? z
- 複写ページの消去 ESX 01h 00h 04h SP ? r

2.6.2 複写用紙機能

バックカーボン付きの複写用紙のように、1ページの印字データを作成するだけで、そのページの内容を最高5枚まで複写して印字できます。この機能を複写用紙機能といいます。複写するそれぞれのページに枠取りや罫囲みなどをオーバーレイ印字することもできます。全部の用紙にオーバーレイ印字するフォームは、共通ページという複写用紙機能専用のオーバーレイページに登録できるほか、ページオーバーレイ印字機能のシステムページやユーザページに登録されているフォームも利用できます。

また、複写式伝票のように、枠取りや罫囲みが共通でも伝票タイトル部分などがページによって異なるものがあります。複写用紙機能では、複写するそれぞれのページに対応する複写ページ（1～5）というオーバーレイページが用意されており、各ページの伝票タイトルなどを登録しておくことができます。

この複写ページを印字データにオーバーレイ印字すると、複写されたページそれぞれに、異なる伝票タイトルがオーバーレイされます。



■共通ページと複写ページを登録する

共通ページと複写ページは、ユーザが独自にフォームを作成して登録できる複写用紙機能専用のオーバーレイページです。

登録できるページ数は、共通ページが1ページ、複写ページは複写する枚数に順番に対応する1～5ページとなります。

共通ページは複写用紙すべてに毎回オーバーレイ印字され、それぞれの複写ページは、対応する複写用紙のページだけにオーバーレイ印字されます。

共通ページや複写ページの登録は、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令で開始します。

■複写ページの登録 `[ESX] 01h 00h 04h [SP] ? h` (☞ P.4-57)

この制御命令のパラメータで「K」を指定すると共通ページ、「1～5」を指定すると複写用紙の各ページに対応する複写ページを登録できます。登録を開始すると、以降ホストコンピュータから送られてくるフォームデータが、指定された共通/複写ページに登録されます。



共通ページのかわりに、ページオーバーレイ機能のシステムページやユーザページのフォームを使用することができます。その場合は共通ページを登録する必要はありません。

共通/複写ページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期状態に戻ります。ただし、操作パネルで設定した印字パラメータはそのまま残ります。

また、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によって共通/複写ページの登録を終了すると、パラメータリセット処理が行われます。



ひとつの共通/複写ページに登録できるフォームデータは、用紙1ページ分です。したがって、ページ長を短く設定し、1枚の用紙に複数のページを確保しても、フォームは用紙単位でしかオーバーレイされません。



共通／複写ページの登録中に無視される制御命令

ユーザページの登録中は、次の制御命令が無視されます。

- ユーザページの登録 ESX 01h 00h 02h h
- 複写ページの登録 ESX 01h 00h 04h SP? h
- 複写用紙のオーバーレイ印字開始 ESX 01h 00h 05h SP? p
- 複写用紙のオーバーレイ印字終了 ESX 01h 00h 03h SP? z

共通／複写ページの登録は、次のLBPシリーズ／iRシリーズ専用命令を受信すると終了します。

- 「ユーザページの登録終了」 ESX 01h 00h 02h e NUL 《☞ P.4-53》

このほか、次のような場合にも共通／複写ページの登録は終了します。

- 排紙をとまなう制御命令を受信したとき
- パラメータリセットをとまなう制御命令を受信したとき
- 制御命令によって、ソフトリセット処理が行われたとき
- 垂直移動をとまなう制御命令によって用紙エンド位置を越えたとき
この制御命令には、改行LF、改ページFF、垂直タブ位置への移動VT）などがあります。
- メニューの「自動排紙」で設定した排紙時間になったとき
- 共通／複写ページに登録するデータがメモリサイズを超えたとき
「23 ダウンロードメモリフル」（iRシリーズは「23 ダウンロードフル）」というエラーメッセージが表示されます。
このとき、「エラースキップ」をすると、これ以前のデータを登録し、以降のデータは読み飛ばします。

登録した共通／複写ページのフォームを消去するときは、次のLBPシリーズ／iRシリーズ専用命令を使用します。

- 「複写ページの消去」 ESX 01h 00h 04h SP? r 《☞ P.4-58》

なお、共通／複写ページに登録したフォームのデータは、メニューの「登録レベル」の設定によって消去する時期を選択できます。

- 「一時」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理（ジョブ）すべてのページの印字が終了した時点で登録内容が消去されます。
- 「永久」に設定したとき：LBPシリーズ／iRシリーズの電源をオフにするか同等のリセット処理を行うまで登録した内容を保持します。



「3.2.8 その他のグループ (2) 登録データの削除方法を設定する」《 P.3-53》



すでに登録されている共通／複写ページに新しいフォームを登録すると、登録済みのフォームは消去されます。また、共通／複写ページに登録したフォームのデータ量が多いと、普通のページの印字が遅くなることがあります。

■複写用紙機能の印字

複写用紙機能を使用した印字は、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によって開始します。

- 「複写用紙のオーバーレイ印字開始」 [ESX] 01h 00h 05h [SP] ? p 《☞ P.4-59》

複写用紙全ページにオーバーレイするフォームとしては、複写用紙機能専用に登録した共通ページのフォーム、ページオーバーレイ印字機能のシステムページのフォーム、ユーザページのフォームが選択できます。

なお、複写用紙機能のオーバーレイ印字は、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対して行われます。

複写用紙機能を終了するときは、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令を使用します。

- 「複写用紙のオーバーレイ印字終了」 [ESX] 01h 00h 03h [SP] ? z 《☞ P.4-60》



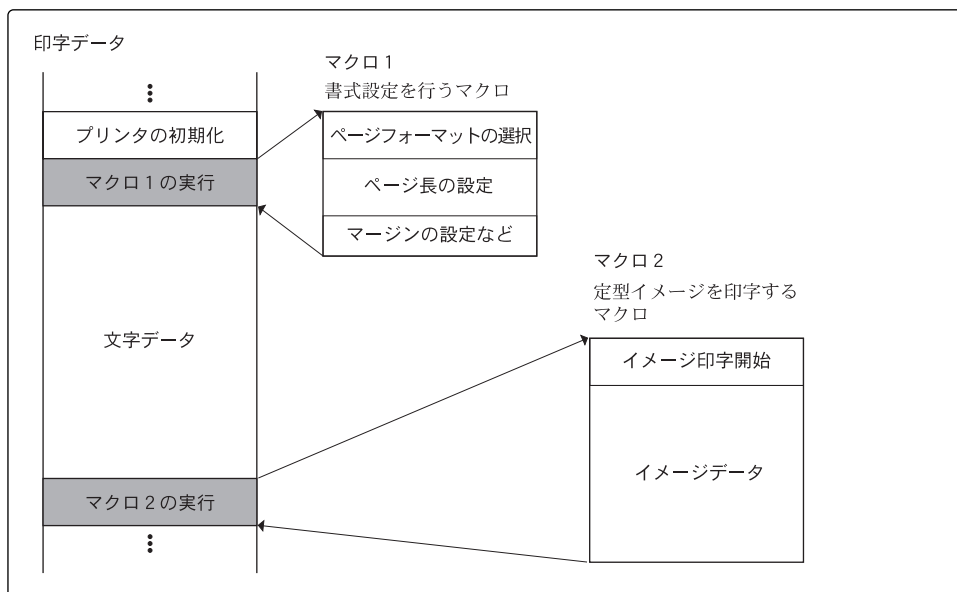
実際に印字する用紙サイズと使用するフォームの用紙サイズ、用紙の向き、解像度が異なると、複写用紙機能は行われません。

また、ページオーバーレイ機能と複写用紙機能を同時に実行することはできません。

2.6.3 マクロ機能

定型的な処理を行うための一連の制御命令や、文字・イメージを印字する手順などをあらかじめ登録し、必要なときに呼び出して実行することができます。この定型化された手順をマクロといいます。

たとえば、ページの書式（ページ長やマージンなど）を決める一連の制御命令をマクロに登録しておけば、そのマクロを呼び出すだけで、いつも同じ書式で印字を行うことができます。また、同じイメージを印字する場合などは、その印字データをマクロに登録しておけば、印字のたびにイメージデータを送る必要がなくなります。



このように、マクロを使用すると、データ量を削減することができるので、印字処理を効率よく行うことができます。

■マクロの登録

マクロの登録や削除は、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によって行うことができます。

マクロには、マクロ番号（000～255）をつけて登録します。

なお、いったん登録したマクロに、データを追加させることもできます。

- マクロの登録 **[ESX]** 01h -- -- = 《☞ P.4-66》
- マクロの削除 **[ESX]** 01h 00h 02h] 《☞ P.4-67》
- マクロの追加登録 **[ESX]** 01h -- -- & 《☞ P.4-68》

マクロの登録は、次の場合に中止されます。

- 操作パネルでハードリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリンタ初期化を行ったとき）
- 操作パネルでソフトリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリント中止を行ったとき）
- インプットブライム信号を受信したとき（LBPシリーズのみ）
- メニューの「自動排紙」で設定した排紙時間になったとき
- 登録するマクロデータがメモリサイズを超えたとき
（このとき、残りのマクロデータは読み飛ばされます。）

なお、登録したマクロデータは、メニューの「登録レベル」の設定によって消去する時期を選択できます。

- 「一時」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理（ジョブ）すべてのページの印字が終了した時点で登録内容が消去されます。
- 「永久」に設定したとき：LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするか同等のリセット処理を行うまで登録した内容を保持します。



「3.2.8 その他のグループ（2）登録データの削除方法を設定する」 《☞ P.3-53》

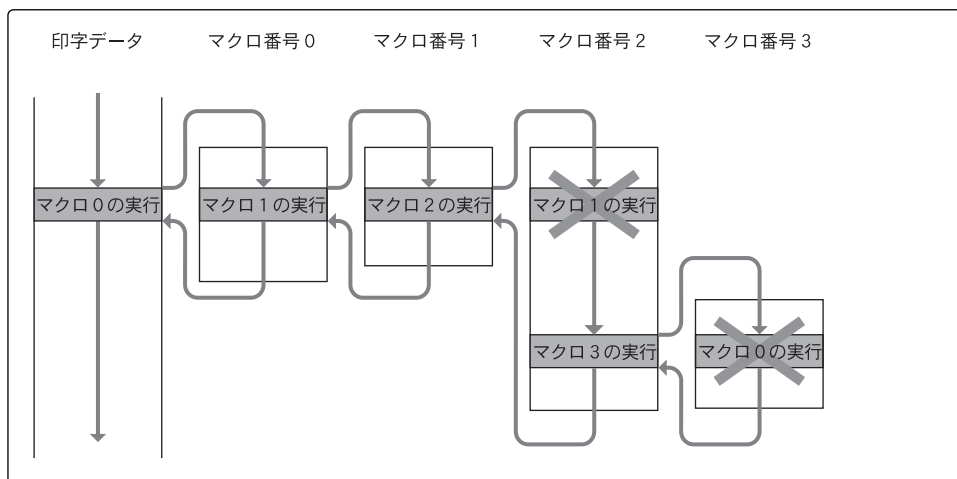
■マクロの実行

登録したマクロは、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によって実行することができます。

■マクロの実行 `[ESX] 01h 00h 02h` [《☞ P.4-67》]

マクロを実行するときは、登録時につけたマクロ番号を指定します。

マクロの中でさらに別のマクロを実行することもできますが、このとき、すでに実行中のマクロを実行しようとする、そのマクロ実行命令は無視されます。また、実行中のマクロと同じマクロ番号を指定しても実行されません。



マクロの実行は次の場合に中止されます。

- 操作パネルでハードリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリンタ初期化を行ったとき）
- 操作パネルでソフトリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリント中止を行ったとき）
- インプットプライム信号を受信したとき（LBPシリーズのみ）
- メニューの「自動排紙」で設定した排紙時間になったとき



マクロの実行時、次の制御命令は無視されます。

- マクロの登録 `[ESX] 01h -- -- =` 《☞ P.4-66》
- マクロの削除 `[ESX] 01h 00h 02h]` 《☞ P.4-67》
- マクロの追加登録 `[ESX] 01h -- -- &` 《☞ P.4-68》

また、マクロの実行中、次のLBPシリーズ/iRシリーズ専用命令は、文字データとして扱われます。

- ヘキサ形式データの設定 `@ @ C ?`
- LIPS-ヘキサ形式モードの開始 `@ @ L ?`

■マクロの自動実行

リセット処理を行った場合に、指定のマクロを自動的に実行することができます。このマクロをスタートアップマクロといいます。

スタートアップマクロのマクロ番号は、メニューの「スタートアップマクロ」で指定します。

「3.2.4 印字機能グループ (3) マクロ機能を設定する」《☞ P.3-32》

指定したスタートアップマクロは、I5577の制御命令「LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理 `[ESX] 01h 00h 00h`」を受信すると、リセット処理を行った後、自動的に実行されます。



制御命令以外でリセット処理が行われても、スタートアップマクロは実行されません。

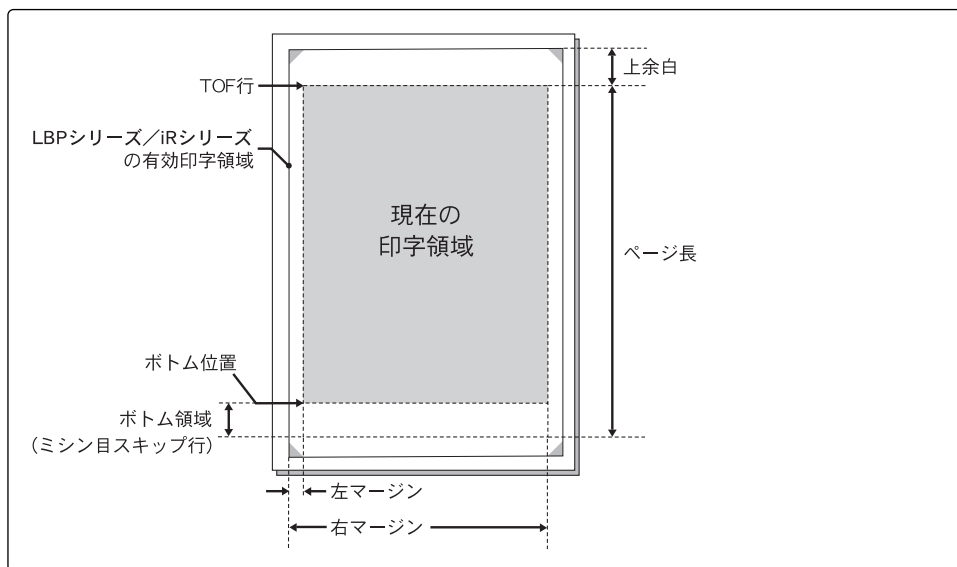
また、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されているとき、リセット処理の種類によっては登録したマクロ本体が消去され、スタートアップマクロ機能が動作しない場合があります。

2.6.4 行桁固定機能

印字したい行数や文字数を指定するだけで、現在の印字領域にその行数や文字数で印字できるように、改行ピッチおよび文字ピッチを自動的に設定することができます。この機能を行桁固定機能といいます。

行桁固定機能を使用すると、制御命令で現在設定されている改行ピッチや文字ピッチの調整量などが無効になり、行桁固定機能で計算された改行ピッチおよび文字ピッチが有効になります。

現在の印字領域とは、メニューや制御命令で設定されているページフォーマット、上余白、ボトム位置（ページ長／ミシン目スキップ）、および左／右マージンで設定されている領域のことです。



アプリケーションソフトウェアを使用する場合は、行桁固定機能を無効にしてください。行桁固定機能を有効にして印字すると、アプリケーションソフトウェア側で設定した改行ピッチや文字ピッチなどがすべて無効になります。

■行数／文字数（漢字比率）の設定

文字ピッチや改行ピッチを決定するための文字数や行数を、メニューの「桁固定」の各項目で設定します。


■行数


行数は、印字領域のTOF位置からボトム位置までに印字する行数を、メニューの「行数」で設定します（10行～400行）。

指定した行数が印字できるように改行ピッチが計算されます。改行ピッチは、1バイトコード文字／2バイトコード文字に関係なく一定です。


ただし、改行ピッチは先頭行（TOF行）からボトム位置までを指定された行数で除算して余りを切り捨てるため、誤差が出る場合があります。

最大誤差＝構成された改行ピッチ－最小垂直位置移動単位

(：1/180インチ)

(：1/180インチまたは1/216インチ)



「3.2.2 桁固定グループ (3) 1ページの行数を設定する」《 P.3-20》


■文字数


文字数は、印字領域の右端から左端までに印字する1バイトコード文字（ANK文字）の文字数を、メニューの「桁数」で設定します（10文字～400文字）。

文字ピッチはANK文字が基準となり、指定した文字数が印字できるように文字ピッチが計算されます。漢字の文字ピッチは漢字比率の指定によって決定されます。

文字ピッチ（文字ピッチ調整量）の計算は、左マージン位置から右マージン位置までを指定の文字数で除算して余りを切り捨てるため、改行ピッチ同様に誤差が出る場合があります。

最大誤差＝構成された文字ピッチ－最小水平位置移動単位

(：1/180インチ)

(：1/180インチ)



「3.2.2 行桁固定グループ (4) 1行の文字数を設定する」《☞ P.3-21》

■漢字比率

1バイトコード文字 (ANK文字) の文字ピッチに対する2バイトコード文字 (漢字) の文字ピッチの比率を漢字比率といいます。

2バイトコード文字 (漢字) の文字ピッチを、1バイトコード文字 (ANK文字) の何倍にするかをメニューの「漢字ピッチ」(iRシリーズは「漢字比率」) で指定できます。倍率は、等倍、2倍、3/2倍、4/3倍、5/4倍の中から選択します。

なお、漢字を横縮小した場合の文字ピッチは、通常のときの1/2倍になります。



「3.2.2 行桁固定グループ (5) 漢字の文字ピッチを設定する」《☞ P.3-22》

■行桁固定機能の実行

メニューで設定した行数、文字数、漢字比率をもとに、文字ピッチや改行ピッチを自動設定して印字する場合は、行桁固定機能の切り替えを「有効」にする必要があります。改行ピッチの自動設定と文字ピッチの自動設定はそれぞれ独立して「有効」にすることができます。

■改行ピッチの自動設定 (行固定機能)

メニューの「行固定機能」を「有効」に設定すると、「行数」で設定した行数をもとに改行ピッチ調整量が自動設定されます。このとき、印字データがある場合は印字と排紙が行われます。

以後、「行固定機能」が「無効」に設定されるまで、改行ピッチを変更する制御命令はすべて無効になります。

なお、「行固定機能」を「無効」に切り替えるとパラメータリセット処理が行われます。



「3.2.2 行桁固定グループ (1) 改行ピッチを自動的に設定する」《☞ P.3-18》

■文字ピッチの自動設定（桁固定機能）

メニューの「桁固定機能」を「有効」に設定すると、「桁数」で設定した文字数と「漢字ピッチ」（iRシリーズは「漢字比率」）で設定した漢字比率をもとに、文字ピッチ調整量が自動設定されます。このとき、印字データがある場合は印字と排紙が行われます。

以後、「桁固定機能」が「無効」に設定されるまで、文字ピッチを変更する制御命令はすべて無効になります。ただし、OCRフォントを使用して印字する場合は、文字ピッチ10dpiで印字されます。

なお、「桁固定機能」を「無効」に切り替えるとパラメータリセット処理が行われます。



「3.2.2 行桁固定グループ（2）文字ピッチを自動的に設定する」《P.3-19》



行固定機能および桁固定機能が有効に設定されているときにメニューまたは制御命令によって次の設定が行われた場合、その設定による新しい印字領域での改行ピッチおよび文字ピッチが計算されます。

- ページフォーマットの設定
- 上余白の設定
- 用紙位置の微調整
- 印字領域の設定（標準／ワイド領域モード）
- 行桁固定機能の行数／文字数／漢字比率の設定
- 右マージン位置の初期値の設定
- 印刷幅の設定
- 用紙サイズの設定
- ページ長の設定
- ミシン目スキップ行数の設定
- 左／右マージンの設定（制御命令）
- リセット処理によって、上記の設定が変更（初期状態）された場合

■無効になる制御命令

行固定機能および桁固定機能が有効に設定されているときは、次のI5577の制御命令が無効になります。

I75モード

制御命令による設定項目	行固定機能有効時	桁固定機能有効時
改行ピッチの設定（1/120インチ単位） ESC % 9	無効	有効
改行ピッチの設定（Ipi単位） ESX 03h 00h 01h	無効	有効
文字ピッチの設定 ESX 02h 00h 01h	有効	無効
ANK文字の横幅縮小指定 ESX 0Eh 00h 01h 07h	有効	無効
ANK文字の横幅縮小解除 ESX 0Eh 00h 01h 08h	有効	無効

次のLBPシリーズ／iRシリーズ専用命令も無効になります。

制御命令による設定項目	行固定機能有効時	桁固定機能有効時
文字ピッチの設定 ESX 01h 00h 02h H	有効	無効
漢字文字ピッチの1/2指定/解除 ESX 01h 00h 02h I	有効	無効

2.6.5 2ページ印刷機能

2ページ分の印字データを1枚の用紙に見開きで印字することができます。

2ページ印刷機能は、A3サイズまたはB4サイズの用紙がセットされているときに使用でき、A3サイズの用紙にはA4サイズに収まる印字データ、B4サイズにはB5サイズに収まる印字データを2ページ分印字できます。

印字データの用紙サイズ（A4やB5）がポートレイトのときは、左右に2ページ印刷され、ランドスケープのときは、上下に2ページ印刷されます。

左右のページ順は、用紙を袋とじにしたときに左開きになるように印字するか、右開きになるように印字するかを設定できます。

2ページ印刷機能は、メニューの「2ページ印刷設定」で「左」（左開き）または「右」（右開き）に設定することによって開始します。



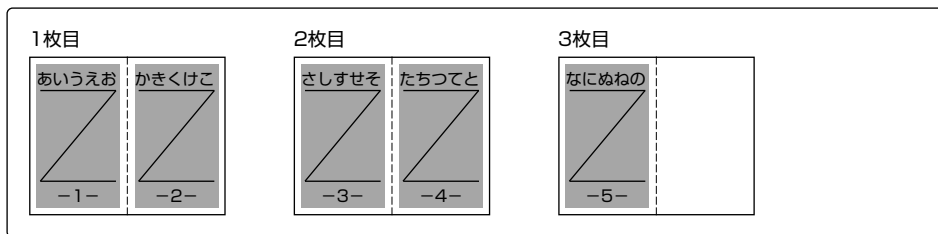
「3.2.1 ページレイアウトグループ (8) 2ページ分のデータを1ページに印刷する」

《 P.3-17》

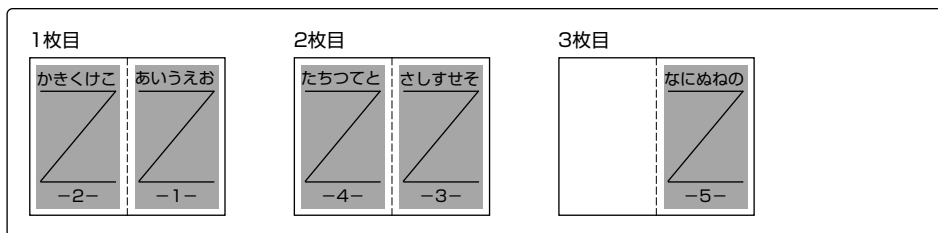
■ポートレイトのときの印字

たとえば、5ページ分の印字データは、次のように印字されます。

■左開き



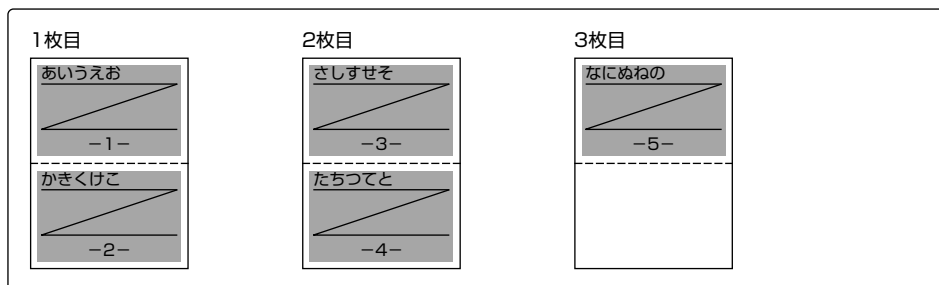
■右開き



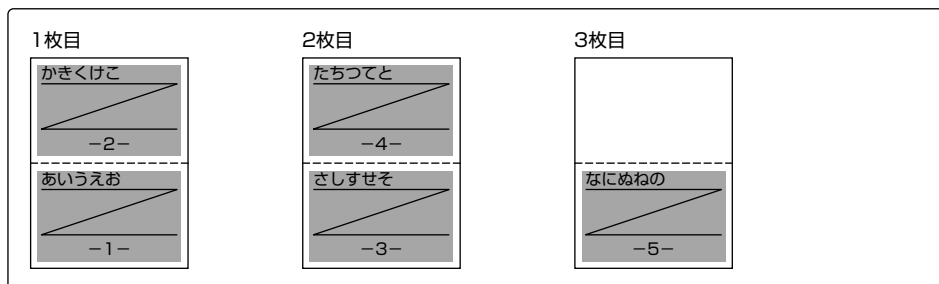
■ランドスケープのときの印字

たとえば、5ページ分の印字データは、次のように印字されます。

■左開き



■右開き



■用紙サイズの表示

2ページ印刷機能使用中にパネルに表示される用紙サイズは、印字に使用する用紙のサイズではなく、印字データの用紙サイズ（A4やB5）です。

■ページオーバレイ機能と2ページ印刷機能

ページオーバレイ機能を使用した場合、印字データの用紙サイズ（A4やB5）のフォーム（システムページ／ユーザページ）が、見開きページ（左右または上下）両方にオーバレイ印字されます。

■複写用紙機能と2ページ印刷機能

2ページ印刷機能を使用しているときは、複写用紙機能は使用できません。

また、複写用紙機能を使用しているときに、2ページ印刷機能を使用する設定（左または右を指定）にすると、複写用紙機能は終了します。

3

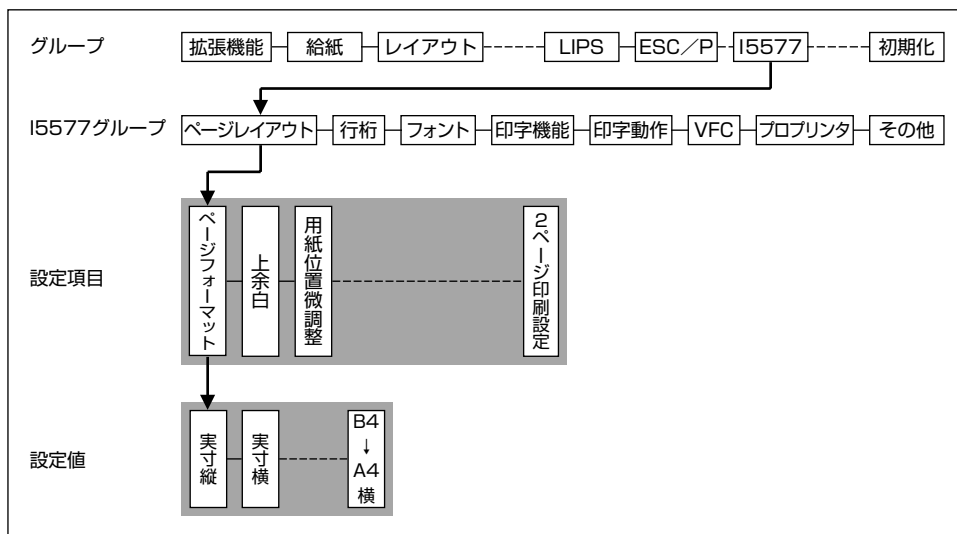
I5577モードの設定

IBM5577とLBPシリーズ/iRシリーズの違いを補うための印字環境（ページフォーマット、印字位置の調整、印字状態など）は、セットアップメニュー（iRシリーズはI5577設定メニュー）で設定できます。

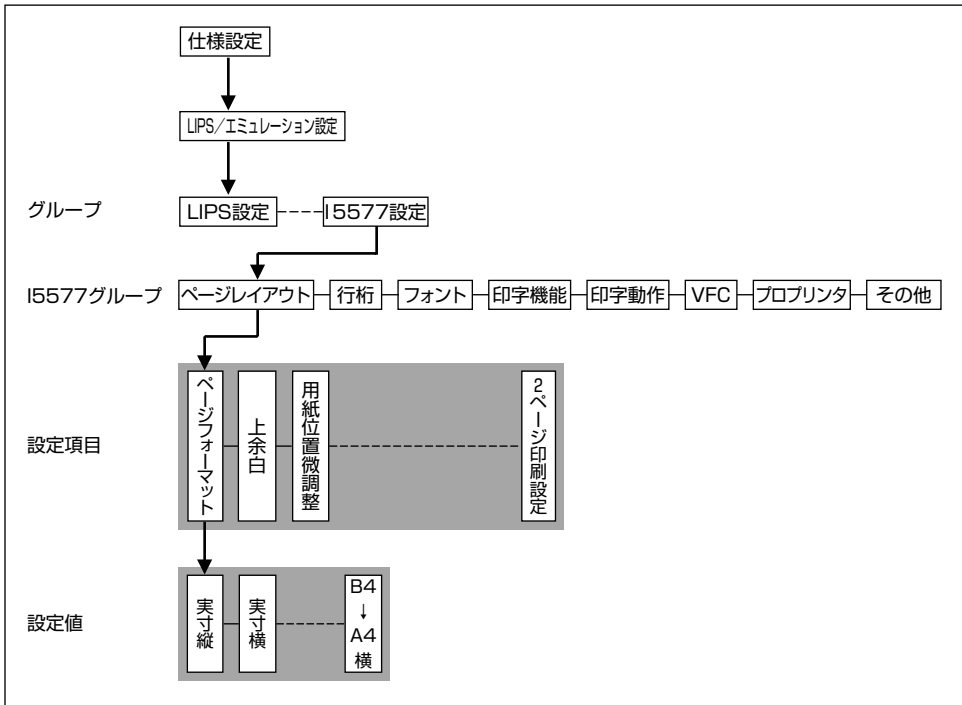
セットアップメニュー（iRシリーズは、LIPS/エミュレーション設定メニュー）には、すべての動作モード共通のプリント環境と、エミュレーションなどの動作モードごとに設定できる専用のプリント環境がそれぞれグループ化されて並んでいます。

I5577エミュレーションモードの印字環境の設定項目や設定値は、この中のI5577グループに含まれています。「I5577」（iRシリーズは、「I5577設定」）というグループ階層を選択すると、I5577エミュレーションモード専用の8種類のメニューグループが表示されます。

■LBPシリーズ



■iRシリーズ



3

15577グループの設定

3.1 I5577モードの設定項目の種類

I5577エミュレーションモードの設定項目は、次の8種類のグループに分かれています。

- ページレイアウトグループ
- 行桁固定グループ
- フォントグループ
- 印字機能グループ
- 印字動作グループ
- VFCグループ
- プロプリンタグループ
- その他

それぞれのグループに含まれる設定項目は次のとおりです。太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ ページレイアウトグループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
ページフォーマット	ジッスンタテ, ジッスンヨコ, 10"→A4タテ, 15"→A4ヨコ , 15"→B4ヨコ, B4→A4タテ, B4→A4ヨコ	実寸縦, 実寸横, 10" →A4縦, 15" →A4横 , 15" →B4横, B4→A4縦, B4→A4横
上余白	-127~+000~+127	-127~0~+127
用紙位置微調整	-127~+000~+127	-127~0~+127
領域	ヒョウジュン, ワイド	標準, ワイド
右マージン既定値	インサツハバ, ミギハシ	印刷幅, 右端
印刷幅	13.2インチ , 8インチ, 13.6インチ	13.2インチ , 8インチ, 13.6インチ
用紙サイズ	カレントヨウシ, A3, B4, A4, B5, A5, ハガキ	カレント用紙, A3, B4, A4, B5, A5, ハガキ
2ページ印刷設定	シナイ, ヒダリ, ミギ	しない, 左, 右

■行桁固定グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
行固定機能	ムコウ, ユウコウ	無効, 有効
桁固定機能	ムコウ, ユウコウ	無効, 有効
行数	10ギョウ～66ギョウ～400ギョウ	10行～66行～400行
桁数	10ケタ～132ケタ～400ケタ	10桁～132桁～400桁
漢字ピッチ (iRシリーズ: 漢字比率)	2/1, 3/2, 4/3, 5/4, 1/1	2/1, 3/2, 4/3, 5/4, 1/1

■フォントグループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
漢字書体	ミンチョウ, ゴシック, マルゴシック, ID	明朝, ゴシック, 丸ゴシック, ID
フォントID*	001, 002～999	1, 2～999
漢字グラフィックセット	JISIBM, JIS78, JIS90	JISIBM, JIS78, JIS90
漢字サイズ	システム, 8ポイント, 10ポイント, 12ポイント	システム, 8ポイント, 10ポイント, 12ポイント
OCRモジ (iRシリーズ: OCRフォント)	シヨウセズ, OCR-A, OCR-B, OCR-A/OCR-カナ, OCR-B/OCR-カナ	使用せず, OCR-A, OCR-B, OCR-A/OCR-カナ, OCR-B/OCR-カナ

*: 「漢字書体」で「ID」を選択した場合のみ設定できます。

■印字機能グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
イメージの補正	スル, シナイ	する, しない
システムオーバーレイ	オフ, 1, 2, 3, 4, 5	システムオーバーレイ設定: する, しない オーバーレイ番号: 1, 2, 3, 4, 5
スタートアップマクロ	0～255	0～255
ユーザオーバーレイ1 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ1設定)	オフ, オン	する, しない
ユーザオーバーレイ2 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ2設定)	オフ, オン	する, しない
ASFコントロール	スル, シナイ	

■印字動作グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
自動排紙	オフ、5ビョウ～300ビョウ	自動排紙設定：する、しない 排紙時間：5秒～30秒～300秒
HEXモード後の[LF] (iRシリーズ：HEXモード後の改行設定)	ムシスル、ムシシナイ	無視する、無視しない
イメージラップ	オン、オフ	する、しない

■VFCグループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
改行幅	6LPI, 5LPI, 4LPI, 3LPI, 2LPI, 8LPI, 7.5LPI	6 lpi, 5 lpi, 4 lpi, 3 lpi, 2 lpi, 8 lpi, 7.5 lpi
用紙長機能	ムコウ、ユウコウ	無効、有効
用紙長設定	0ギョウ～66ギョウ～512ギョウ	0行～66行～512行
ミシン目スキップ	0ギョウ～509ギョウ	0行～509行

■プロプリンタグループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
[CR]機能	フッキノミ、フッキ/カイギョウ	復帰のみ、復帰/改行
自動復帰機能	フッキシナイ、フッキスル	復帰しない、復帰する
ゼロ書体	0、∅	斜線無しゼロ、斜線付きゼロ
文字セット	1、2	1、2
コードページ	437、850	437、850
グラフィックモード	ムコウ、ユウコウ	無効、有効

■その他グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
コマンドモードメニュー	75、プロ	75、プロ
登録レベル	イチジ、エイキュウ	一時、永久
HEX/LIPS機能	ムコウ、ユウコウ	無効、有効
LIPSフォーム	LIPS2、LIPS4	LIPS2、LIPS4



LBPシリーズ/iRシリーズには、不揮発性メモリ（設定値を書き込んだり登録したりできるメモリで、電源をオフにしても内容は消えません）が組み込まれており、I5577エミュレーションモードの設定値は自動的に登録されます。したがって、いったん値を設定しておけば、他の動作モードに切り替えても、再びI5577エミュレーションモードに戻ったときに前回の設定値で印字することができます。

3

I5577モードの設置

3.2 I5577モードの設定

I5577エミュレーションモードの設定項目の内容について説明します。

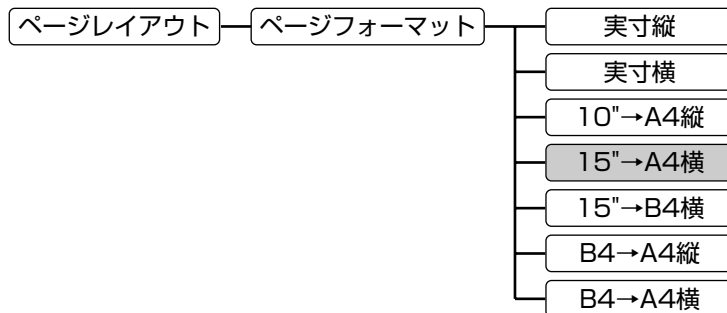
3.2.1 ページレイアウトグループ


ページレイアウトグループでは、IBM5577とLBPシリーズ/iRシリーズの間での用紙サイズと用紙の向き、印字位置の調整などを行うことができます。

(1) ページフォーマットを設定する (ページフォーマット)



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

IBM5577の印字に対応する本エミュレーションモードのページフォーマットを次の7種類から選択します。

■実寸縦 (Fmode 1)

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズの用紙をIBM5577に縦置きでセットした場合と同じ印字結果になります。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、IBM5577と同じ用紙サイズを設定します。

■実寸横 (Fmode 2)

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズの用紙をIBM5577に横置きでセットした場合と同じ印字結果になります。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、IBM5577と同じ用紙サイズを設定します。

■10"→A4縦 (Fmode 3)

IBM5577で10×11インチの連続用紙に印字するデータ(80文字×66行)をA4サイズに入るように縮小してポートレイトで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

■15"→A4横 (Fmode 4)

IBM5577で15×11インチの連続用紙に印字するデータ(132文字×66行)をA4サイズに入るように縮小してランドスケープで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

■15"→B4横 (Fmode 6)

IBM5577で15×11インチの連続用紙に印字するデータ(132文字×66行)をB4サイズに入るように縮小してランドスケープで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、B4サイズ以上の用紙を設定します。

■B4→A4縦 (Fmode 7)

IBM5577でB4サイズのカット紙を縦置きにセットして印字するデータをA4サイズに入るように3/4に縮小してポートレイトで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

■B4→A4横 (Fmode 8)

IBM5577でB4サイズのカット紙を横置きにセットして印字するデータをA4サイズに入るように3/4に縮小してランドスケープで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。



「2.2 ページフォーマット」 《 P.2-3》

(2) 上余白を設定する（上余白）



LBPシリーズ階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



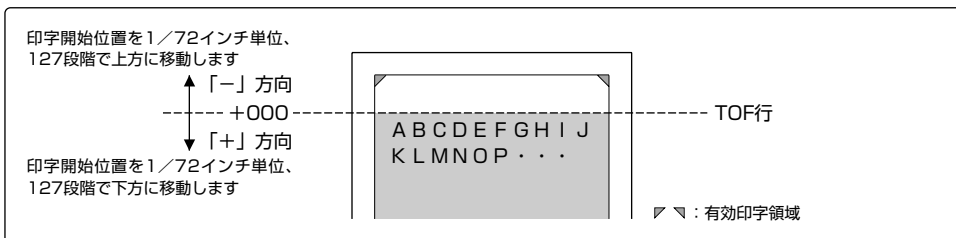
(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

それぞれのページフォーマットで設定されているTOF行の上端を基準として、印字開始位置を上下方向にずらす量を255段階で指定します。

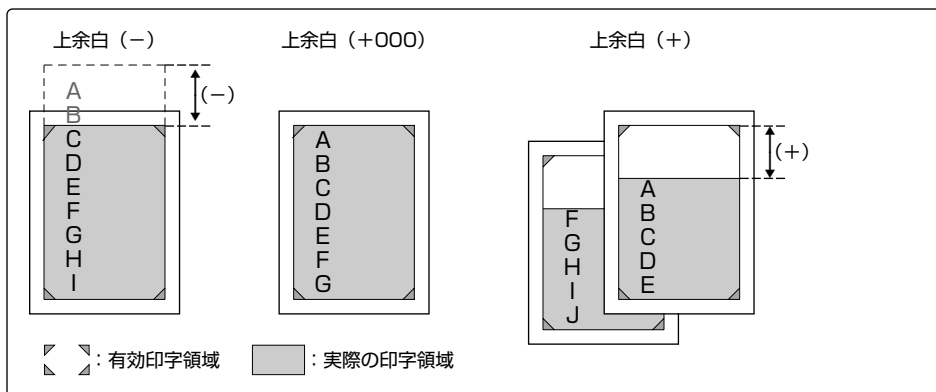
印字開始位置を下方にずらす場合はプラス (+) 方向、上方にずらす場合はマイナス (-) 方向になります。

【単位】 1/72インチ (約0.35mm)

【範囲】 -127~+000~+127 (iRシリーズ: -127~0~+127)



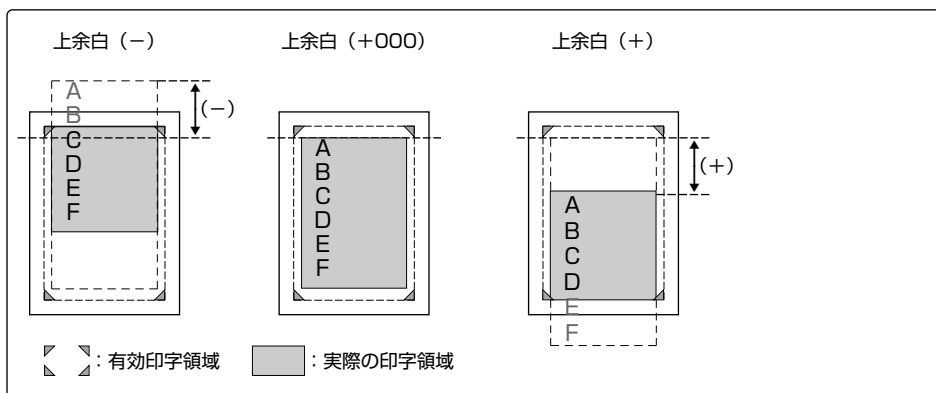
■カット紙のページフォーマット (Fmode 1, 2, 7, 8) での印字動作



上余白を増やした場合、有効印字領域の下端を越えた印字データは、次ページのTOF行から印字されます。

上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を越えた部分の印字データは印字されません。

■連続用紙のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) での印字動作



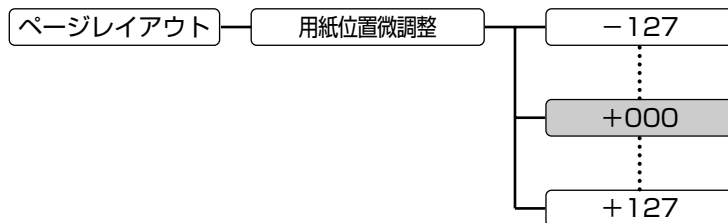
上余白を増やした場合、印字データが有効印字領域の下端を越えると、ボトム位置からページ長（初期状態のTOF行からボトム位置までの範囲）までのデータは印字されません。


上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を越えた部分の印字データは印字されません。

(3) 用紙位置を左右に微調整する (用紙位置微調整)

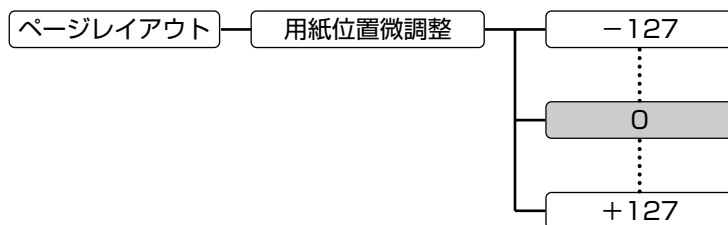



LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

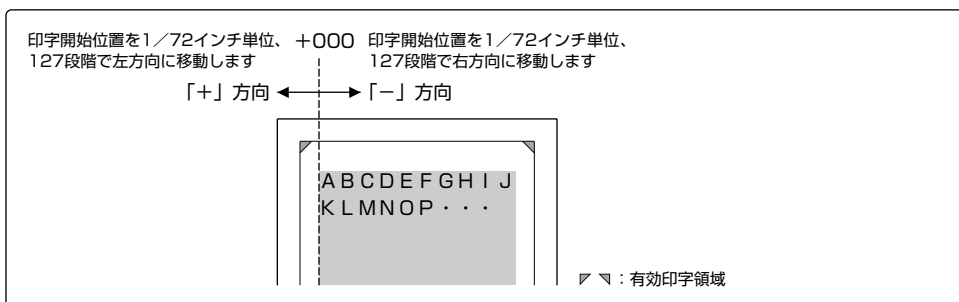
用紙の左端を基準として、印字位置を左右方向にずらす量を255段階で指定します。

印字開始位置を左にずらす場合はプラス (+) 方向、右にずらす場合はマイナス (-) 方向になります。

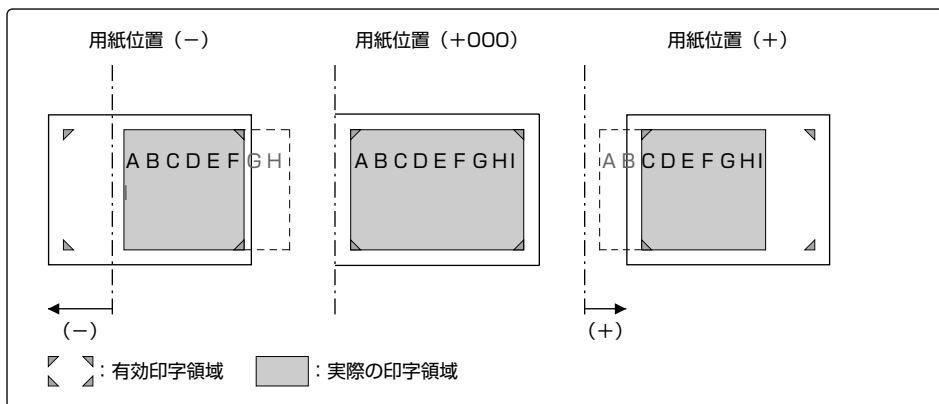
【単 位】 1/72インチ (約0.35mm)

【範 囲】 -127~+000~+127 (iRシリーズ：-127~0~+127)

用紙位置を微調整したときの印字位置は、ページフォーマットおよび印字領域 (標準/ワイド領域モード) の設定によって次のようになります。

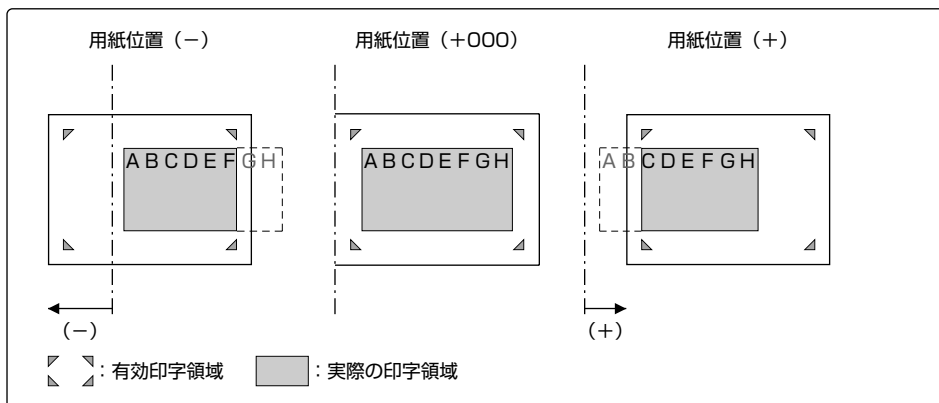


■実寸のページフォーマット (Fmode 1, 2) での印字動作

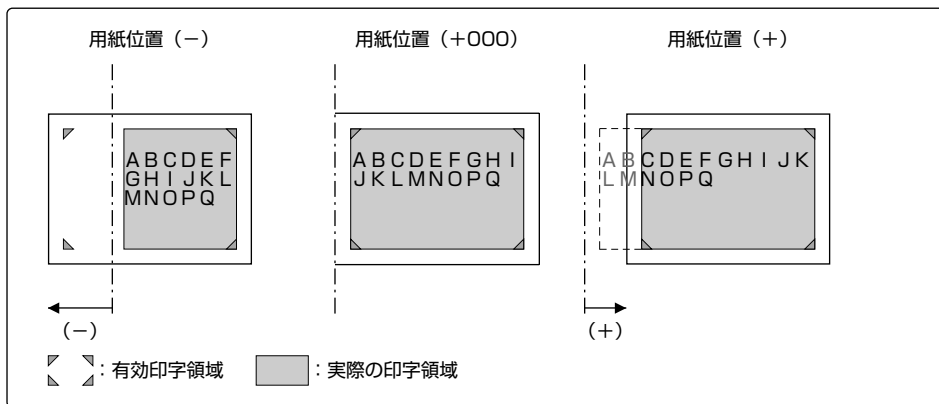


■縮小のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6, 7, 8) での印字動作

標準領域モード



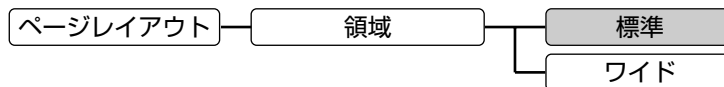
ワイド領域モード




(4) 印字領域を設定する (領域)



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字データを縮小するページフォーマット (Fmode 3, 4, 6, 7, 8) を使用するとき、ページフォーマットに従ったレイアウトで印字するか、有効印字領域ほぼいっぱい印字するかを設定します。

■標準 (標準領域モード)

ページフォーマットにしたがった印字領域で印字を行います。したがって、IBM5577と同じレイアウトで印字できます。

■ワイド (ワイド領域モード)


印字データの縮小率のみページフォーマットにしたがって、印字領域をセットされている用紙の有効印字領域とほぼ同じ範囲まで広げます。IBM5577の印字結果のレイアウトと異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使って印字することができます。



現在のページフォーマットに関係なく設定を行えますが、実際に設定が有効になるのは、印字データを縮小するページフォーマット (Fmode 3, 4, 6, 7, 8) が指定された場合に限られます。



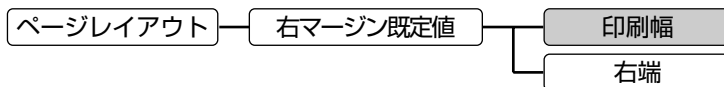
「2.3 ワイド領域に印刷する」 《  P.2-23》

「2.5 印字領域と印字動作」 《  P.2-33》

(5) 右マージンの位置を設定する（右マージン既定値）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

初期状態の右マージンの位置を指定します。

■印刷幅

右マージン位置をメニューの「印刷幅」の設定（13.2インチ、13.6インチ、8インチ）にします。


■右端


右マージン位置を現在の用紙サイズの有効印字領域の右端に設定します。



この設定は、実寸で印字するページフォーマット（Fmode 1, 2）が指定された場合に有効になります。



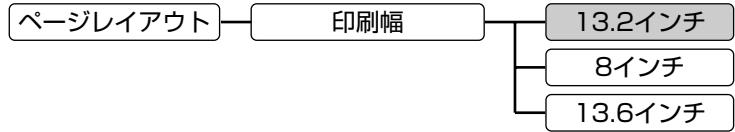
「2.2 ページフォーマット」《  P.2-3》


「(6) 印刷幅を設定する」《  P.3-15》

(6) 印刷幅を設定する (印刷幅)



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字幅を設定します。

■13.2インチ、8インチ、13.6インチ


初期状態の印刷幅を選択します。



印刷幅は、用紙サイズおよび設定されている左右マージンの位置には関係なく設定されます。

なお、メニューの「右マージン既定値」を「印刷幅」に設定すると、印刷幅の設定位置が右マージン位置になります。

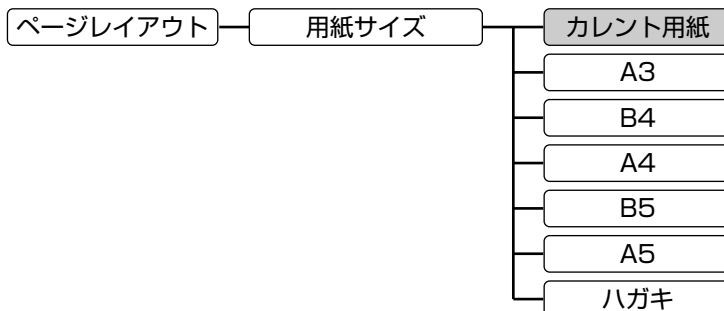


「2.2 ページフォーマット」《  P.2-3 》

(7) 用紙サイズを設定する（用紙サイズ）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字する用紙のサイズを設定します。

■カレント用紙

LBPシリーズでは現在セットされている用紙サイズが設定されます。

給紙元に指定されているカセットの用紙サイズが設定されます。

ただし、給紙選択メニューの給紙元が「トレイ」に設定されている場合は、トレイ用紙サイズで設定されている用紙となります。給紙選択メニューで「自動」を選び、セットアップメニューの給紙グループ（共通メニュー）の「トレイ優先」を「する」に設定したときも同様です。

iRシリーズでは、「デフォルト用紙サイズ」で設定した用紙サイズが設定されます。


■A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ

それぞれの定形サイズの用紙を設定します。



設定した用紙サイズが、現在指定されている給紙元にセットされている用紙サイズと合わない場合は、正しいサイズの用紙をセットするようにメッセージが表示されます。

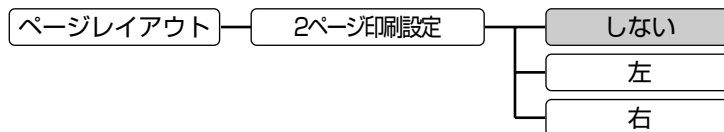



「2.2 ページフォーマット」《  P.2-3》

(8) 2ページ分のデータを1ページに印刷する (2ページ印刷設定)



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

A4サイズまたはB5サイズで作成された印字データを、A3サイズまたはB4サイズの用紙に見開きで2ページ分ずつ並べて印字するかどうかを設定します。

■しない

2ページ印刷を行いません。

■左 (左開き印刷)

2ページ分の印字データを左開きでとじられるようにページの向きを調節して見開きで印字します。ポートレイトの場合は、左側が1ページ目、右側が2ページ目になり、ランドスケープの場合は、上側が1ページ目、下側が2ページ目になります。

■右 (右開き印刷)

2ページ分の印字データを右開きでとじられるようにページの向きを調節して見開きで印字します。ポートレイトの場合は、右側が1ページ目、左側が2ページ目になり、ランドスケープの場合は、下側が1ページ目、上側が2ページ目になります。



アプリケーションソフトウェアを利用している場合、ソフトウェア側でページごとに用紙サイズを指示していることがあります。このときは、2ページ印刷できないことがあります。



「2.6.5 2ページ印刷機能」〈  P.2-62〉

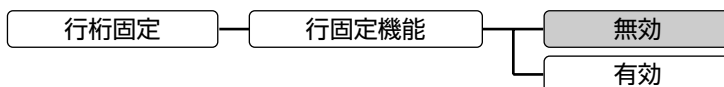
3.2.2 行桁固定グループ

行桁固定グループでは、ページ内に印字する行数または桁数を決めるだけで、改行ピッチや文字間隔を自動的に設定することができます。

(1) 改行ピッチを自動的に設定する（行固定機能）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

TOF行からページのボトム位置までの領域に印字する行数が決まっている場合、行固定機能を使用すると、その行数を指定するだけで改行ピッチを自動的に計算して設定することができます。ここでは、行固定機能を使用するかどうかを設定します。

■無効

行固定機能を使用せず、制御命令などで設定されている現在の改行ピッチで印字を行います。


■有効

行固定機能を使用し、設定した行数で印字できるように改行ピッチを自動的に設定して印字を行います。したがって、制御命令などで設定されている改行ピッチの設定は無効になります。



行固定機能を使用しているときに、操作パネルや制御命令によって印字領域に関する設定内容が変更された場合は、新しい印字領域で改行ピッチが設定し直されます。

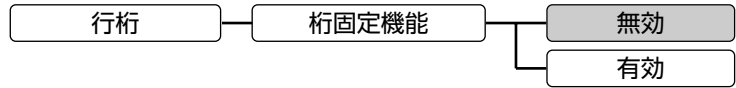



「2.6.4 行桁固定機能」 《  P.2-57》

(2) 文字ピッチを自動的に設定する（桁固定機能）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

左右マージンの幅に印字する桁数が決まっている場合、桁固定機能を使用すると、その桁数を指定するだけで文字ピッチを自動的に計算して設定することができます。ここでは、桁固定機能を使用するかどうかを設定します。

■無効

桁固定機能を使用せず、制御命令などで設定されている現在の文字ピッチで印字を行います。


■有効

桁固定機能を使用し、設定した桁数で印字できるように文字ピッチを自動的に設定して印字を行います。したがって、制御命令などで設定されている文字ピッチの設定は無効になります。



桁固定機能を使用しているときに、操作パネルや制御命令によって印字領域に関する設定内容が変更された場合は、新しい印字領域で文字ピッチ（および漢字ピッチ）が設定しなおされます。

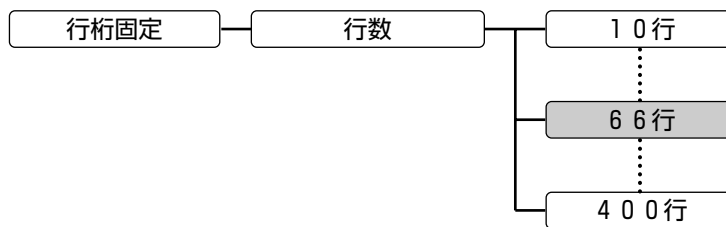



「2.6.4 行桁固定機能」 《  P.2-57 》

(3) 1ページの行数を設定する（行数）



階層図



（ で示した設定値は工場出荷時の値です。）

1ページに印字する行数を設定します。


行固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した行数を印字できるように、改行ピッチが計算されます。

【範囲】 10～400行



設定した行数は、行固定機能が有効の場合のみ使用されます。

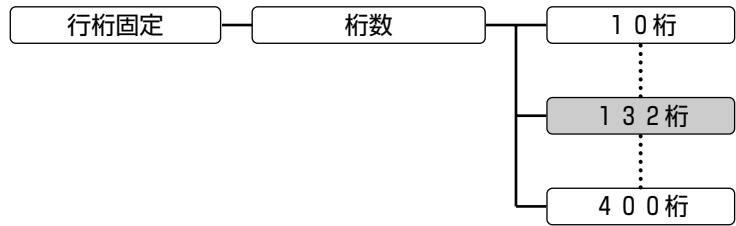



「2.6.4 行桁固定機能」《 P.2-57》

(4) 1行の文字数を設定する（桁数）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1行に印字する文字数を1バイトコード文字（ANK文字）の桁数で設定します。
桁固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した桁数を印字できるように、文字ピッチが計算されます。


【範囲】 10～400桁




設定した桁数は、桁固定機能が有効の場合のみ使用されます。

1行の文字数はANK文字が基準であり、1行に漢字を何文字印字するかは漢字ピッチ（1バイトコード文字の文字ピッチに対する比率）で設定します。



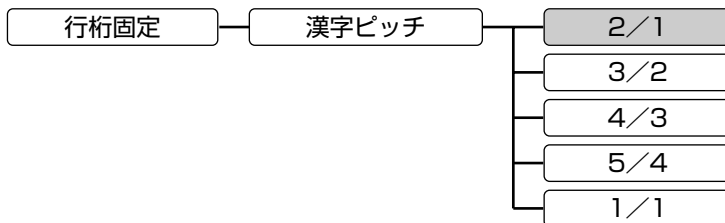
「2.6.4 行桁固定機能」《  P.2-57》

「(5) 漢字の文字ピッチを設定する」《  P.3-22》

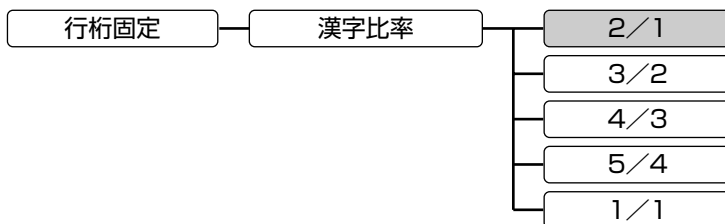
(5) 漢字の文字ピッチを設定する (LBPシリーズ：漢字ピッチ、iRシリーズ：漢字比率)



LBPシリーズ階層図

( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図

( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを1バイトコード文字（ANK文字）の文字ピッチの何倍にするかを設定します。


桁固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した文字ピッチの比率で2バイトコード文字が印字されます。

【範 囲】 2/1、3/2、4/3、5/4、1/1（倍）



設定した文字ピッチの比率は、桁固定機能が有効の場合のみ使用されます。

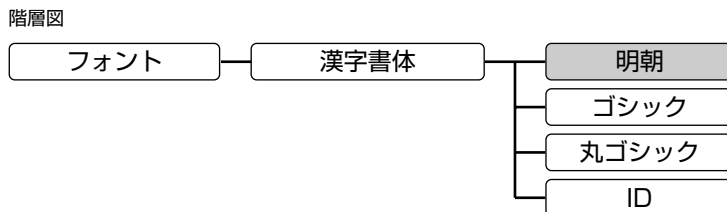



「2.6.4 行桁固定機能」《  P.2-57》

3.2.3 フォントグループ

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などフォントに関する設定を行うことができます。

(1) 漢字の書体を設定する（漢字書体）



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

2バイトコード文字（漢字）の書体を設定します。

■明朝（明朝体）

明朝体で印字します。

■ゴシック（ゴシック体）

ゴシック体で印字します。

■丸ゴシック（丸ゴシック体）

丸ゴシック体で印字します。

■ID（フォントID）

フォントIDで設定したオプションの書体で印字します。




「(2) オプションの漢字書体を設定する」 《  P.3-24 》

(2) オプションの漢字書体を設定する（フォントID）



LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

漢字書体で「ID」を設定した場合、印字するオプションの漢字書体の番号を設定します。

【範 囲】 001～999 (iRシリーズ：1～999)



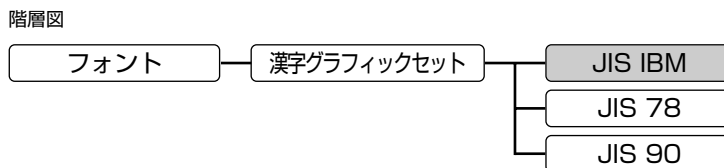
この設定項目は、フォントグループの「漢字書体」が「ID」に設定されている場合のみ設定することができます。


また、I5577エミュレーションモードでは使用できない書体を指定した場合は、明朝体になります。



「(1) 漢字の書体を設定する」《  P.3-23 》

(3) JISコードの種類を切り替える（漢字グラフィックセット）



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

JISコードで使用する漢字グラフィックセットを設定します。

■JIS IBM

IBM漢字グラフィックセットを使用します。

■JIS 78（旧JIS）

旧JISの漢字グラフィックセットを使用します。

■JIS 90（新JIS）

新JISの漢字グラフィックセットを使用します。

新JISコードは、旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加・変更したものです。




グラフィックセットとは、コンピュータから送られてくるコードに対して、どの文字を割り当てるかを取り決めたもので、それを表にしたものがコード表です。漢字コードは、IBM標準のコード、1978年版の旧JIS（JIS78）コード、1990年版の新JIS（JIS90）コードに準拠しています。新JISでは、旧JISに新しい特殊記号39文字と罫線32文字が追加されているほか、約300種類の漢字のフォントが変更されています。



I5577エミュレーションモードでは、JISでパターンを定めていない部分のコードにIBM5577の制御命令で登録した文字などを割り当てています。

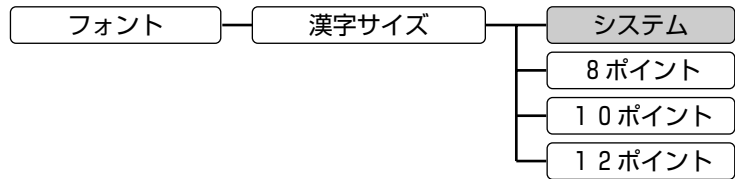



「付録5. コード表」 《  P.app.24 》

(4) 漢字サイズを設定する（漢字サイズ）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

2バイトコード文字（漢字）の文字サイズを設定します。

■システム

現在のページフォーマットに従った漢字サイズによって印字を行います。

■8ポイント

8ポイントで印字します。


■10ポイント

10ポイントで印字します。

■12ポイント

12ポイントで印字します。

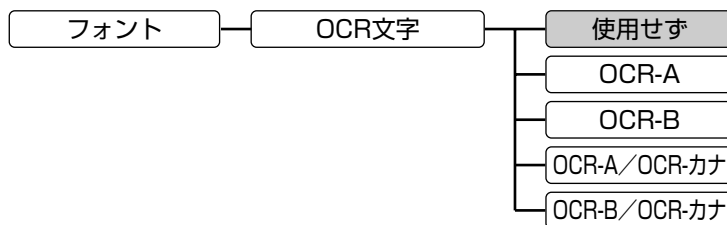



「2.2 ページフォーマット」 《  P.2-3 》

(5) OCR文字を設定する (LBPシリーズ：OCR文字、iRシリーズ：OCRフォント)




LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1バイトコード文字（ANK文字）をOCRフォント（I5577エミュレーションモードの拡張フォント）を使用して印字するかどうかを設定します。

■使用せず

OCR文字を使用しません。従って、英数字、カタカナは明朝10dpiフォントで印字されます。

■OCR-A

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Aフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）は明朝10dpiフォントで印字します。

■OCR-B

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Bフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）は明朝10dpiフォントで印字します。

■OCR-A/OCR-カナ

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Aフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はOCR-カナフォントで印字します。

■OCR-B/OCR-カナ

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Bフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はOCR-カナフォントで印字します。



OCRフォントの使用は10ポイント（実寸サイズ）の文字で印字を行うページフォーマット（Fmode 1, 2, 3, 6）で有効になります。縮小サイズの8ポイントで印字するページフォーマット（Fmode 4, 7, 8）では、設定に関わらず明朝10cpiフォントで印字されます。

なお、制御命令「ANK文字フォントの指定[ESX] 06h 00h 01h」でANK文字フォントが指定されている場合、この設定に関わらずOCRフォントは使用されません。

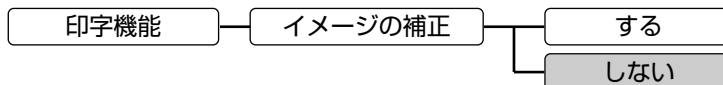
3.2.4 印字機能グループ


印字機能グループでは、イメージデータの補正、マクロ、ページオーバーレイなどに関する設定を行うことができます。

(1) イメージデータの補正を設定する（イメージの補正）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

イメージデータを印字するとき、IBM5577とLBPシリーズ/iRシリーズとの解像度の違いから、イメージデータを拡大します。このとき、イメージの拡大にともなってイメージを補正するかどうかを設定します。

■する（補正する）

イメージデータを拡大するとき、イメージがきれいに見えるように補正処理を行います。

■しない（補正しない）

イメージデータを単純に拡大し、イメージの補正は行いません。

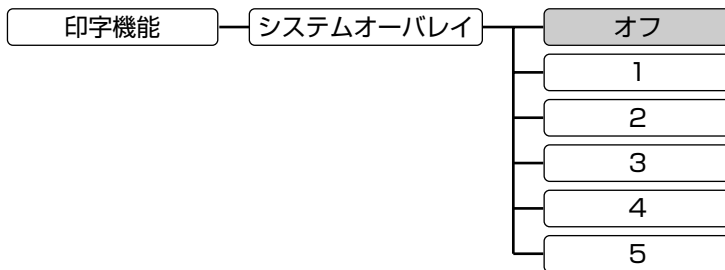


縦方向と横方向の倍率の異なるページフォーマット（Fmode 4, 6）では、印字したイメージが横長または縦長に見えることがあります。

(2) システムページのオーバーレイ印字を設定する（システムオーバーレイ）

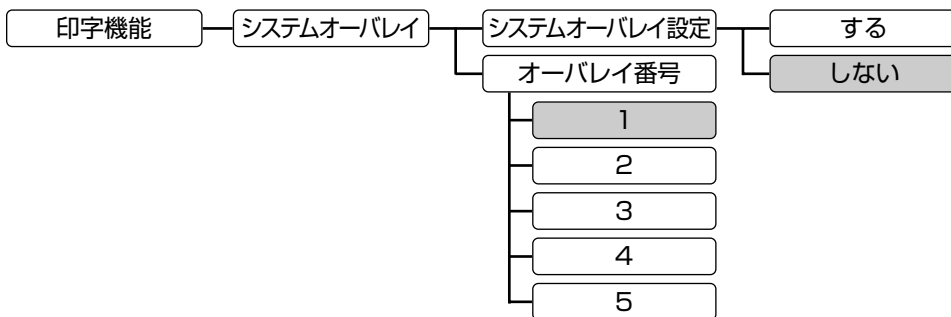


LBPシリーズ階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

オーバーレイ印字は、印刷する各ページに共通なデザイン書式などをフォームとしてあらかじめオーバーレイ領域に登録し、印字データと重ねて印刷する機能です。オーバーレイ印字を行うと、各ページに共通の印字データをページごとに送る必要がなくなり効率よく印刷できます。

LBPシリーズ/iRシリーズには、5種類の定型フォームがあらかじめ登録されています。ここでは、LBPシリーズ/iRシリーズが保有しているオーバーレイフォームを使用して、オーバーレイ印字を行うかどうかを設定します。

■オフ（iRシリーズ：「システムオーバーレイ設定」を「しない」に設定）

システム保有のフォームによるページオーバーレイ印字を行いません。

■1~5 (iRシリーズ: 「システムオーバーレイ設定」を「する」に設定し、「オーバーレイ番号」でページを指定)

指定したシステム保有ページの定型フォームをオーバーレイ印字します。

設定値	フォームの内容
1 (ページ1)	1/3インチ間隔で横罫線を引いた6lpi用のフォーム。(線種は破線で、1インチごとに実線)
2 (ページ2)	1/3インチ幅の網かけを1行おきに入れ、ページ全体を枠取りした6lpi用のフォーム。
3 (ページ3)	ページ全体を枠取りしたフォーム。
4 (ページ4)	ページ1のフォームを1/4インチ間隔に変形させた8lpi用のフォーム。
5 (ページ5)	ページ2のフォームを1/4インチ間隔に変形させた8lpi用のフォーム。

*線の太さは、300dpiで1ドット、600dpiで2ドットになります。

システム保有ページのオーバーレイ印字の開始時または終了時には、パラメータリセット処理が行われます。



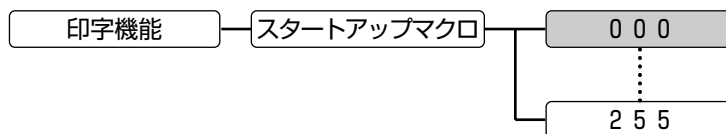
「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-42》


「付録4. 内蔵フォームの印字サンプル」《☞ P.app.19》

(3) マクロ機能を設定する（スタートアップマクロ）

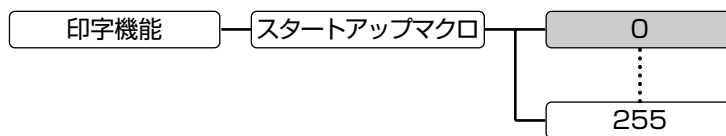



LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

マクロ機能は、あらかじめ作成したI5577エミュレーションモード（I75モード）の印字制御のプログラムをLBPシリーズ/iRシリーズのメモリに登録し、制御命令などで実行できるようにする機能です。LBPシリーズ/iRシリーズには、000～255番までの最大256種類のマクロを登録することができます。マクロの登録は、制御命令によって行います。登録されているマクロの中で、特定のマクロを選び、LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理が行われた後で自動的に実行させることができます。このマクロをスタートアップマクロといいます。ここでは、次のリセット命令を受信した場合に、自動的に実行されるスタートアップマクロのマクロ番号を指定します。

- I75モード：LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理 `[ESX] 01h 00h 00h`」

【範囲】 000～255（マクロ番号）



LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理の制御命令を受信すると、制御命令で設定されたすべての印字パラメータおよび操作パネルで設定されたメニュー項目の一部が初期化された後、スタートアップマクロに指定したマクロが自動的に実行されます。



スタートアップマクロは、制御命令によってリセット処理が行われた場合のみ実行されま
す。また、その他グループのメニューの「登録レベル」が「一時」に設定されているとき、
リセット処理の種類によっては登録したマクロ本体が消去され、スタートアップマクロ機
能が動作しない場合があります。

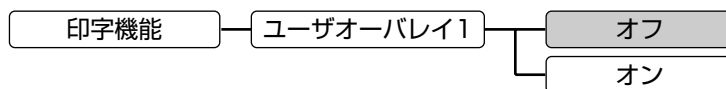



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-53》
「付録2. 初期状態」《☞ P.app.7》

(4) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ：ユーザオーバーレイ1、iRシリーズ：ユーザオーバーレイ1設定)

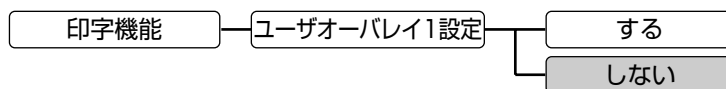



LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

オーバーレイ印字は、印刷する各ページに共通な罫線書式などをフォームとしてあらかじめLBPシリーズ/iRシリーズに登録しておき、印字データと重ねて印刷する機能です。オーバーレイ印字するフォームは、LBPシリーズ/iRシリーズに内蔵されているシステム保有ページのものを利用できるほか、ユーザ独自に作成したフォームを2ページ分登録して使用できます。ここでは、ユーザ独自のフォームの登録されたユーザページ1のオーバーレイ印字の開始と終了を設定します。

■オフ (iRシリーズ：しない)

ユーザページ1のオーバーレイ印字を終了します。

■オン (iRシリーズ：する)

ユーザページ1のフォームのオーバーレイ印字を開始します。



ユーザページへのフォームの登録は、フォーム作成ツール「FormCraft」などのアプリケーションソフトウェアをご利用ください。

なお、ユーザページ1にフォームが登録されていない場合は、オーバーレイ印字をオンにしてもオーバーレイは行われません。

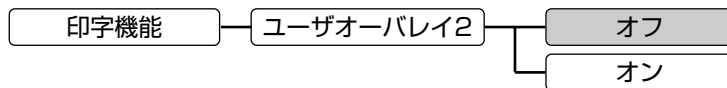



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」 《  P.2-42 》

(5) ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ：ユーザオーバーレイ2、iRシリーズ：ユーザオーバーレイ2設定)

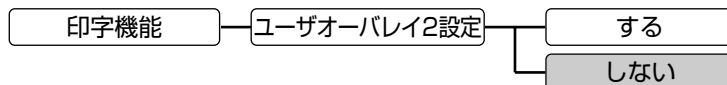



LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ユーザ独自のフォームが登録されたユーザページ2のオーバーレイ印字の開始と終了を設定します。

■オフ (iRシリーズ：しない)

ユーザページ2のオーバーレイ印字を終了します。

■オン (iRシリーズ：する)

ユーザページ2のフォームのオーバーレイ印字を開始します。



ユーザページ1とユーザページ2のフォームを重ねてオーバーレイ印字することもできます。それぞれのユーザページにフォームデータを登録し、両方のオーバーレイ印字の設定をオンにしてください。

なお、ユーザページにフォームが登録されていない場合は、オーバーレイ印字をオンにしてもオーバーレイは行われません。

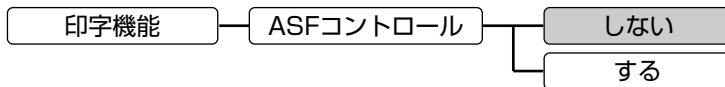



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」 《  P.2-42》

(6) カットシートフィーダ制御の選択 (ASFコントロール) <LBPシリーズのみ>



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

カットシートフィーダ制御の信号線「-ASF ON」を制御して、IBM5577エミュレーションをつねにカットシートフィーダモードで使用するか、現在のページフォーマットおよび印字領域にしたがった状態で使用するかを選択します。

■しない

カットシートフィーダモードのエミュレーションを行います。

■する

現在指定されているページフォーマットおよび印字領域（標準／ワイド領域モード）にしたがってエミュレーションを行います。

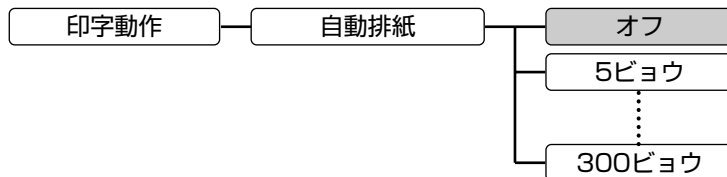
3.2.5 印字動作グループ


印字動作グループでは、排紙時間、イメージの印字や改行の動作などに関する設定を行うことができます。

(1) 自動排紙の時間を設定する（自動排紙）

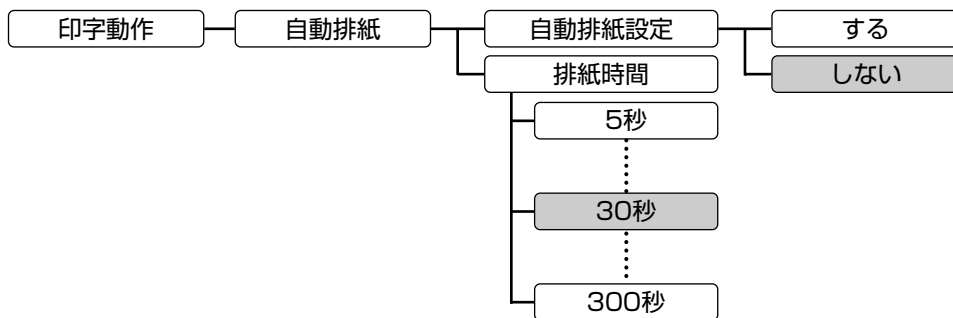


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字データを受信した後、一定時間経過しても次のデータが送られてこない場合、現在のページを排出するかどうかを設定します。

■オフ（iRシリーズ：「自動排紙設定」を「しない」に設定）

一定時間が経過しても、排紙を行いません。

■5秒～300秒（iRシリーズ：「自動排紙設定」を「する」に設定し、「排紙時間」で時間を指定）

指定した時間が経過してもデータが送られてこない場合は自動的に未排出のページを印字（排紙）します。

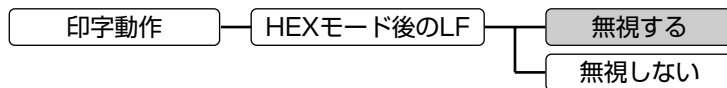



この機能を使用する場合は、「タイムアウト」を「しない」に設定してください。また、自動ジョブ終了の時間を設定する場合は、自動排紙の設定を「オフ」にしてください。両方の設定を「オン」にすると、本メニューの自動排紙の設定が有効になります。

(2) ヘキサ形式モード後の改行無視の設定（LBPシリーズ：HEXモード後のLF、iRシリーズ：HEXモード後の改行設定）

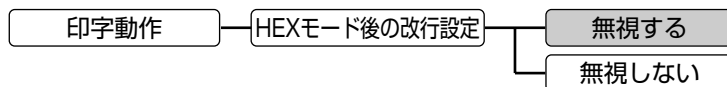



LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ヘキサ形式モードからバイナリ形式モードに戻ったとき、ホストコンピュータから送られてくる **[LF]** コード（改行）を無視するかどうかを設定します。

■無視する

[LF] コード（改行）を1回無視します。

■無視しない

[LF] コード（改行）によって改行動作を行います。



以下の制御命令により、改行無視のカウン트가クリアされます。

●175モード

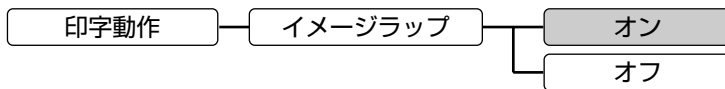
改ページ **[FF]**

排紙（改ページ） **[ESC]** V

(3) イメージの折り返しモードを設定する（イメージラップ）

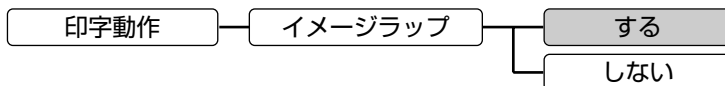


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

イメージデータの印字や水平方向の移動を行う制御命令によって、右マージン位置を越えた場合の印字動作を設定します。

■オン（iRシリーズ：する）

右マージン位置を越えた部分のデータは、次の行の左マージン位置に折り返して印字または水平移動します。

■オフ（iRシリーズ：しない）

右マージン位置を越えた部分のデータは無視します。

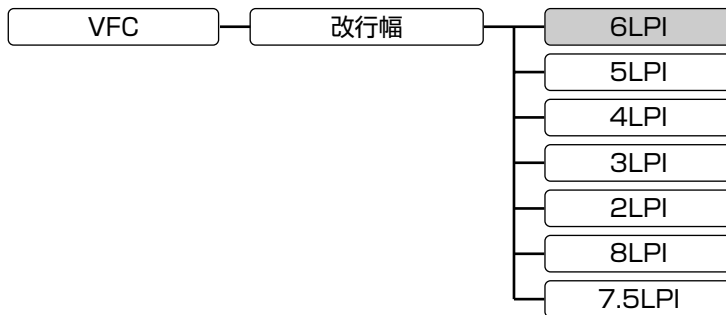
3.2.6 VFCグループ


VFCグループでは、連続用紙やカット紙のページ長に関する設定を行うことができます。

(1) 改行ピッチの設定（改行幅）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

改行ピッチを設定します。改行ピッチは、1インチ幅に印字する行数 (lpi) で設定します。



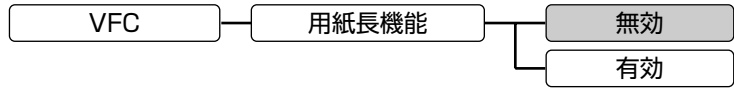
本メニューのほかにも、次の制御命令によって、改行ピッチを設定できます。


- 改行ピッチの設定 (1/120インチ単位) **[ESC]** % 9
- 改行ピッチの設定 **[ESX]** 03h 00h 01h

(2) 初期状態で有効になるページ長を設定する（用紙長機能）



階層図



（ で示した設定値は工場出荷時の値です。）

電源をオンにしたときや、リセット処理（パネル操作によるハードリセット／ソフトリセット処理（iRシリーズは、プリンタ初期化／プリント中止）、制御命令によるソフトリセット処理、パラメータリセット処理）を行ったときに操作パネルのメニューで設定したページ長を有効にするかどうかを選択します。

■無効

リセット処理後、操作パネルまたは制御命令のページ長の設定を無効にします。したがって、ページ長は、用紙サイズ、印字領域のモードにしたがった各ページフォーマットの設定になります。

■有効

リセット処理後、操作パネルのメニューまたは制御命令で設定したページ長を有効にします。



この設定は、現在のページフォーマットに関係なく設定を行えますが、実際に設定が有効になるのは、175モードでは連続用紙のページフォーマットが指定された場合に限られます。

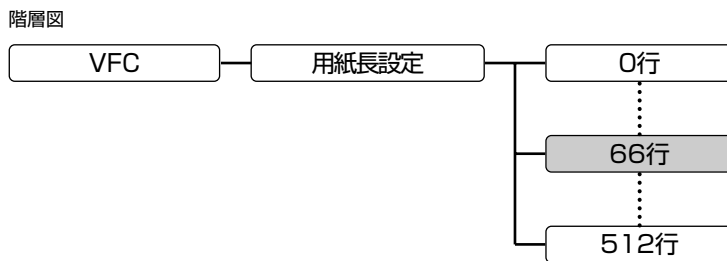
Proモードでは、カット紙及び連続用紙のページフォーマットどちらの場合も有効になります。



「(3) ページ長を設定する」《☞ P.3-43》

「(4) ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-45》

(3) ページ長を設定する (用紙長設定)



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

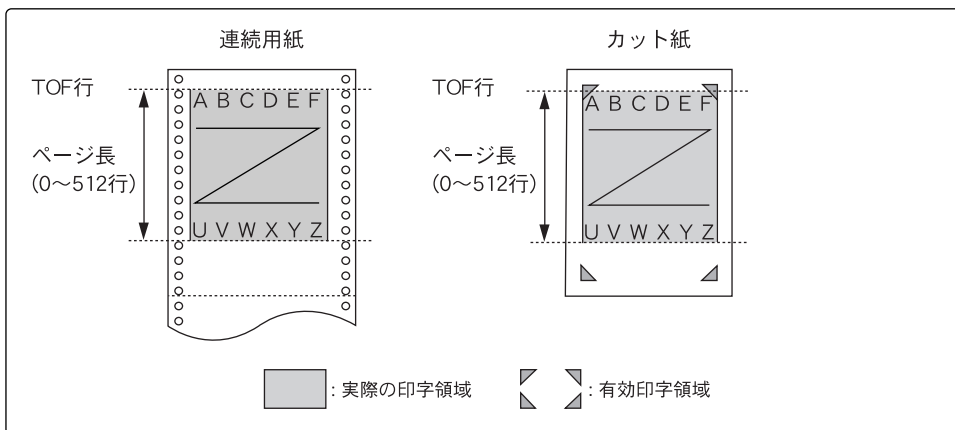
カット紙および連続用紙のページ長を設定します。

【単位】 1/6インチ (約4.2mm)

【範囲】 0~512行



行間は1インチあたり6行 (6lpi) になります。



それぞれのページフォーマットで決められている印字可能行数を越えるページ長を設定した場合は、この設定に関わらず、印字可能行数で改ページが行われます。なお、VFCグループの「ミシン目スキップ」でミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置が変わります。

このメニュー項目のほかにも、次の制御命令によってページ長を設定できます。

●I75モード

ページ長の設定 **[ESC]** F

ページ長の設定 **[ESX]** 04h



「2.2 ページフォーマット」《☞ P.2-3》

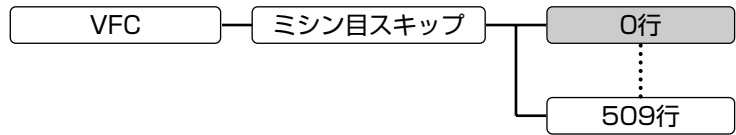
「(2) 初期状態で有効になるページ長を設定する」《☞ P.3-42》


「(4) ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-45》

(4) ミシン目スキップ行数を設定する（ミシン目スキップ）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ページ長の最終行から何行分かを印字しない行として設定します。

ミシン目スキップ行数の設定は、本来は連続用紙のミシン目に印字がかからないようにするための機能ですが、本エミュレーションモードではカット紙および連続用紙に関係なく、すべてのページフォーマットで有効です。

【単位】 1/6インチ（約4.2mm）

【範囲】 0～509行（6lpi）



行間は1インチあたり6行（6lpi）になります。

このメニュー項目のほかにも、次の制御命令によってミシン目スキップ行数を設定できます。

●175モード

ミシン目スキップ行数の設定 1Bh 00h 01h



「2.2 ページフォーマット」《☞ P.2-3》

「(2) 初期状態で有効になるページ長を設定する」《☞ P.3-42》

「(3) ページ長を設定する」《☞ P.3-43》

3.2.7 プロプリンタグループ

プロプリンタグループでは、I5577エミュレーションモードの英語モード専用の機能を設定できます。

(1) 復帰コード受信時の動作を設定する (CR機能)



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ホストコンピュータから **[CR]** コードを受信した場合の印字位置の移動のしかたを設定します。

■復帰のみ

[CR] コードを受信すると、復帰動作のみ行い、印字位置をその行の先頭に移動します。

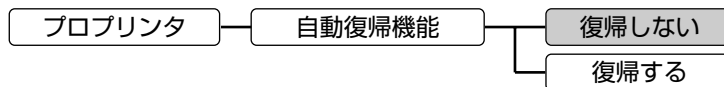
■復帰/改行


[CR] コードを受信すると、復帰/改行動作を行い、印字位置を次の行の先頭に移動します。

(2) 制御命令の復帰動作を設定する（自動復帰機能）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ホストコンピュータから [LF]、[VT]、[ESC] コードを受信した場合に復帰動作を行うかどうかを設定します。

■復帰しない

垂直方向の移動（改行または垂直タブ位置への移動）のみを行います。

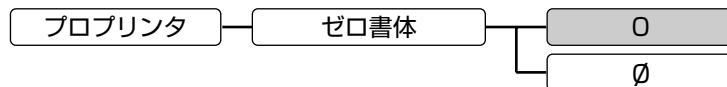
■復帰する


改行または垂直タブ位置への移動とともに、復帰動作（水平位置を左マージン位置へ移動）を行います。

(3) ゼロの書体を設定する（ゼロ書体）

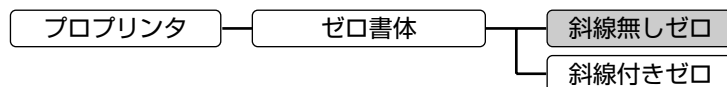



LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1バイトコード文字（ANK文字）のゼロの書体を設定します。

- 「0」（iRシリーズ：斜線無しゼロ）

斜線なしのゼロを使用します。

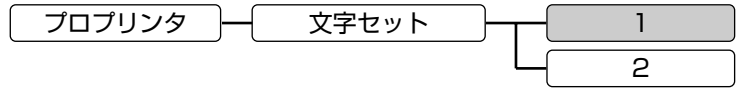
- 「∅」（iRシリーズ：斜線付きゼロ）


斜線ありのゼロを使用します。

(4) 文字セットを設定する（文字セット）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

文字セットを選択します。

■ 「1」

文字セット1を使用します。

■ 「2」

文字セット2を使用します。



文字セット2は、00h~FFhの255文字すべてを含んでいます。これに対して、文字セット1は、80h~9Fhの範囲が文字セット2の00h~1Fhに置き替わっています。

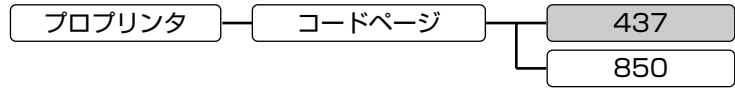



「付録5. コード表」 《  P.app.24 》

(5) コードページを設定する (コードページ)



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

コードページを選択します。

■ 「437」

コードページ437を使用します。

■ 「850」

コードページ850を使用します。



コードページは使用する文字セットの種類で、コードページ437は英語およびヨーロッパ系言語の文字を含みます。また、コードページ850はラテン系英数字を使用するほとんどの言語の文字を含みます。

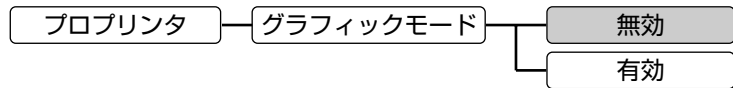



「付録5. コード表」 《  P.app.24 》

(6) 代替グラフィックモードを設定する（グラフィックモード）



階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

代替グラフィックモード（AGM）を有効にするかどうかを設定します。

■無効

代替グラフィックモードを無効にします。

■有効

代替グラフィックモードを有効にします。

高解像度ビットイメージの制御命令を使用した印字を行えます。



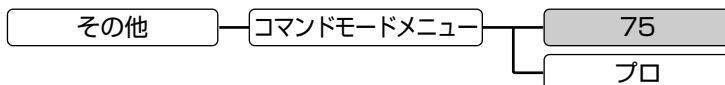
アプリケーションソフトウェアが代替グラフィックモードに対応している場合は、この設定を有効にしてお使いください。

3.2.8 その他のグループ

その他のグループでは、本エミュレーションのI75モードとProモードの切り替え、登録文字の登録方法、ヘキサ形式モードに関する設定などを行うことができます。

(1) I75/Proモードを切り替える (コマンドモードメニュー)

階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

本ROMは、IBM5577プリンタの持つI75モード（日本語モード）とProモード（英語モード）の印字動作をエミュレーションします。ここでは、どちらのエミュレーションモードで印字を行うかを選択します。

■「75」

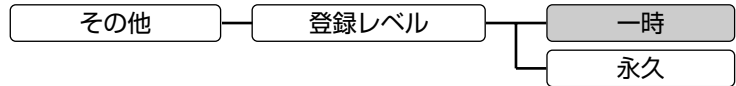
ホストコンピュータのオペレーティングシステムが日本語DOS、OS/2J、DOS/V（日本語モード時）のときのI5577プリンタモード（日本語モード）をエミュレーションします。このモードは、IBM5575-F02プリンタの日本語モードと同等の印字動作を行います。


■「プロ」 (Pro)

ホストコンピュータのオペレーティングシステムがPC DOS、OS/2、DOS/V（英語モード時）のときのI5577プリンタモード（英語モード）をエミュレーションします。このモードは、ProprinterXL24Eプリンタと同等の印字動作を行います。

(2) 登録データの削除方法を設定する（登録レベル）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

制御命令で登録した文字（1バイトコードおよび2バイトコードの登録文字）、オーバーレイ印字のためのユーザページまたは複写用紙機能のフォームデータ、マクロデータなどの登録の方法を設定します。

■一時

登録文字、フォームデータ、マクロデータをジョブの間だけ登録しておきます。ジョブが終了すると登録内容は削除されます。

■永久

登録文字、フォームデータ、マクロデータをLBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで（または同等のリセット処理が行われるまで）残しておきます。




印字を開始してから、すべてのページの印字が終了するまでの一連の処理をジョブといいます。

(3) ヘキサ形式モードを設定する (HEX/LIPS機能)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

LBPシリーズ/iRシリーズにヘキサ形式で印字データを送るかどうかを選択します。
この設定により、次の機能を無効にするか、有効にするかが決まります。

- LIPSモードによるヘキサ形式モード
- 本エミュレーションモードのヘキサ形式モード
- LIPSの制御命令によるユーザページのフォーム登録

■無効

ヘキサ形式モードを無効にします。
したがって、上記の機能は使用できません。

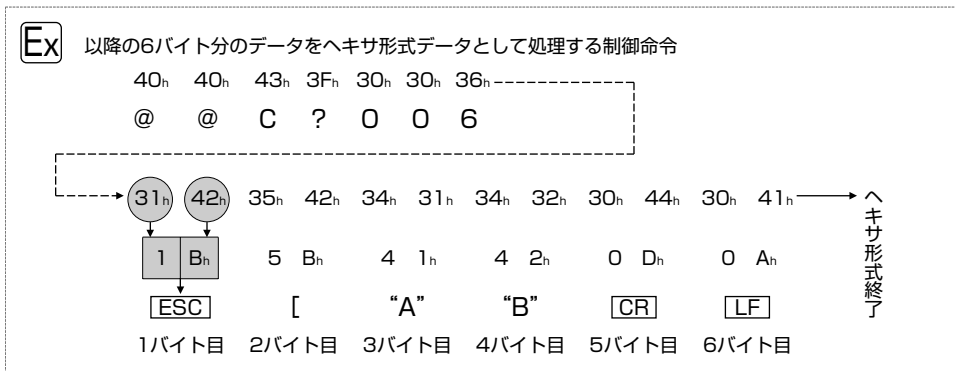
■有効

ヘキサ形式モードを有効にします。
したがって、LIPSモードによるヘキサ形式モード、本エミュレーションモードのヘキサ形式モード、およびLIPSの制御命令によるユーザページのフォーム登録を行うことができます。



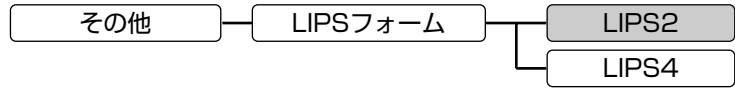
ヘキサ形式とは、1バイト (8ビット) のデータを示すコード (16進数のバイナリ形式データ) を、上位と下位に分けて2バイト分の文字形式 (アスキーコードの0~9およびA~F) で表します。


たとえば、175モードの制御命令を使用して、横幅縮小文字で「AB」と印字して復帰改行する場合、次のようなヘキサ形式のデータとなります。



(4) フォーム登録時のLIPSモードを設定する (LIPSフォーム)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

LIPSモードの制御命令によってユーザページにフォームデータを登録する場合、使用しているコントロールコマンドをLIPS II+またはLIPSIVから選択します。

■LIPS2

LIPS II+の制御命令によるフォームデータとして処理します。

■LIPS4

LIPSIVの制御命令によるフォームデータとして処理します。



LIPSは上位互換であり、LIPS II+とLIPSIVでは基本的な機能は共通しますが、LIPS II+でしか使用できない機能（たとえばシリアルプリンタでの動作をエミュレートしたイメージ描画など）を使用するときにLIPSのモードを切り替えてください。

この設定項目は、その他のグループの「HEX/LIPS機能」が「有効」に設定されている場合のみ設定することができます。

4

制御命令

I5577エミュレーションモードのI75モード（日本語モード）で使用できる制御コードについて説明します。独自の制御プログラムを作成するときなどに、必要に応じてお読みください。

文字やイメージをLBPシリーズ/iRシリーズで印字する際は、制御命令によって印字の細かい指示が行われています。この制御命令は文字コードの組み合わせで構成され、ホストコンピュータから送られたときに、文字として印字されずに印字動作や書式などの制御が行われます。

アプリケーションソフトウェアを使用して印字するときは、アプリケーションソフトウェア側で自動的にこの制御命令を送り出しています。独自に作成したプログラムで印字する場合は、本章の説明をご覧ください。

4.1 制御命令の種類

15577エミュレーションモード（175モード：日本語モード）の制御命令は、次の3種類に分けられます。

基本制御命令	改行や改ページなど、1バイトでプリンタの基本的な制御を行うことのできる制御命令です。 例：[FF] 改ページ
拡張制御命令	文字の修飾や書式指定など、[ESC]や[ESX]に続くコードと併せて、2バイト以上でプリンタの制御を行うことのできる制御命令です。 例：[ESC] [文字の横幅拡大指定 [ESX] 0Eh 00h 01h 05h 給紙（改ページ）
LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令	IBM5577-J02にはなく、本エミュレーションで追加されたLBPシリーズ/iRシリーズ独自の機能を使用するための制御命令です。 例：[ESC] 01h 00h 02h h ユーザページの登録

それぞれの制御命令は、文字（JIS）による書式と、16進数による書式を掲載します。パラメータをともなう制御命令では、パラメータの指定のしかたを次の2種類のカッコで区別しています。

- < >：数値を指定するパラメータ
- []：番号などを選択するパラメータ

なお、パラメータに設定する値には、パラメータ名の（ ）内に示されているバイト数のバイナリ値を指定してください。

Ex

ページ長の設定

[ESC] F <左マージン幅 (2バイト)>
任意の数値を2バイトで指定します

ANK文字フォントの設定 [ESX] 06h 00h 01h [ANKフォント (1バイト)]

いくつかの候補から番号を1バイトで指定します

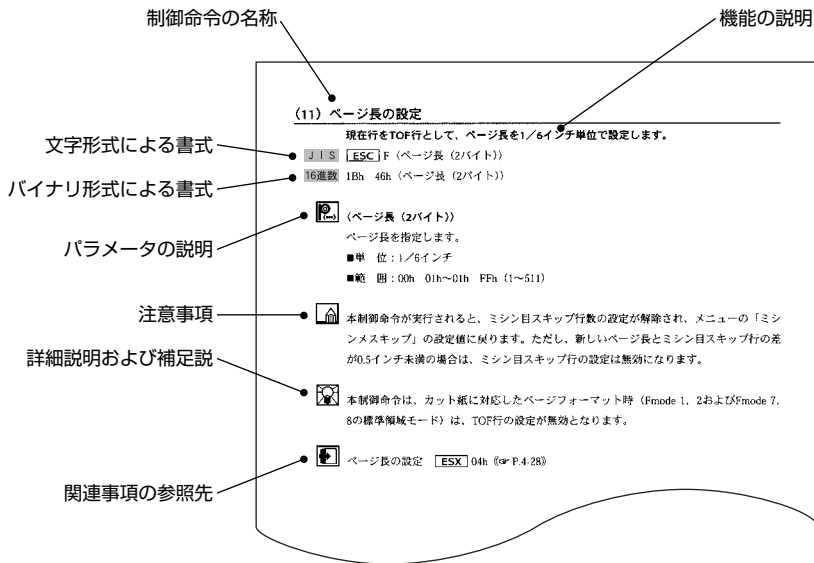


16進数の表記について

16進数は数字の後ろに「h」をつけて「48h」のように表します。

たとえば、48hは10進数で表すと72です。

制御命令の説明の読み方



(1) I75モードの基本制御命令

機能	書式		参照
後退	[BS]	08h	4-8
水平タブ位置への移動	[HT]	09h	4-8
改行	[LF]	0Ah	4-9
垂直タブ位置への移動	[VT]	0Bh	4-9
改ページ	[FF]	0Ch	4-10
復帰	[CR]	0Dh	4-11
データ削除	[CAN]	18h	4-11
拡張制御命令 ([ESC]シーケンス)	[ESC]	1Bh	4-13
固定長イメージデータの印字*	[FS]	1Ch	4-12
スペース	[SP]	20h	4-12

*本制御命令は、できるだけ使用しないようにしてください。

(2) I75モードの拡張制御命令

機能	書式		参照
イメージデータの印字	[ESC] % 1	1Bh 25h 31h	4-13
イメージデータの拡大印字	[ESC] % 2	1Bh 25h 32h	4-14
水平相対位置への移動 (右方向)	[ESC] % 3	1Bh 25h 33h	4-16
水平相対位置への移動 (左方向)	[ESC] % 4	1Bh 25h 34h	4-17
垂直相対位置への移動 (下方向)	[ESC] % 5	1Bh 25h 35h	4-18
水平絶対位置への移動	[ESC] % 6	1Bh 25h 36h	4-18
垂直相対位置への移動 (上方向)	[ESC] % 8	1Bh 25h 38h	4-19
改行ピッチの設定 (1/120インチ単位)	[ESC] % 9	1Bh 25h 39h	4-20
イメージの3バイト転送モードの指定*	[ESC] (1Bh 28h	4-21
イメージの2バイト転送モードの指定*	[ESC])	1Bh 29h	4-22
ページ長の設定*	[ESC] F	1Bh 46h	4-23
給紙 (改ページ)*	[ESC] S	1Bh 53h	4-24
排紙 (改ページ)*	[ESC] V	1Bh 56h	4-24
文字の横幅拡大指定*	[ESC] [1Bh 5Bh	4-25
文字の横幅拡大解除*	[ESC]]	1Bh 5Dh	4-25
[ESX]シーケンス	[ESC] —	1Bh 7Eh	4-26

*本制御命令は、できるだけ使用しないようにしてください。

機能	書式		参照
LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理	[ESX] 01h 00h 00h	1Bh 7Eh 01h 00h 00h	4-26
文字ピッチの設定	[ESX] 02h 00h 01h	1Bh 7Eh 02h 00h 01h	4-26
改行ピッチの設定	[ESX] 03h 00h 01h	1Bh 7Eh 03h 00h 01h	4-27
ページ長の設定	[ESX] 04h	1Bh 7Eh 04h	4-28
ANK文字フォントの指定	[ESX] 06h 00h 01h	1Bh 7Eh 06h 00h 01h	4-29
全文字コードの印字	[ESX] 08h	1Bh 7Eh 08h	4-30
給紙 (改ページ)	[ESX] 0Eh 00h 01h 05h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 05h	4-30
排紙 (改ページ)	[ESX] 0Eh 00h 01h 06h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 06h	4-31
ANK文字の横幅縮小指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 07h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 07h	4-31
ANK文字の横幅縮小解除	[ESX] 0Eh 00h 01h 08h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 08h	4-32
文字の横幅拡大指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 09h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 09h	4-32
文字の横幅拡大解除	[ESX] 0Eh 00h 01h 0Ah	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Ah	4-33
縦書きモードの指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 0Bh	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Bh	4-33
横書きモードの指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 0Ch	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Ch	4-34
上付き文字の指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 0Dh	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Dh	4-34
下付き文字の指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 0Eh	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Eh	4-35
上付き/下付き文字の解除	[ESX] 0Eh 00h 01h 0Fh	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Fh	4-35
1/2逆改行	[ESX] 0Eh 00h 01h 13h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 13h	4-36
1/2改行	[ESX] 0Eh 00h 01h 14h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 14h	4-36
イメージの3バイト転送モードの指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 15h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 15h	4-37
イメージの2バイト転送モードの指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 16h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 16h	4-38
強調印字の指定	[ESX] 0Eh 00h 01h 17h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 17h	4-39
強調印字の解除	[ESX] 0Eh 00h 01h 18h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 18h	4-39
アンダーラインの指定/解除	[ESX] 11h 00h 01h	1Bh 7Eh 11h 00h 01h	4-40
重ね印字の指定/解除	[ESX] 13h	1Bh 7Eh 13h	4-41
水平タブ位置の設定	[ESX] 18h	1Bh 7Eh 18h	4-43
垂直タブ位置の設定	[ESX] 19h	1Bh 7Eh 19h	4-45
左右マージンの設定	[ESX] 1Ah 00h 02h	1Bh 7Eh 1Ah 00h 02h	4-46
ミシン目スキップ行数の設定	[ESX] 1Bh 00h 01h	1Bh 7Eh 1Bh 00h 01h	4-47
水平絶対/相対位置への移動	[ESX] 1Ch 00h 02h	1Bh 7Eh 1Ch 00h 02h	4-48
垂直相対位置への移動 (下方向)	[ESX] 1Dh 00h 02h	1Bh 7Eh 1Dh 00h 02h	4-50
文字の拡大/縮小指定	[ESX] 20h 00h 03h 02h	1Bh 7Eh 20h 00h 03h 02h	4-51

(3) LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令

機能	書式	参照
ユーザページの登録	[ESX] 01h 00h 02h h 1Bh 7Eh 00h 02h 68h	4-52
ユーザページの登録終了	[ESX] 01h 00h 02h e [NUL] 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 65h 00h	4-53
LIPSの制御命令による ユーザページの登録	[ESX] 01h 00h 03h [SP] 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 20h 27h	4-54
LIPSの制御命令による ユーザページの登録終了	[ESX] 01h 00h 03h [SP] [NUL] 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 20h 2Eh 00h	4-57
複写ページの登録	[ESX] 01h 00h 04h [SP] ? h 1Bh 7Eh 01h 00h 04h 20h 3Fh 68h	4-57
複写ページの消去	[ESX] 01h 00h 04h [SP] ? r 1Bh 7Eh 01h 00h 04h 20h 3Fh 72h	4-58
複写用紙のオーバーレイ印字開始	[ESX] 01h 00h 05h [SP] ? p 1Bh 7Eh 01h 00h 05h 20h 3Fh 70h	4-59
複写用紙のオーバーレイ印字終了	[ESX] 01h 00h 03h [SP] ? z 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 20h 3Fh 7Ah	4-60
強調印字の指定/解除	[ESX] 01h 00h 02h B 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 42h	4-61
縦縮小文字の上付き/下付き指定	[ESX] 01h 00h 02h D 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 44h	4-62
文字の拡大/縮小指定	[ESX] 01h 00h 03h E 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 45h	4-63
文字ピッチの指定	[ESX] 01h 00h 02h H 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 48h	4-64
漢字文字ピッチの1/2指定/解除	[ESX] 01h 00h 02h I 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 49h	4-65
全文字印字	[ESX] 01h .. [SP] ? a 1Bh 7Eh 01h .. 20h 3Fh 61h	4-65
マクロの登録	[ESX] 01h .. = 1Bh 7Eh 01h .. 3Dh	4-66
マクロの実行	[ESX] 01h 00h 02h [1Bh 7Eh 01h 00h 02h 5Bh	4-67
マクロの削除	[ESX] 01h 00h 02h] 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 5Dh	4-67
マクロの追加登録	[ESX] 01h .. & 1Bh 7Eh 01h .. 26h	4-68
LIPS-ヘキサ形式モードの開始	@ @ L ? 40h 40h 4Ch 3Fh	4-69
ヘキサ形式データの設定	@ @ C ? 40h 40h 43h 3Fh	4-71

IBM5577（日本語モード）の次の制御命令は無視されます。

機能	書式	
ベル	[BEL]	07h
両方向印字モード	[ESC] % B	1Bh 25h 42h
片方向印字モード	[ESC] % U	1Bh 25h 55h
高速モード設定	[ESC] O	1Bh 4Fh
	[ESX] 0Eh 00h 01h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 01h
最速モード解除	[ESC] P	1Bh 50h
	[ESX] 0Eh 00h 01h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 02h
二重印字モードの設定	[ESX] 0Eh 00h 01h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 19h
二重印字モードの解除	[ESX] 0Eh 00h 01h	1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 1Ah
用紙モードの切り替え	[ESX] 10h 00h 01h --	1Bh 7Eh 10h 00h 01h --

4.2 I5577モードの制御命令

4.2.1 基本制御命令

基本制御命令は、次の9種類です。

(1) 後退

印字後、次の文字の印字位置を1文字分左に移動します。

JIS [BS]

16進数 08h



移動量は、現在のANK文字ピッチにしたがいます。

文字の横2倍拡大が指定されている場合は、後退量も2倍（ANK文字2文字分）になります。文字が横1/2縮小されている場合は、後退量も1/2倍（ANK文字の半分）になります。

なお、次の印字位置が左マージン位置を越える指定を行うこともできますが、印字領域の第1桁目より左へ移動することはできません。印字位置は第1桁目にとどまります。

(2) 水平タブ位置への移動

印字位置を同一行内で最も近い右側の水平タブ位置に移動します。

JIS [HT]

16進数 09h



電源をオンにしたときの水平タブ位置は、文字ピッチ10cpiで9桁目から8桁（ANK文字8文字分）ごとに設定されています。文字ピッチ、文字の拡大/縮小が指定されていても、水平タブ位置には影響しません。

現在印字位置より右側に水平タブが設定されていない場合や、次の水平タブ位置が右マージン位置を越えている場合、本制御命令は無視されます。

また、現在印字位置が左マージン位置より左側にある場合は、左マージン位置へ移動しません。



水平タブの設定 [ESX] 18h (P.4-43)

(3) 改行

行バッファのデータを印字し、復帰改行します。

JIS `LF`

16進数 `0Ah`



現在印字位置を次の行へ移動します。移動量は現在の改行ピッチにしたがいます。
水平方向の現在印字位置は変化しません。



改行ピッチの設定 (1/120インチ単位) `ESX` `% 9` 《☞ P.4-20》

改行ピッチの設定 (lpi単位) `ESX` `03h 00h 01h` 《☞ P.4-27》

(4) 垂直タブ位置への移動

行バッファのデータを印字し、現在印字位置を次の垂直タブのある行に移動します。

JIS `VT`

16進数 `0Bh`



現在印字位置から下マージン位置またはTOF行（次ページの先頭行）までの間に垂直タブ位置が設定されていない場合は現在の改行ピッチで1行改行します。

下マージン位置またはTOF行上の垂直タブ位置は有効です。

現在印字位置の水平位置は変化しません。



垂直タブ位置の設定 `ESX` `19h` 《☞ P.4-45》

(5) 改ページ

行バッファのデータを印字し、印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。

J I S FF

16進数 0Ch



カット紙のページフォーマット (Fmode 1, 2, 7, 8) では、用紙を排出してページフォーマットにしたがった先頭行に移動します。ただし、上余白および用紙吸入量が設定されている場合はその位置になります。

連続用紙のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) では、現在のページ長にしたがった次のTOF行に移動します。移動した位置が物理的に用紙の下端を越えた場合は用紙を排出します。

なお、ページフォーマット (Fmode 7, 8) のワイド領域モード時は、連続用紙のときと同様にページ長にしたがって、次のTOF行に移動します。



左右マージンの設定 ESX 1Ah 00h 02h 《[P.4-46](#)》

(6) 復 帰

行バッファのデータを印字し、印字位置を同一行の左マージン位置に移動します。

J I S [CR]

16進数 0Dh



左右マージンの設定 [ESX] 1Ah 00h 02h 《☞ P.4-46》

(7) データ削除

行バッファに残っている1行分のデータを消去し、印字位置を左マージン位置に移動します。

J I S [CAN]

16進数 18h



LBPシリーズでは、本制御命令はオフライン状態でも有効で、取消し処理実行後はオンライン状態になります。

本制御命令は、制御命令による設定には影響しません。

(8) 固定長イメージデータの印字

最後に実行したイメージデータの印字（または拡大印字）のデータ数の設定にしたがってイメージデータを印字します。

JIS **[FS]** (イメージデータ)

16進数 1Ch (イメージデータ)



本制御命令は、最後に実行した「イメージデータの印字 **[ESC]** % 1」または「イメージデータの拡大印字 **[ESC]** % 2」のデータ数の設定にしたがって以降に続くイメージデータを印字します。

電源をオンにした後に一度もイメージの印字命令を使用していない場合、本制御命令は無視されます。



イメージデータの印字 **[ESC]** % 1 《☞ P.4-13》

イメージデータの拡大印字 **[ESC]** % 2 《☞ P.4-14》

(9) スペース

1文字分のスペース（空白）を印字します。

JIS **[SP]**

16進数 20h



移動量は、現在のANK文字ピッチにしたがいます。

文字の横2倍拡大が指定されている場合は、スペースも2倍（ANK文字2文字分）になります。

文字が横1/2縮小されている場合は、スペースも1/2倍（ANK文字半分）になります。スペースによって右マージン位置を越える場合、現在印字位置は次行の左マージン位置からスペースを印字します。

4.2.2 [ESC] シーケンス

[ESC]シーケンスの拡張制御命令は、次の15種類です。

(1) イメージデータの印字

イメージデータを印字します。

JIS [ESC] % 1 <X方向ドット列数 (2バイト)> (イメージデータ)

16進数 1Bh 25h 31h <X方向ドット列数 (2バイト)> (イメージデータ)



<X方向ドット列数 (2バイト)>

イメージのX方向のドット列数を指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：メニューの「印刷幅」で設定した印字幅によって次のようになります。

各ページフォーマットの領域モード	印字幅	設定範囲
実寸モード (Fmode1/2)	13.2インチ	00h 01h ~ 09h 48h (1 ~ 2376)
で右マージン既定値=印刷幅	13.6インチ	00h 01h ~ 09h 90h (1 ~ 2448)
縮小モード (Fmode3~8)	8インチ	00h 01h ~ 05h A0h (1 ~ 1440)
で標準領域		
実寸モードで用紙右端	—	00h 01h ~ FFh FFh (1 ~ 65535)
縮小モードでワイド		

<X方向ドット列数> がパラメータエラーの場合、(イメージデータ) は読み飛ばされます。

(イメージデータ)

イメージデータを指定します。イメージデータ数は、イメージの転送モードの設定が3バイトのときは <X方向ドット列数>×3バイトとなり、2バイトのときは <X方向ドット列数>×2バイトとなります。



メニューの「イメージラップ」でイメージ折り返しモードが「オン」（iRシリーズでは「する」）に設定されている場合は、イメージデータが右マージン位置を越えると自動的に改行して、次行の左マージン位置からイメージの印字を続けます。イメージ折り返しモードが「オフ」（iRシリーズでは「しない」）に設定されている場合は、右マージンを越えた分のイメージデータは無視され、現在印字位置は右マージン位置にとどまります。



イメージの3バイト転送モードの指定 **[ESC]** (《[P.4-21](#)》
[ESX] 0Eh 00h 01h 15h 《[P.4-37](#)》
[ESC]) 《[P.4-22](#)》
[ESX] 0Eh 00h 01h 16h 《[P.4-38](#)》

(2) イメージデータの拡大印字

イメージデータの横方向を2倍に拡大して印字します。

JIS **[ESC]** % 1 <X方向ドット列数 (2バイト)> (イメージデータ)

16進数 1Bh 25h 31h <X方向ドット列数 (2バイト)> (イメージデータ)



<X方向ドット列数 (2バイト)>

拡大する前のイメージのX方向のドット列数を指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：メニューの「印刷幅」で設定した印字幅によって次のようになります。

各ページフォーマットの領域モード	印字幅	設定範囲
実寸モード (Fmode1/2) で右マージン既定値=印刷幅縮小モード (Fmode3~8) で標準領域	13.2インチ	00h 01h ~ 04h A4h (1~ 1188)
	13.6インチ	00h 01h ~ 04h C8h (1~ 1224)
	8インチ	00h 01h ~ 02h D0h (1~ 720)
実寸モードで用紙右端縮小モードでワイド	—	00h 01h ~ 7Fh FFh (1~32767)

(イメージデータ)

イメージデータを指定します。イメージデータ数は、イメージの転送モードの設定が3バイトのときは <X方向ドット列数> × 3バイトとなり、2バイトのときは <X方向ドット列数> × 2バイトとなります。



メニューの「イメージラップ」でイメージ折り返しモードが「オン」（iRシリーズでは「する」）に設定されている場合は、拡大前のイメージデータが右マージン位置を越えると自動的に改行して、次行の左マージン位置から拡大したイメージの印字を続けます。拡大された1ドットが右マージン位置を越える場合も印字されます。

イメージ折り返しモードが「オフ」（iRシリーズでは「しない」）に設定されている場合は、右マージンを越えた分のイメージデータは無視され、現在印字位置は右マージン位置にとどまります。なお、拡大された1ドットが右マージン位置を越えた場合は、拡大前のデータ以降が無視されます。



イメージの3バイト転送モードの指定

`[ESC]` (《 `☞` P.4-21》

`[ESX]` 0Eh 00h 01h 15h 《 `☞` P.4-37》

`[ESC]`) 《 `☞` P.4-22》

`[ESX]` 0Eh 00h 01h 16h 《 `☞` P.4-38》

(3) 水平相対位置への移動（右方向）

印字位置を、指定した移動量だけ右方向へ移動します。

JIS **[ESC]** % 3 <移動量 (2バイト)>

16進数 1Bh 25h 33h <移動量 (2バイト)>



<移動量 (2バイト)>

右方向への移動量を指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：メニューの「印刷幅」で設定した印字幅によって次のようになります。

各ページフォーマットの領域モード	印字幅	設定範囲
実寸モード (Fmode1/2) で右マージン既定値=印刷幅 縮小モード (Fmode3~8) で標準領域	13.2インチ	00h 01h ~ 09h 48h (1~ 2376)
	13.6インチ	00h 01h ~ 09h 90h (1~ 2448)
	8インチ	00h 01h ~ 05h A0h (1~ 1440)
実寸モードで用紙右端 縮小モードでワイド	—	00h 01h ~ FFh FFh (1~65535)



移動量は、文字の拡大/縮小などの制御命令の設定には影響されません。

メニューの「イメージラップ」でイメージ折り返しモードが「オン」（iRシリーズでは「する」）に設定されている場合は、移動後の位置が右マージン位置を越えると自動的に改行して、次行の左マージン位置から残りの移動量を移動します。

イメージ折り返しモードが「オフ」（iRシリーズでは「しない」）に設定されている場合は、移動後の位置が右マージンを越えても現在印字位置は右マージン位置にとどまります。設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。

(4) 水平相対位置への移動（左方向）

印字位置を、指定した移動量だけ左方向へ移動します。

JIS [ESC] % 4 <移動量 (2バイト)>

16進数 1Bh 25h 34h <移動量 (2バイト)>



<移動量 (2バイト)>

右方向への移動量を指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：メニューの「印刷幅」で設定した印字幅によって次のようになります。

各ページフォーマットの領域モード	印字幅	設定範囲
実寸モード (Fmode1/2) で右マージン既定値=印刷幅 縮小モード (Fmode3~8) で標準領域	13.2インチ	00h 01h ~ 09h 48h (1~ 2376)
	13.6インチ	00h 01h ~ 09h 90h (1~ 2448)
	8インチ	00h 01h ~ 05h A0h (1~ 1440)
実寸モードで用紙右端 縮小モードでワイド	—	00h 01h ~ FFh FFh (1~65535)



移動量は、文字の拡大／縮小などの制御命令の設定には影響されません。

本制御命令は左マージン位置に関係なく、第1文字目の印字位置を越える指定を行った場合は第1文字目の印字位置に移動します。

設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。

(5) 垂直相対位置への移動（下方向）

行バッファの内容を印字し、印字位置を指定した移動量だけ下方向へ移動します。

JIS `[ESC] % 5` <移動量 (2バイト)>

16進数 `1Bh 25h 35h` <移動量 (2バイト)>



<移動量 (2バイト)>

下方向への移動量を指定します。

■単 位：1/120インチ

■範 囲：00h 01h~00h FFh (1~255)



本制御命令では、水平位置は変化しません。

設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。

(6) 水平絶対位置への移動

行バッファのデータを印字し、印字位置の水平方向を、第1文字目の位置を基準として指定した位置に移動します。

JIS `[ESC] % 6` <水平位置 (2バイト)>

16進数 `1Bh 25h 36h` <水平位置 (2バイト)>



<水平位置 (2バイト)>

水平位置を指定します。

■単 位：1/180インチ

■範 囲：00h 01h~現在の右マージン位置



指定した水平位置が右マージン位置を越える場合、本制御命令は無視されます。本制御命令は左マージン位置に関係なく、第1文字目の印字位置を越える指定を行った場合は第1文字目の印字位置に移動します。

(7) 垂直相対位置への移動（上方向）

行バッファの内容を印字し、印字位置を指定した移動量だけ上方向へ移動します。

JIS **[ESC]** % 8 <移動量 (2バイト)>

16進数 1Bh 25h 38h <移動量 (2バイト)>



<移動量 (2バイト)>

上方向への移動量を指定します。

■単 位：1/120インチ

■範 囲：00h 01h~00h 28h (1~40)



TOF行を越える指定を行った場合はTOF行に移動します。

設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。

(8) 改行ピッチの設定 (1/120インチ単位)

改行ピッチを1/120インチ単位で設定します。

JIS **[ESC]** % 9 <改行ピッチ (2バイト)>

16進数 1Bh 25h 39h <改行ピッチ (2バイト)>



<改行ピッチ (2バイト)>

改行ピッチを設定します。

■単 位 : 1/120インチ

■範 囲 : 00h 01h~00h 3Ch (1~60)



同一行内で複数の改行ピッチ設定を行った場合、現在行の改行ピッチは垂直方向の移動が行われた後に印字データが送られた時点で決まります。アンダーラインのないスペース (空白) や水平タブ位置移動および水平相対/絶対位置への移動では改行ピッチは決まりません。

バッファ内に印字データがない場合は、本制御命令を受信した時点で改行ピッチが有効になりますが、垂直方向の移動をとみなわない印字開始命令によってバッファ内のデータを印字しても改行ピッチは有効にならず、垂直方向の移動命令が実行された時点で、次行から有効になります。

設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。



改行ピッチの設定 (lpi単位) **[ESX]** 03h 00h 01h 《 P.4-27 》

(9) イメージの3バイト転送モードの指定

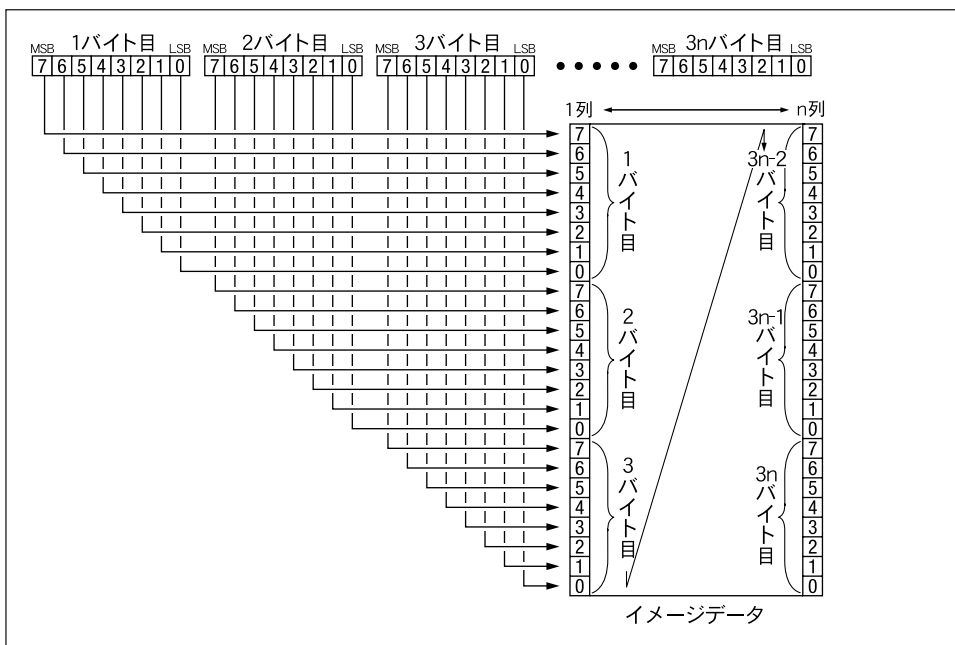
縦方向3バイト（24ドット）のイメージデータ転送モードを設定します。

JIS `[ESC]` (

16進数 1Bh 28h



3バイト転送モードによるイメージデータの印字は次のようになります。



イメージデータの転送モードは、電源をオンにした時点で3バイトに設定されます。

本制御命令は、イメージの印字命令ではありません。

本制御命令は、イメージの3バイト転送モードの指定 (`[ESX]0Eh 00h 01h 15h`) と同じです。



イメージデータの印字 `[ESC]` % 1 《 [P.4-13](#) 》

イメージデータの拡大印字 `[ESC]` % 2 《 [P.4-14](#) 》

固定長イメージデータの印字 `[FS]` 《 [P.4-12](#) 》

(10) イメージの2バイト転送モードの指定

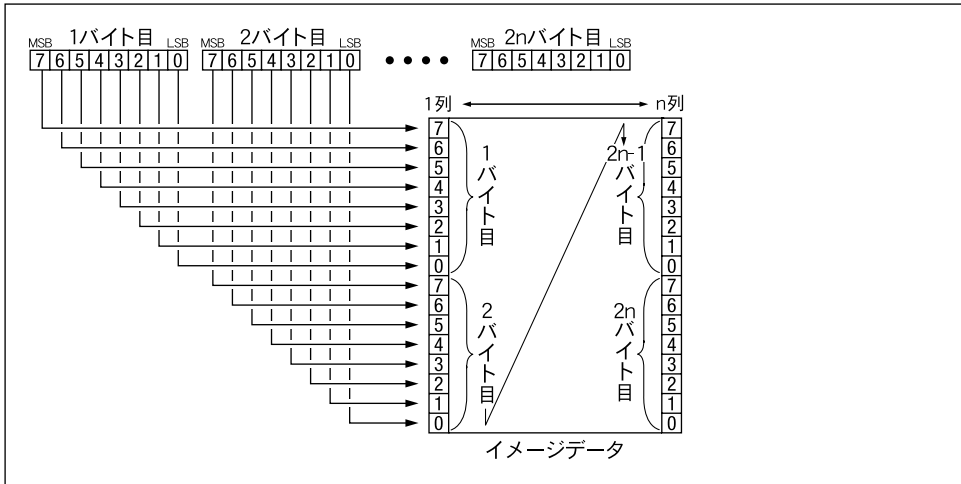
縦方向2バイト（16ドット）のイメージデータ転送モードを設定します。

JIS (ESC)

16進数 1Bh 29h



2バイト転送モードによるイメージデータの印字は次のようになります。



イメージデータの転送モードは、電源をオンにした時点では3バイトに設定されます。

本制御命令は、イメージの印字命令ではありません。

本制御命令は、イメージの2バイト転送モードの指定 **ESX** 0Eh 00h 01h 16h と同じです。



イメージデータの印字 **ESC** % 1 《☞ P.4-13》

イメージデータの拡大印字 **ESC** % 2 《☞ P.4-14》

固定長イメージデータの印字 **FS** 《☞ P.4-12》

(11) ページ長の設定

現在行をTOF行として、ページ長を1/6インチ単位で設定します。

JIS **[ESC]** F <ページ長 (2バイト)>

16進数 1Bh 46h <ページ長 (2バイト)>



<ページ長 (2バイト)>

ページ長を指定します。

■単 位：1/6インチ

■範 囲：00h 01h~01h FFh (1~511)



本制御命令が実行されると、ミシン目スキップ行数の設定が解除され、メニューの「ミシン目スキップ」の設定値に戻ります。ただし、新しいページ長とミシン目スキップ行の差が0.5インチ未満の場合は、ミシン目スキップ行の設定は無効になります。



本制御命令は、カット紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 1, 2およびFmode 7, 8の標準領域モード) は、TOF行の設定が無効となります。



ページ長の設定 **[ESX]** 04h 《 P.4-28》

(12) 給紙 (改ページ)

バッファのデータを印字し、現在印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。

J I S ESC S

16進数 1Bh 53h



本制御命令は、カット紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 1, 2およびFmode 7, 8の標準領域モード) のみ有効です。

排紙吸入後にページフォーマットにしたがったTOF行に移動します。本制御命令は、給紙 (改ページ) ESX 0Eh 00h 01h 05hと同じです。



給紙 (改ページ) ESX 0Eh 00h 01h 05h 《[P.4-30](#)》

(13) 排紙 (改ページ)

バッファのデータを印字し、現在印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。

J I S ESC V

16進数 1Bh 56h

バッファのデータを印字し、現在印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。



カット紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 1, 2およびFmode 7, 8の標準領域モード) は、排紙吸入後にページフォーマットにしたがったTOF行に移動します。

連続用紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 3, 4, 6およびFmode 7, 8のワイド領域モード) は、現在のページ長にしたがって次のTOF行に移動します。移動した位置が物理的に用紙の下端を越えた場合は用紙を排出します。

本制御命令は、排紙 (改ページ) ESX 0Eh 00h 01h 06hと同じです。



排紙 (改ページ) ESX 0Eh 00h 01h 06h 《[P.4-31](#)》

(14) 文字の横幅拡大指定

文字およびスペース、後退の横幅を2倍に拡大して印字します。

JIS [ESC] [

16進数 1Bh 5Bh



イメージデータおよび水平方向移動には影響しません。

すでに「文字の拡大／縮小指定」で文字が横2倍×縦1倍に拡大されている場合、本制御命令は無視されます。

本制御命令は、文字の横幅拡大指定 [ESX] 0Eh 00h 01h 09hと同じです。



文字の横幅拡大指定 [ESX] 0Eh 00h 01h 09h 《☞ P.4-32》

文字の横幅拡大解除 [ESC]] 《☞ P.4-25》

文字の横幅拡大解除 [ESX] 0Eh 00h 01h 0Ah 《☞ P.4-33》

(15) 文字の横幅拡大解除

文字およびスペース、後退の横幅の拡大指定を解除します。

JIS [ESC]]

16進数 1Bh 5Dh



本制御命令が実行されると、文字の大きさが横1倍×縦1倍になります。

すでに「文字の拡大／縮小指定」で文字が横1倍×縦1倍に指定されている場合、本制御命令は無視されます。

本制御命令は、文字の拡大解除 [ESX] 0Eh 00h 01h 0Ahと同じです。



文字の横幅拡大指定 [ESC] [《☞ P.4-25》

文字の横幅拡大指定 [ESX] 0Eh 00h 01h 09h 《☞ P.4-32》

文字の横幅拡大解除 [ESX] 0Eh 00h 01h 0Ah 《☞ P.4-33》

4.2.3 [ESX] シーケンス

[ESX]シーケンスの拡張制御命令は、次の32種類です。

(1) LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理

バッファのデータを印字し、LBPシリーズ/iRシリーズを初期状態にします。

J I S [ESX] 01h 00h 00h

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 00h



i75モードの制御命令で設定されたすべての印字パラメータを初期化します。
同時にメニューで設定した項目の一部を初期化します。



初期状態 → 「付録2. 初期状態」 《☞ P.app.7》

(2) 文字ピッチの設定

文字ピッチを設定します。

J I S [ESX] 02h 00h 01h [文字ピッチ (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 02h 00h 01h [文字ピッチ (1バイト)]



[文字ピッチ (1バイト)]

文字ピッチを設定します。

値		文字ピッチ
32h (50)	64h (100)	10 cpi
3Ch (60)	78h (120)	12 cpi
43h (67)	86h (134)	13.4cpi
4Bh (75)	96h (150)	15 cpi



上記以外の値を設定した場合、本制御命令は無視されます。

(3) 改行ピッチの設定 (lpi単位)

改行ピッチを設定します。

JIS **[ESX]** 03h 00h 01h [改行ピッチ (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 03h 00h 01h [改行ピッチ (1バイト)]

改行ピッチを設定します。



[改行ピッチ (1バイト)]

改行ピッチを指定します。

値	文字ピッチ
14h (20)	2 lpi
1Eh (30)	3 lpi
28h (40)	4 lpi
32h (50)	5 lpi
3Ch (60)	6 lpi
4Bh (75)	7.5lpi
50h (80)	8 lpi



上記以外の値を設定した場合、本制御命令は無視されます。

同一行内で複数の改行ピッチ設定を行った場合、現在行の改行ピッチは垂直方向の移動が行われた後に印字データが送られた時点で決まります。アンダーラインのないスペース (空白) や水平タブ位置移動および水平相対/絶対位置への移動では改行ピッチは決まりません。

バッファ内に印字データがない場合は、本制御命令を受信した時点で改行ピッチが有効になりますが、垂直方向の移動をとみなわない印字開始命令によってバッファ内のデータを印字しても改行ピッチは有効にならず、垂直方向の移動命令が実行された時点で、次行から有効になります。

設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。



改行ピッチの設定 (1/120インチ単位) **[ESC]** % 9 《 P.4-20》

(4) ページ長の設定

現在行をTOF行として、ページ長を設定します。

JIS **[ESX]** 04h [設定単位 (3バイト)] <ページ長 (1バイトまたは2バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 04h [設定単位 (3バイト)] <ページ長 (1バイトまたは2バイト)>

現在行をTOF行として、ページ長を設定します。



[設定単位 (3バイト)] <ページ長 (1バイトまたは2バイト)>

はじめの3バイトでページ長を設定する単位を指定し、続く1バイトまたは2バイトでページ長を設定します。

設定単位		文字ピッチ
行単位 (改行ピッチ6 lpi単位)	00h 03h 00h	00h 01h ~ 01h FFh (1~511行)
行単位 (現在の改行ピッチ単位)	00h 02h 01h	00h ~ FFh (0~255行)
インチ単位	00h 02h 02h	00h ~ FFh (0~255インチ)

ただし、現在の改行ピッチ単位およびインチ単位の場合は、24インチを越える指定を行っても24インチになります。



連続用紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 3, 4, 6およびFmode 7, 8のワイド領域モード) に本制御命令が実行されると、現在行をTOF行としてページ長が設定されます。

カット紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 1, 2およびFmode 7, 8の標準領域モード) は、TOF行の設定が無効となります。

設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。



ページ長の設定 **[ESC]** F 《☞ P.4-23》

(5) ANK文字フォントの指定

1バイトコード文字（ANK文字）のフォントを指定します。

JIS **[ESX]** 06h 00h 01h [ANKフォント（1バイト）]

16進数 1Bh 7Eh 06h 00h 01h [ANKフォント（1バイト）]



[ANKフォント（1バイト）]

ANK文字フォントを指定します。

値	ANKフォント
00h	省略（明朝体12cpi）
01h	DPゴシック
06h	エリート
07h	クーリエ
08h	明朝体12cpi
09h	明朝体10cpi



フォントの指定は、文字ピッチには影響しません。

(6) 全文字コードの印字

指定したバイト数のデータを現在の文字セットのフォントで印字します。

JIS **[ESX]** 08h <バイト数 (2バイト)> (文字データ)

16進数 1Bh 7Eh 08h <バイト数 (2バイト)> (文字データ)



<バイト数 (2バイト)>

印字する文字データのバイト数を指定します。

■単 位：バイト数

■範 囲：00h 01h~FFh FFh (1~65535)

(文字データ)

印字する文字データを指定します。



IBM5577 (日本語モード) では文字数の範囲が00h 01h~80h 01hですが、本工程ミュレーションモードでは00h 01h~FFh FFhとなります。

指定したバイト数がエラーの場合、本制御命令および指定バイト数分のデータは無視されます。

(7) 給紙 (改ページ)

バッファのデータを印字し、現在印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。

JIS **[ESX]** 0Eh 00h 01h 05h

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 05h



本制御命令は、カット紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 1, 2およびFmode 7, 8の標準領域モード) のみ有効です。

排紙吸入後にページフォーマットにしたがったTOF行に移動します。本制御命令は、給紙 (改ページ) **[ESC]** Sと同じです。



給紙 (改ページ) **[ESC]** S 《☞ P.4-24》

(8) 排紙 (改ページ)

バッファのデータを印字し、現在印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 06h`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 06h`

バッファのデータを印字し、現在印字位置を次ページの1行目の左マージン位置に移動します。



カット紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 1, 2およびFmode 7, 8の標準領域モード) は、排紙吸入後にページフォーマットにしたがったTOF行に移動します。

連続用紙に対応したページフォーマット時 (Fmode 3, 4, 6およびFmode 7, 8のワイド領域モード) は、現在のページ長にしたがって次のTOF行に移動します。移動した位置が物理的に用紙の下端を越えた場合は用紙を排出します。

本制御命令は、排紙 (改ページ) `[ESX] 0Eh 00h 01h 06h`と同じです。



排紙 (改ページ) `[ESC] V` 《☞ P.4-24》

(9) ANK文字の横幅縮小指定

以降の1バイトコード文字 (ANK文字) は、文字フォントや文字ピッチに関係なく横幅が18cpiに縮小されます。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 07h`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 07h`



2バイトコード文字 (漢字) には影響しません。



ANK文字の横幅縮小解除 `[ESX] 0Eh 00h 01h 08h` 《☞ P.4-32》

(10) ANK文字の横幅縮小解除

1バイトコード文字（ANK文字）の横幅縮小指定を解除し、最後に設定されたANK文字のフォントおよび文字ピッチの状態に戻します。

JIS `[ESX]` 0Eh 00h 01h 08h

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 08h



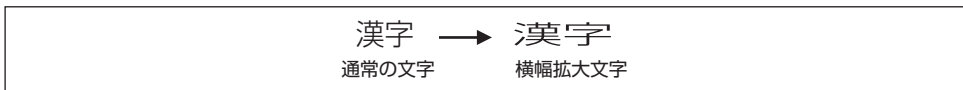
ANK文字の横幅縮小指定 `[ESX]` 0Eh 00h 01h 07h 《☞ P.4-31》

(11) 文字の横幅拡大指定

文字およびスペース、後退の横幅を2倍に拡大して印字します。

JIS `[ESX]` 0Eh 00h 01h 09h

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 09h



イメージデータおよび水平方向移動には影響しません。

すでに「文字の拡大／縮小指定」で文字が横2倍×縦1倍に拡大されている場合、本制御命令は無視されます。

本制御命令は、文字の横幅拡大指定 `[ESC]` [と同じです。



文字の横幅拡大指定 `[ESC]` [《☞ P.4-25》

文字の横幅拡大解除 `[ESC]`] 《☞ P.4-25》

文字の横幅拡大解除 `[ESX]` 0Eh 00h 01h 0Ah 《☞ P.4-33》

(12) 文字の横幅拡大解除

文字およびスペース、後退の横幅の拡大指定を解除します。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Ah`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Ah`



本制御命令が実行されると、文字の大きさが横1倍×縦1倍になります。

すでに「文字の拡大／縮小指定」で文字が横1倍×縦1倍に指定されている場合、本制御命令は無視されます。

本制御命令は、文字の拡大解除 `[ESC]`] と同じです。



文字の横幅拡大指定 `[ESC]` [《☞ P.4-25》

文字の横幅拡大指定 `[ESX] 0Eh 00h 01h 09h` 《☞ P.4-32》

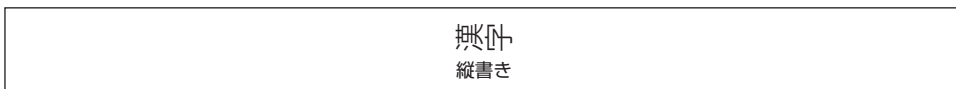
文字の横幅拡大解除 `[ESC]`] 《☞ P.4-25》

(13) 縦書きモードの指定

以後の文字を縦書きで印字します。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Bh`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Bh`



イメージデータには影響しません。

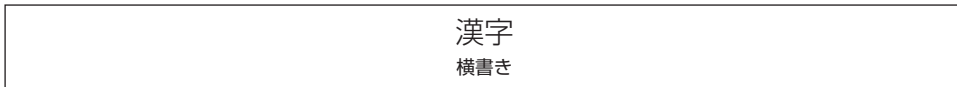
すでに縦書きモードが設定されている場合、本制御命令は無視されます。

(14) 横書きモードの指定

以後の文字を横書きで印字します。

JIS [ESX] 0Eh 00h 01h 0Ch

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Ch



2バイト（漢字）コード表に定義されていないコードを受信すると、漢字文字幅分のスペースとして処理します。

(15) 上付き文字の指定

以降のANK文字を上付き文字で印字します。

JIS [ESX] 0Eh 00h 01h 0Dh

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Dh



上付きを指定すると、ANK文字の縦方向を1/2の大きさに縮小して、標準の大きさの文字の上半分に印字します。



上付き文字は、「ANK文字フォントの指定 [ESX] 06h 00h 01h」によって選択されているフォントで印字されます。

2バイトコード文字（漢字）やイメージデータには、影響しません。すでに上付きモードが設定されている場合、本制御命令は無視されます。



00h~1Fhに割り当てられた文字に対しては、上付き指定は無効になります。



上付き／下付き文字の解除 [ESX] 0Eh 00h 01h 0Fh 《 P.4-35》

(16) 下付き文字の指定

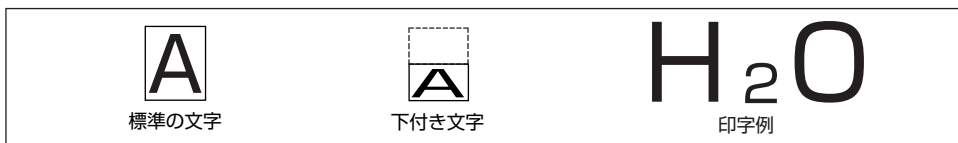
以降のANK文字を下付き文字で印字します。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Eh`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Eh`



下付きを指定すると、ANK文字の縦方向を1/2の大きさに縮小して、標準の大きさの文字の下半分に印字します。



下付き文字は、「ANK文字フォントの指定 `[ESX] 06h 00h 01h`」によって選択されているフォントで印字されます。

2バイトコード文字（漢字）やイメージデータには、影響しません。すでに下付きモードが設定されている場合、本制御命令は無視されます。



00h~1Fhに割り当てられた文字に対しては、下付き指定は無効になります。



上付き／下付き文字の解除 `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Fh` 《☞ P.4-35》

(17) 上付き／下付き文字の解除

上付き文字または下付き文字の印字を終了します。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Fh`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 0Fh`



以降の文字は標準の大きさで印字されます。



上付き文字の指定 `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Dh` 《☞ P.4-34》

下付き文字の指定 `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Eh` 《☞ P.4-35》

(18) 1/2行逆改行

行バッファのデータを印字し、現在の改行ピッチで1/2行上方向に移動します。

JIS **[ESX]** 0Eh 00h 01h 13h

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 13h



現在の改行ピッチが奇数ドットの場合、端数は切り捨てられます。
また、TOF行を越える指定を行った場合はTOF行に移動します。



改行ピッチの設定 (1/120インチ単位) **[ESC]** % 9 《 P.4-20》

改行ピッチの設定 (dpi単位) **[ESX]** 03h 00h 01h 《 P.4-27》

(19) 1/2行改行

行バッファのデータを印字し、現在の改行ピッチで1/2行下方向に移動します。

JIS **[ESX]** 0Eh 00h 01h 14h

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 14h



現在の改行ピッチが奇数ドットの場合、端数は切り捨てられます。



改行ピッチの設定 (1/120インチ単位) **[ESC]** % 9 《 P.4-20》

改行ピッチの設定 (dpi単位) **[ESX]** 03h 00h 01h 《 P.4-27》

(20) イメージの3バイト転送モードの指定

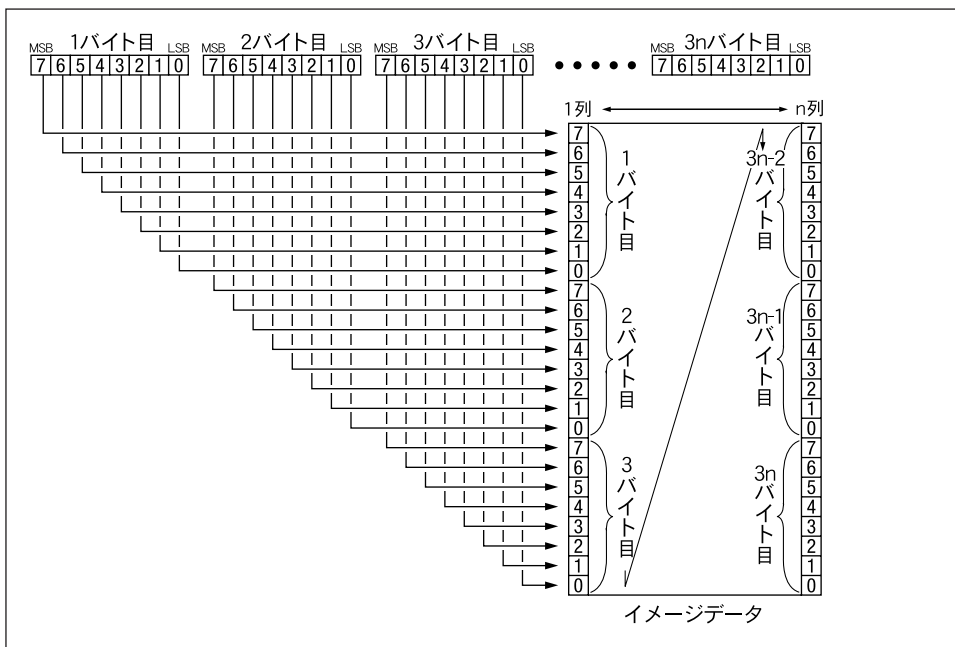
縦方向3バイト（24ドット）のイメージデータ転送モードを設定します。

JIS **[ESC]** 0Eh 00h 01h 15h

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 15h



3バイト転送モードによるイメージデータの印字は次のようになります。



イメージデータの転送モードは、電源をオンにした時点で3バイトに設定されます。

本制御命令は、イメージの印字命令ではありません。

本制御命令は、イメージの3バイト転送モードの指定 **[ESC]** (と同じです。



イメージデータの印字 **[ESC]** % 1 《 P.4-13》

イメージデータの拡大印字 **[ESC]** % 2 《 P.4-14》

イメージの3バイト転送モードの指定 **[ESC]** (《 P.4-21》

固定長イメージデータの印字 **[FC]** 《 P.4-11》

(21) イメージの2バイト転送モードの指定

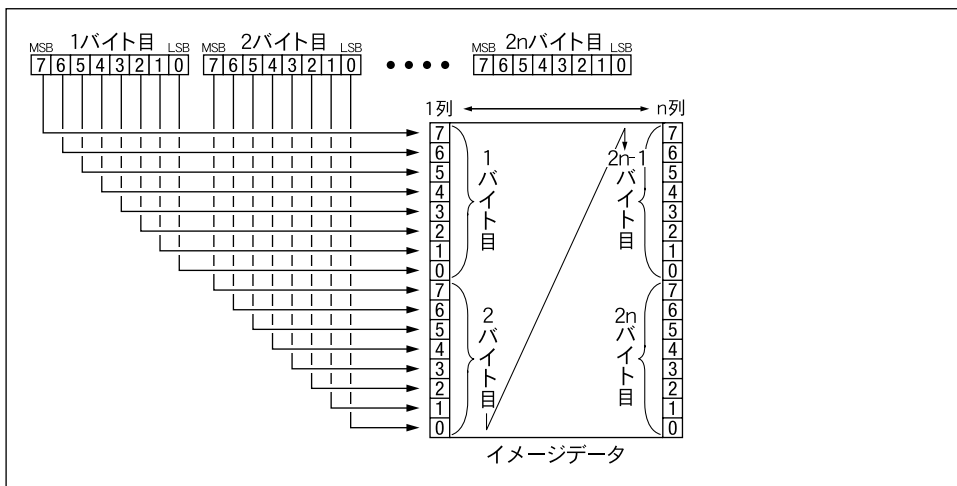
縦方向2バイト（16ドット）のイメージデータ転送モードを設定します。

JIS **[ESX]** 0Eh 00h 01h 16h

16進数 1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 16h



2バイト転送モードによるイメージデータの印字は次のようになります。



イメージデータの転送モードは、電源をオンにした時点では3バイトに設定されます。

本制御命令は、イメージの印字命令ではありません。

本制御命令は、イメージの2バイト転送モードの指定**[ESC]**と同じです。



イメージデータの印字 **[ESC]** % 1 《P.4-13》

イメージデータの拡大印字 **[ESC]** % 2 《P.4-14》

イメージの2バイト転送モードの指定 **[ESC]**) 《P.4-22》

固定長イメージデータの印字 **[FS]** 《P.4-11》

(22) 強調印字の指定

以降の文字を強調印字します。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 17h`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 17h`



文字のドットを横方向にずらして太く強調させて印字します。ドットのずらし量は次のようになります。

展開時の解像度	8ポイントの文字	10ポイント以上の文字
300dpi	1ドット	2ドット
600dpi	3ドット	4ドット

強調するためにずらしたドットが右マージンを越えた場合、そのドットは右マージンを越えて印字されます。

本制御命令は、イメージデータには影響しません。



強調印字の解除 `[ESX] 0Eh 00h 01h 18h` 《[P.4-39](#)》

(23) 強調印字の解除

強調文字の印字を終了します。

JIS `[ESX] 0Eh 00h 01h 18h`

16進数 `1Bh 7Eh 0Eh 00h 01h 18h`



以降の文字は標準の文字で印字されます。



強調印字の指定 `[ESX] 0Eh 00h 01h 17h` 《[P.4-39](#)》

(24) アンダーラインの指定／解除

アンダーライン印字の指定または解除を行います。

JIS **[ESX]** 11h 00h 01h [印字モード (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 11h 00h 01h [印字モード (1バイト)]



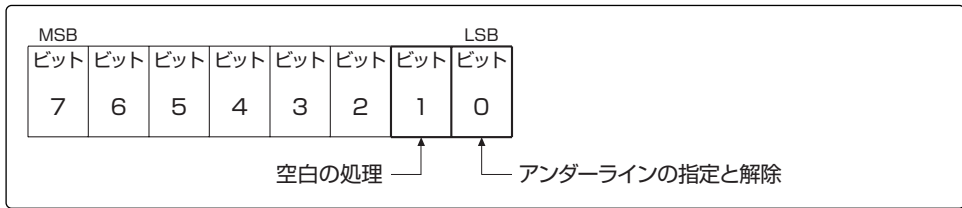
[印字モード (1バイト)]

アンダーラインの指定または解除を選択します。

また、空白をスキップするかどうかも指定します。

空白とは、スペース、水平タブ、水平方向の移動などによって現在印字位置から右方向へ移動した場合にできる範囲を指します。

それぞれの指定は、1バイトのパラメータの次のビットで行います。



■アンダーラインの指定と解除 (ビット0)

値	設定内容
0	アンダーラインの解除
1	アンダーラインの指定

■空白の処理 (ビット1)

値	設定内容
0	ブランク部分にもアンダーラインを引きます。
1	ブランク部分にはアンダーラインを引きません。



IBM5577 (日本語モード) では、用紙の下端付近でアンダーラインを指定すると、文字とアンダーラインの間で改ページが行われることがあります。175モードでは、アンダーラインを印字する位置を含めて印字可能かどうか判断されるため、文字とアンダーラインの間で改ページされることはありません。

(25) 重ね印字の指定／解除

指定した文字コードを以降の印字データに重ねて印字します。重ね印字は本制御命令で解除するまで有効です。

JIS [ESX] 13h <バイト数 (2バイト)> [印字モード (2バイト)] (文字データ)

16進数 1Bh 7Eh 13h <バイト数 (2バイト)> [印字モード (2バイト)] (文字データ)



<バイト数 (2バイト)>

本パラメータ以降のバイト数を指定します。

値	設定内容
00h 03h	重ねる文字として1バイトコード文字 (ANK文字) を指定できます。
00h 04h	重ねる文字として2バイトコード文字 (漢字) を指定できます。
00h 01h	重ね印字の解除を指定できます。

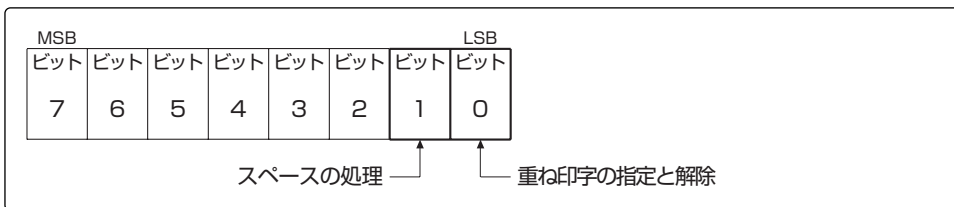
「00h 01h」によって重ね印字を解除する場合は、[印字モード] の1バイト目に「00h」を指定します。「00h 02h」または「00h 05h」以上の場合、本制御命令は無効となり、本パラメータ以降のデータは指定数量だけ読み飛ばされます。

[印字モード (2バイト)] (2バイト目は任意の値)

重ね印字の指定または解除を選択します。

また、スペースに対して重ね印字を行うかどうかを指定します。

それぞれの指定は、[印字モード] の1バイト目の次のビットで行います。2バイト目は任意の値でかまいません。



■重ね印字の指定と解除 (ビット0)

値	設定内容
0	重ね印字の解除
1	重ね印字の指定

■スペースの処理（ビット1）

値	設定内容
0	スペースに対しても重ね印字を行います。
1	スペースの場合は重ね印字を行いません。

（文字データ）

以後の印字データに重ねる文字コードを指定します。

〈バイト数〉で3バイトを指定した場合は、1バイトコード文字（ANK文字）を指定します。（範囲：1バイトコード00h～FFh）

〈バイト数〉で4バイトを指定した場合は、2バイトコード文字（漢字）を指定します。（範囲：2バイトコード 00h 00h～FFh FFh）



重ねる文字と印字データの種類によって印字は次のようになります。

■1バイトコード文字に2バイトコード文字を重ね印字する場合

IBM5577（日本語モード）では2バイトコード文字の左側半分が印字されます。175モードでは2バイトコード文字は正しく印字されます。ただし、1バイトコード文字の文字ピッチで移動するため、2バイトコード文字は重なって印字されます。なお、有効印字領域付近では、印字領域にかかる文字は印字されません。

■重ね印字する文字コードが未定義の2バイトコードの場合

IBM5577（日本語モード）では送られてくる印字データも印字しませんが、175モードでは印字データだけを印字します。

■重ね印字する文字が半角スペースだった場合

印字データが2バイトコード文字のとき、IBM5577（日本語モード）では右側の半分だけが印字されますが、175モードでは2バイトコード文字は印字されません。

■縦書きモードの場合

重ね印字する文字が2バイトコード文字のとき、IBM5577（日本語モード）では重ねる文字は横書きで印字されますが、175モードでは重ねる文字も縦書きで印字されます。

(26) 水平タブ位置の設定

水平タブ位置の設定または解除を行います。

JIS **[ESX]** 18h <タブ数 (2バイト)> <タブ位置1 (1バイト)>…<タブ位置n (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 18h <タブ数 (2バイト)> <タブ位置1 (1バイト)> … <タブ位置n (1バイト)>



<タブ数 (2バイト)>

水平タブ位置の設定または解除を選択します。

水平タブを設定する場合は、設定するタブの数を指定します。

なお、タブ位置を初期状態 (9文字目から8文字間隔の位置) にすることもできます。

値	設定内容
00h 00h (0)	すべての水平タブを解除します。
00h 01h (1)	<タブ位置1> に00hを指定すると、現在のANK文字ピッチで9文字目から8文字間隔でタブが設定されます。 タブ位置は文字ピッチに関係なく、137文字目までしか設定されません。
00h 01h (1) } 00h 1Ch(28)	指定した数のタブ位置を設定できます。 ただし、タブ位置を1カ所として <タブ位置1> に00hを指定した場合は上記にしたがいます。

<タブ位置1 (1バイト)>…<タブ位置n (1バイト)>

設定する水平タブ位置を現在のANK文字ピッチでの桁数で指定します。

タブ位置は第1文字目から昇順で最高28カ所まで設定できます。

タブの設定後に文字ピッチを変更しても、タブ位置は変化しません。

現在設定されている印字文字数を超えた位置を水平タブ位置に設定することはできません。




電源をオンにしたときの水平タブ位置は、文字ピッチ10cpiで9桁目から8桁 (ANK文字8文字分) ごとに設定されています。

水平タブの指定が昇順でない場合、最初から昇順の部分だけが有効になります。同じ位置を続けて設定しても無効にはなりません、別々のタブとして数えられます。



左右マージンの外側に水平タブ位置を設定することができますが、実際に移動できるタブ位置はそのときの左右マージンの間になります。また、左マージン位置に設定されたタブ位置には移動できませんが、右マージン位置に設定されたタブ位置には移動できます。



水平タブ位置への移動 **[HT]** 《 P.4-8》

4

制御命令

(27) 垂直タブ位置の設定

垂直タブ位置の設定または解除を行います。

JIS **[ESX]** 19h <タブ数 (2バイト)> <タブ位置1 (1バイト)>…<タブ位置n (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 19h <タブ数 (2バイト)> <タブ位置1 (1バイト)>…<タブ位置n (1バイト)>



<タブ数 (2バイト)>

垂直タブ位置の設定または解除を選択します。

垂直タブを設定する場合は、設定するタブの数を指定します。

値	設定内容
00h 00h (0)	すべての垂直タブを解除します。
00h 01h (1) } 00h 40h(64)	指定した数のタブ位置を設定できます。

<タブ位置1 (1バイト)>…<タブ位置n (1バイト)>

タブ位置はTOF行を1行目とした行数で指定します。昇順（下方向に向かって）で最高64カ所まで設定できます。

垂直タブ位置は現在の改行ピッチで設定されます。タブの設定後に改行ピッチを変更しても、タブ位置は変化しません。



垂直タブの指定が昇順でない場合、最初から昇順の部分だけが有効になります。同じ位置を続けて設定しても無効にはなりません、別々のタブとして数えられます。



垂直タブ位置をページ長を越える行に設定することもできますが、実際に移動できるタブ位置はそのときのページ長までの間になります。ただし、ページの最終行に設定されたタブ位置には移動できません。



垂直タブ位置への移動 **[VT]** 《☞ P.4-9》

(28) 左右マージンの設定

左マージンおよび右マージンを、現在の印字領域の第1文字目を基準にしてANK文字単位で設定します。

JIS [ESX] 1Ah 00h 02h <左マージン位置 (1バイト)> <右マージン位置 (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 1Ah 00h 02h <左マージン位置 (1バイト)> <右マージン位置 (1バイト)>



<左マージン位置 (1バイト)> <右マージン位置 (1バイト)>

第1文字目からのANK文字数で左右マージン位置を指定します。

左右マージン位置は現在の文字ピッチで設定されます。

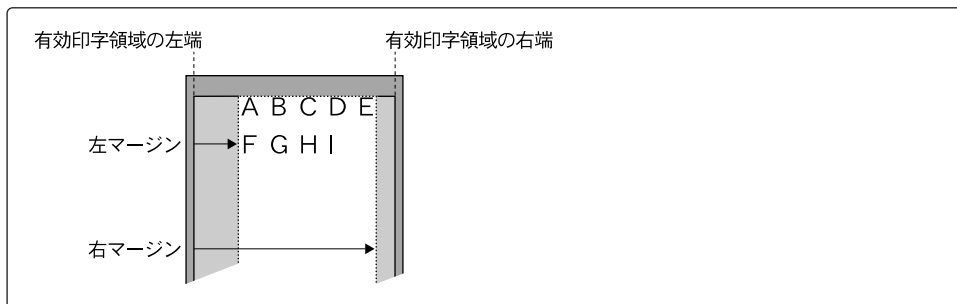
■単 位：ANK文字数

■範 囲：文字数の最大値は、メニューの「印刷幅」で設定した印字幅によって次のようになります。

各ページフォーマットの領域モード	印字幅	文字数の最大値 (180dpi換算)
実寸モード (Fmode1/2) で右マージン既定値=印刷幅縮小モード (Fmode3~8) で標準領域	13.2インチ	<文字数> × 文字ピッチ (ドット) が2376ドット以下
	13.6インチ	<文字数> × 文字ピッチ (ドット) が2448ドット以下
	8インチ	<文字数> × 文字ピッチ (ドット) が2448ドット以下
実寸モードで用紙右端縮小モードでワイド	—	(文字数) × 文字ピッチ (ドット) が有効印字領域の右端以下



左/右マージンの関係は次のようになっています。



設定した左マージンと右マージンの差が0.5インチより小さい場合、または設定値が範囲外の場合は設定された左/右マージンが初期化されます。

また、左または右マージンに設定した値が0 (00h) の場合、本制御命令は無視されます。

(29) ミシン目スキップ行数の設定

ミシン目スキップ行数を指定します。

JIS **[ESX]** 1Bh 00h 01h <行数 (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 1Bh 00h 01h <行数 (1バイト)>



<行数 (1バイト)>

印字をスキップする領域の行数を指定します。

■単 位：行数

■範 囲：00h~FFh (0~255)

設定位置は現在の改行ピッチで指定します。

ミシン目スキップ行数の設定後に改行ピッチを変更しても、印字をスキップする領域は変化しません。



1ページの残り行数が本命令で指定された行数になると、自動的に改ページが行われ、ミシン目に印字がかかるのを防ぎます。



■ミシン目スキップ行数とページ長の差が0.5インチ以下の場合、この制御命令は無視され、最後に設定した値が有効になります。

■ページ長の設定 (**[ESC]** F / **[ESX]** 04h) を受信した場合は初期設定の値に戻ります。ただし、新しいページ長とミシン目スキップ行数の差が0.5インチ以下の場合、この制御命令は無視されます。

(30) 水平方向への絶対移動／相対移動

次の印字位置を、左マージン位置からの絶対移動量または、現在印字位置からの相対移動量にしたがって水平方向に移動します。

JIS [ESX] 1Ch 00h 02h [移動モード (1バイト)] <移動量 (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 1Ch 00h 02h [移動モード (1バイト)] <移動量 (1バイト)>



【移動モード (1バイト)】

左マージン位置からの絶対移動量で移動するか、現在印字位置からの相対移動量（左または右方向）で移動するかを指定します。

値	設定内容
00h	左マージンからの絶対移動量で移動します。
01h	現在印字位置からの相対移動量で右方向へ移動します。
02h	現在印字位置からの相対移動量で左方向へ移動します。

<移動量 (1バイト)>

[移動モード] の指定に対応して次のように指定します。

●左マージンからの絶対移動量で移動する場合

移動する量を、左マージン位置からの文字数で指定します。

■単 位：ANK文字数（現在のANK文字ピッチ）

■範 囲：01h～現在の右マージン位置

移動後の位置が右マージン上または右マージン位置を越えた場合や、移動量が0の場合、本制御命令は無視されます。

また、左マージン位置より左に移動することはできませんが、第1文字目印字位置を越える位置を指定した場合、現在印字位置は第1文字目になります。

●現在印字位置からの相対移動量で右方向へ移動する場合

現在印字位置から現在のANK文字ピッチで右方向へ移動する量を文字数で指定します。

■単 位：ANK文字数（現在のANK文字ピッチ）

■範 囲：メニューの「印刷幅」で設定した印字幅によって次のようになります。

各ページフォーマットの領域モード	印字幅	文字数の最大値（180dpi換算）
実寸モード (Fmode1/2) で右マージン既定値=印刷幅 縮小モード (Fmode3~8) で標準領域	13.2インチ	〈文字数〉×文字ピッチ（ドット）が2376ドット以下
	13.6インチ	〈文字数〉×文字ピッチ（ドット）が2448ドット以下
	8インチ	〈文字数〉×文字ピッチ（ドット）が2448ドット以下
実寸モードで用紙右端 縮小モードでワイド	—	（文字数）×文字ピッチ（ドット）が有効印字領域の 右端以下

移動後の位置が右マージン位置を越えた場合、自動改行されて続きの文字数の移動を行います。

●現在印字位置からの相対移動量で左方向へ移動する場合

現在印字位置から現在の文字ピッチで左方向へ移動する量をANK文字数で指定します。

■単 位：ANK文字数

■範 囲：文字数の最大値は、「現在印字位置からの相対移動量で右方向へ移動する場合」と同じです。

左マージン位置より左に移動することはできませんが、第1文字目印字位置を越える位置を指定した場合、現在印字位置は第1文字目になります。



移動後の位置が元の印字位置より左方向の場合は、行バッファの内容を印字してから水平移動を行います。

(31) 垂直相対位置への移動（下方向）

行バッファのデータを印字し、現在の改行ピッチで現在印字位置から下方向に指定行数だけ移動します。

JIS `[ESX] 1Dh 00h 02h` <移動量 (2バイト)>

16進数 `1Bh 7Eh 1Dh 00h 02h` <移動量 (2バイト)>



<移動量 (2バイト)>

移動する行数を、現在印字位置からの改行数で指定します。

1バイト目は01hを指定し、2バイト目で行数を指定します。

■単 位：行数（現在の改行ピッチ）

■範 囲：01h~FFh（1~255）



移動時によって最終行に達すると、次のTOF行に移動し、残りの移動を行います。

設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。

(32) 文字の拡大／縮小指定

以降の文字の大きさを指定の倍率で拡大または縮小して印字します。

JIS **[ESX]** 20h 00h 03h [横方向の倍率 (1バイト)] [縦方向の倍率 (1バイト)] 02h
16進数 1Bh 7Eh 20h 00h 03h [横方向の倍率 (1バイト)] [縦方向の倍率 (1バイト)] 02h



[横方向の倍率 (1バイト)] [縦方向の倍率 (1バイト)]

縦方向と横方向の倍率を次の組み合わせで指定します。

横方向	縦方向	設定内容	印字
08h	08h	横1/2倍×縦1/2倍	漢
10h	10h	横1倍×縦1倍 (全角)	漢
10h	20h	横1倍×縦2倍	漢
20h	10h	横2倍×縦1倍	漢
20h	20h	横2倍×縦2倍	漢



設定した値がエラーの場合、本制御命令は無視されます。

4.3 LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令

I577エミュレーションモードには、次の20種類のLBPシリーズ/iRシリーズ専用の制御命令が用意されています。

4.3.1 フォーム作成の制御命令

フォーム作成に関する制御命令には、次の8種類の[ESX]シーケンスが用意されています。

(1) ユーザページの登録

オーバーレイ印字するユーザ独自のフォームデータを指定のユーザページに登録します。

JIS [ESX] 01h 00h 02h h [ユーザページ番号 (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 68h [ユーザページ番号 (1バイト)]



[ユーザページ番号 (1バイト)]

フォームデータを登録するユーザページを指定します。

値	設定内容
00h	ユーザページ1にフォームを登録します。
01h	ユーザページ2にフォームを登録します。



登録したフォームデータをジョブ（一連の印刷処理）が終わった時点で削除するか、LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで削除しないかは、メニューの「登録レベル」で選択できます。

ユーザページの登録を開始すると、パラメタリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメタが初期化されます。



すでにフォームを登録したユーザページに、新たにフォームを登録した場合、以前のフォームデータは消去されます。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-42》

「3.2.8 その他のグループ (2) 登録データの削除方法を設定する」《☞ P.3-53》

(2) ユーザページの登録終了

ユーザページまたは複写ページへのフォームデータの登録を終了します。

J I S [ESX] 01h 00h 02h e [NUL]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 65h 00h



ユーザページの登録を終了すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。

また、本制御命令を受信したとき以外にも、ユーザページの登録が終了する場合があります。

なお、本制御命令は、複写用紙機能での複写ページを登録の終了にも使用します。



「2.6.1 ページオーバレイ機能」《☞ P.2-42》

「2.6.2 複写用紙機能」《☞ P.2-48》

(3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録

LIPSの制御命令で作成されたフォームデータを送り、指定したユーザページに登録します。

JIS [ESX] 01h 00h 03h [SP] ' [ユーザページ番号 (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 20h 27h [ユーザページ番号 (1バイト)]



[ユーザページ番号 (1バイト)]

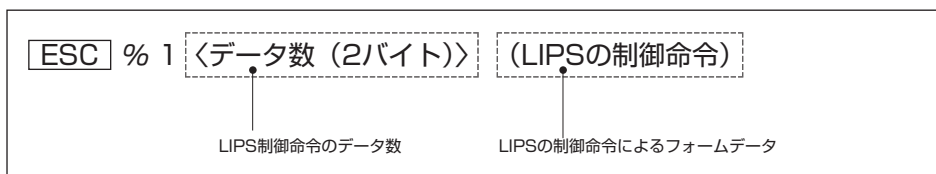
フォームデータを登録するユーザページを指定します。

値	設定内容
00h	ユーザページ1にフォームを登録します。
01h	ユーザページ2にフォームを登録します。



本制御命令を受信すると、ユーザページの登録が開始され、はじめに送られてくる転送命令 ([ESC]シーケンス) 以降をLIPSの制御命令または文字データとして解釈し、フォームを登録します。I75モード (日本語モード) およびProモード (英語コード) での転送命令の書式は次のとおりです。

■I75モード時の転送書式



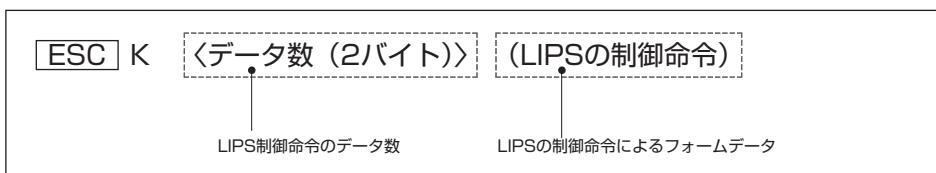
〈データ数〉に設定する値は、現在のイメージの転送モードによって異なります。フォームデータの総バイト数をもとに次のように設定します。

- ・イメージの転送モードが3バイトの場合 (初期状態)
 - 〈データ数〉 = フォームデータの総バイト数 / 3
- ・イメージの転送モードが2バイトの場合
 - 〈データ数〉 = フォームデータの総バイト数 / 2

〈データ数〉に設定できる値の範囲は、メニューの「インサツハバ」で設定した印字幅によって次のようになります。

各ページフォーマットの領域モード	印字幅	設定範囲
実寸モード (Fmode1/2) で右マージン既定値=印刷幅縮小モード (Fmode3~8) で標準領域	13.2インチ	00h 01h ~ 09h 48h (1 ~ 2376)
	13.6インチ	00h 01h ~ 09h 90h (1 ~ 2448)
	8インチ	00h 01h ~ 05h A0h (1 ~ 1440)
実寸モードで用紙右端縮小モードでワイド	—	00h 01h ~ FFh FFh (1~65535)

■Proモード時の転送書式



〈データ数〉には、フォームデータの総バイト数 (00h 00h ~ FFh FFh) を設定します。データ数は、下位、上位の順で送ります。

LIPSの制御命令でフォームデータを登録している間は、LIPS以外の制御命令は無効になります。

本制御命令を受信するとパラメータリセット処理が行われ、印字データがある場合はそのページを印字して排紙したあと、ページ登録を開始します。

ユーザページの印字方向(ポートレイト/ランドスケープ)および用紙サイズは、本エミュレーションモードの設定(ページフォーマットおよび用紙サイズの設定)にしたがいます。

なお、LIPSの制御命令は、メニューの「LIPSフォーム」で「LIPS2」または「LIPS4」から選択できます。



LIPSの制御命令によるページ登録中は、VDMモード以外で制御命令として[ESC] : が送られると、指定バイト数のLIPSの制御命令が送られていなくてもフォーム登録を終了します。なお、VDMモード中のハードリセット命令やソフトリセット命令が送られるとページ登録は終了します。

また、登録中はLIPSの自動改ページモードはOFFになり、垂直方向の移動命令による自動改ページは行われません。

なお、次の制御命令およびデータは無視または無効になります。

- 改ページ命令 **[FF]**
- ハード・リセット命令 **[ESC] c**
- エミュレーション・モード開始命令 **[ESC] % 1**
- コメント表示命令 $1/2/3$ **[ESC] P y** **[ESC] \、** **[ESC] P 0 y** **[ESC] \、** **[ESC] [& y**
- 給紙モード設定命令 **[ESC] [q**
- オーバーレイ印字開始/終了命令 **[ESC] [& w**
- 文字セット削除命令 **[ESC] [& p**
- 1文字登録命令バイナリ/ヘキサ **[ESC] [. q、** **[ESC] [/ q**
- 文字セット登録命令バイナリ/ヘキサ **[ESC] [. p、** **[ESC] [/ p**

また、メニューのその他グループの「LIPSフォーム」の設定が「LIPS2」の場合、次のLIPSの制御命令は転送命令以降は無効になります。また、「LIPSフォーム」の設定が「LIPS4」の場合、次の制御命令は転送命令以降に「オーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC] [1 & s**」を受信すると無効になります。

- ソフト・リセット命令 **[ESC] <**
- オーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC] [& 1 s**
- ページ・フォーマット選択命令 **[ESC] [p**
- ジョブ開始終了命令 **[ESC] P J**

なお、「LIPSフォーム」の設定が「LIPS4」の場合は、転送命令以降で「オーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC] [& 1 s**」を送らないと登録が開始されません。

また、「LIPSフォーム」の設定に関係なく、「オーバーレイ・ページ登録終了 **[ESC] [& 0 s**」を受信するとLIPSのページ登録を終了します。

「LIPS4」のオーバーレイ・ページ登録開始 **[ESC] [& 0 s**で登録するページ番号は、本命令で登録するページ番号と同じでなければなりません。

メニューその他のグループの「登録レベル」の設定が「永久」の場合、ジョブが終了しても登録ページは保持されますが、LIPSページ登録による登録ページは他のエミュレーションなどのジョブ中に削除される可能性があります。

メニューのその他のグループの「LIPSフォーム」の設定値が「LIPS2」の場合と「LIPS4」の場合の登録ページは、別のページとして登録されます。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-42》

「3.2.8 その他のグループ (4) フォーム登録時のLIPSモードを設定する」《☞ P.3-56》

(4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了

本制御命令を受信すると、LIPSの制御命令によるユーザページの登録を終了します。

J I S [ESX] 01h 00h 03h [SP] . [NUL]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 20h 2Eh 00h



ユーザページの登録を終了すると、ジョブ終了と同様なりセットが行われますが、メニューの設定値は保持されます。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-42》

LIPSの制御命令によるユーザページの登録 [ESX] 01h 00h 03h [SP] . [NUL] 《☞ P.4-54》

(5) 複写ページの登録

複写用紙機能でオーバーレイ印字するユーザ独自のフォームデータを、指定の共通ページまたは複写ページに登録します。

J I S [ESX] 01h 00h 04h [SP] ? h [共通/複写ページ (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 04h 20h 3Fh 68h [共通/複写ページ (1バイト)]



[共通/複写ページ (1バイト)]

フォームデータを登録するページを指定します。

値	設定内容
4Bh	共通ページ (K) (複写用紙の全ページに印字)
01h~05h	複写ページ1~5 (複写用紙の各ページに順番に印字)



登録したフォームデータをジョブ（一連の印刷処理）が終わった時点で削除するか、LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで削除しないかは、メニューの「登録レベル」で選択できます。

共通/複写ページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。

共通/複写ページの登録は、「ユーザページの登録終了 [ESX] 01h 00h 02h e [NUL]」によって終了します。

メモリサイズを越えるページ登録を行うと「メモリオーバー」とエラー表示され、この時点でページ登録は終了し、以降のデータは捨てられます。

(6) 複写ページの消去

複写用紙機能の共通ページまたは複写ページ1～5に登録されているフォームデータを消去します。

JIS **[ESX]** 01h 00h 04h **[SP]**? r [共通/複写ページ (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 04h 20h 3Fh 72h [共通/複写ページ (1バイト)]



[共通/複写ページ (1バイト)]

フォームデータを消去するページを指定します。

値	設定内容
4Bh	共通ページ (K)
01h~05h	複写ページ1～5いずれかのページ
41h	共通ページと複写ページの全ページ (A)

(7) 複写用紙のオーバーレイ印字開始

複写用紙機能を使用したオーバーレイ印字を開始します。

JIS **[ESX]** 01h 00h 05h **[SP]** ?p [共通ページ番号 (1バイト)], <複写枚数 (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 05h 20h 3Fh 70h

[共通ページ番号 (1バイト)] 2Ch <複写枚数 (1バイト)>



[共通ページ番号 (1バイト)]

全ページにオーバーレイ印字するフォームのページを指定します。

値	設定内容
4Bh	共通ページ (K) の複写用紙のフォーム
00h	ユーザページ1のオーバーレイのフォーム
01h	ユーザページ2のオーバーレイのフォーム

全ページにオーバーレイ印字するフォームとして、複写用紙機能の共通ページに登録したフォームのほか、ページオーバーレイ機能のユーザページ1・2のフォームが使用できます。ただし、「01h」(ユーザページ2)を指定した場合、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ(1~5)(iRシリーズでは、オーバーレイ番号(1~5))が設定されている場合は、そのページもオーバーレイ印字されます。

<複写枚数 (1バイト)>

各ページを複写する枚数を指定します。

■範 囲 : 1~5



共通ページのフォームは全ページに、複写ページのフォームはそれぞれのページにオーバーレイ印字されます。なお、本制御命令で複写用紙機能を開始しても、その時点では印字は行われず、通常のページを排紙するときにオーバーレイ印字が行われます。ただし、現在のページに印字データがあるときに本制御命令を受け取った場合は、複写用紙機能は次ページから有効になります。



「2.6.2 複写用紙機能」 《 P.2-48》

(8) 複写用紙のオーバーレイ印字終了

複写用紙機能を使用したオーバーレイ印字を終了します。

J I S [ESX] 01h 00h 03h [SP] ? z

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 20h 3Fh 7Ah



「2.6.2 複写用紙機能」《☞ P.2-48》

4.3.2 文字修飾の制御命令

文字の印字に関する制御命令には、次の6種類の **[ESX]** シーケンスがあります。

(1) 強調印字の指定／解除

強調印字の指定または解除を行います。

JIS **[ESX]** 01h 00h 02h B [指定／解除 (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 42h [指定／解除 (1バイト)]



[指定／解除 (1バイト)]

強調印字の指定または解除を指定します。

値	設定内容
00h	強調印字を解除します。
01h	強調印字を指定します。



文字のドットを横方向にずらして太く強調させて印字します。ドットのずらし量は次のようになります。

展開時の解像度	8ポイントの文字	10ポイント以上の文字
300dpi	1ドット	2ドット
600dpi	3ドット	4ドット

本制御命令は、即時有効となります。

(2) 縦縮小文字の上付き／下付き指定

1バイトコード文字（ANK文字）および2バイトコード文字（漢字）を縦方向に縮小した場合、上付きで印字するか、下付きで印字するかを指定します。

JIS `[ESX] 01h 00h 02h D` [上付き／下付き (1バイト)]

16進数 `1Bh 7Eh 01h 00h 02h 44h` [上付き／下付き (1バイト)]



[上付き／下付き (1バイト)]

上付き／下付きを指定します。

値	設定内容
00h	上付きで印字します。
01h	下付きで印字します。



本制御命令は、175モードで有効です。Proモードでは無視されます。

1バイトコード文字に対しては、175モードの次の制御命令と同等です。

- ・上付き文字の指定 `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Dh` 《☞ P.4-34》
- ・下付き文字の指定 `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Eh` 《☞ P.4-35》
- ・上付き／下付き文字の解除 `[ESX] 0Eh 00h 01h 0Fh` 《☞ P.4-35》

これらの制御命令と本制御命令をともに指定した場合は、後で指定した制御命令が優先されます。

2バイトコード文字の場合は、本制御命令で上付き／下付きを指定していない場合は上付きで印字されます。

(3) 文字の拡大／縮小指定

1バイトコード文字（ANK文字）および2バイトコード文字（漢字）の拡大または縮小を指定します。

JIS **[ESX]** 01h 00h 03h E [倍率 (2バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 03h 45h [倍率 (2バイト)]



[倍率 (2バイト)]

文字の縦方向および横方向の倍率を指定します。

値	設定内容	175モードの印字	Proモードの印字
08h 08h	横1/2倍×縦1/2倍	漢	—
08h 10h	横1/2倍×縦1倍	漢	—
10h 10h	横1倍×縦1倍	漢	A
10h 20h	横1倍×縦2倍	漢	A
20h 10h	横2倍×縦1倍	漢	A
20h 20h	横2倍×縦2倍	漢	A



I5577エミュレーションモードの制御命令と本制御命令をともに指定した場合は、後で指定した制御命令が優先されます。

なお、文字ピッチは文字の拡大または縮小によって変化します。



文字の横幅拡大指定 **[ESX]** [[P.4-32](#)]

文字の横幅拡大解除 **[ESX]**] [P.4-33](#)]

文字の拡大／縮小指定 **[ESX]** 20h 00h 03h 02h [P.4-51](#)]

(4) 文字ピッチの設定

1バイトコード文字（ANK文字）および2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを指定します。

JIS **[ESX]** 01h 00h 02h H [文字ピッチ (1バイト)]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 48h [文字ピッチ (1バイト)]



[文字ピッチ (1バイト)]

文字ピッチを指定します。

値	I75モードの設定内容	Proモードの設定内容
64h (100)	10 cpi	10 cpi
78h (120)	12 cpi	12 cpi
86h (134)	13.4cpi	—
96h (150)	15 cpi	—
ABh (171)	—	17.16cpi
C8h (200)	20 cpi	—



I75モードでは、本制御命令の指定によって文字フォントが変わることはありません。

本制御命令はI75モードの「文字ピッチの設定 **[ESX]** 02h 00h 01h」と同等です。

本制御命令をともに指定した場合は、後で指定した制御命令が優先されます。

Proモードでは、本制御命令によって文字フォントも切り替わります。



文字ピッチの設定 **[ESX]** 02h 00h 01h 《☞ P.4-26》

(5) 漢字文字ピッチの1/2指定／解除

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを現在の1/2にするかどうかを指定します。

JIS **[ESX]** 01h 00h 02h | [指定／解除（1バイト）]

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 49h [指定／解除（1バイト）]



[指定／解除（1バイト）]

文字ピッチを1/2にするかどうかを指定します。

値	設定内容
00h	漢字を通常の文字ピッチで印字します。
01h	漢字の文字ピッチを1/2にします。

本制御命令は、175モードで有効です。

(6) 全文字印字

すべての1バイトコードの範囲から、指定されたコードの文字パターンを印字します。したがって、制御命令の部分も、制御命令としてではなく、すべて文字として印字します。

JIS **[ESX]** 01h <総バイト数（2バイト）> **[SP]** ? a（文字コード）

16進数 1Bh 7Eh 01h <総バイト数（2バイト）> 20h 3Fh 61h（文字コード）



<総バイト数（2バイト）>

印字する文字コードの総バイト数を指定します。

■範囲：00h 04h～FFh FFh（4～65535）

（文字コード）

印字する文字コードを指定します。



指定されたコード範囲に文字パターンがない場合は、スペース（20h）が印字されます。なお、本制御命令は、漢字縦印字／横印字モードのときは無効になります。

4.3.3 マクロ機能の制御命令

マクロ機能に関する制御命令には、次の4種類の **[ESX]** シーケンスがあります。

(1) マクロの登録

指定したマクロ番号にマクロデータを登録します。

J I S **[ESX]** 01h <バイト数 (2バイト)> = <マクロ番号 (1バイト)> (マクロデータ)

16進数 1Bh 7Eh 01h <バイト数 (2バイト)> 3Dh <マクロ番号 (1バイト)> (マクロデータ)



<バイト数 (2バイト)>

登録するマクロデータのバイト数を指定します。

■ 範囲 : 00h 02h~FFh FFh (2~65535)

<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■ 範囲 : 00h~FFh (000~255)

(マクロデータ)

指定したバイト数のマクロデータを送ります。



本制御命令はI75モードで有効です。

登録したマクロデータをジョブが終わったときに削除するか、LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで登録しておくかを、メニューの「登録レベル」で選択できます。

「LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理 **[ESX]** 01h 00h 00h」を受信した場合に、特定のマクロを自動実行させるスタートアップマクロを使用することもできます。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-53》

「3.2.4 印字機能グループ (3) マクロ機能を設定する」《☞ P.3-32》

(2) マクロの実行

指定したマクロ番号に登録されているマクロを実行します。

JIS **[ESX]** 01h 00h 02h [<マクロ番号 (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 5Bh <マクロ番号 (1バイト)>



<マクロ番号 (1バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 罫：00h~FFh (000~255)



本制御命令は175モードで有効です。

指定したマクロ番号にマクロデータが登録されていない場合、本制御命令は無視されます。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-53》

(3) マクロの削除

指定したマクロ番号に登録されているマクロデータを削除します。

JIS **[ESX]** 01h 00h 02h] <マクロ番号 (1バイト)>

16進数 1Bh 7Eh 01h 00h 02h 5Dh <マクロ番号 (1バイト)>



<マクロ番号 (1バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 罫：00h~FFh (000~255)



本制御命令は175モードで有効です。

指定したマクロ番号にマクロデータが登録されていない場合、本制御命令は無視されます。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-53》

(4) マクロの追加登録

すでに登録されているマクロ番号のマクロデータに新しいマクロデータを追加して登録します。

J I S `[ESX] 01h` <バイト数 (2バイト)> & <マクロ番号 (1バイト)> (マクロデータ)

16進数 `1Bh 7Eh 01h` <バイト数 (2バイト)> `26h` <マクロ番号 (1バイト)> (マクロデータ)



<バイト数 (2バイト)>

新たに登録するマクロデータのバイト数を指定します。

■範 囲 : `00h 02h~FFh FFh` (2~65535)

<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範 囲 : `00h~FFh` (000~255)

(マクロデータ)

指定したバイト数のマクロデータを送ります。



本制御命令はI75モードで有効です。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-53》

マクロの登録 `[ESX] 01h` … & 《☞ P.4-66》

4.3.4 LIPSモードの制御命令

LIPSモードに関する制御命令には、次のシーケンスがあります。

(1) LIPS-ヘキサ形式モードの開始

本制御命令を受信した後、以降のデータをヘキサ形式のデータとして処理し、LIPSの制御命令を使用できるようにします（このモードをLIPS-ヘキサ形式モードと呼びます）。

JIS @ @ L ?

16進数 40h 40h 4Ch 3Fh



ヘキサ形式とは、1バイト（8ビット）のデータを示すコード（16進数）を、上位と下位に分けて2バイトの文字形式（アスキーコード）で表します。

LIPS-ヘキサ形式モードでは、LIPSの制御命令、文字コード、および後退[BS]とスペース[SP]のみ有効になります。したがって、そのほかの本エミュレーションモードの制御命令およびLIPSのバイナリ形式の制御命令は無効になります。

本制御命令を受信すると、印字データがある場合は印字して排紙後、ソフトリセット処理が行われます。さらに、LIPS-ヘキサ形式モードに移行後、パラメータリセット処理が行われます。

LIPS-ヘキサ形式モードは、LIPSの制御命令「ジョブ終了命令[ESC] P O J [ESC] ¥)を受信すると終了します。

LIPS-ヘキサ形式モード時にバイナリ形式の後退[BS]およびスペース[SP]を受信すると、次の動作を行いません。

- 後退[BS]を受信すると、直前のヘキサ形式データ2文字（バイナリ形式時1バイト）を消去します。
- スペース[SP]を受信すると、後退[BS]によって消去されたヘキサ形式データ2文字（バイナリ形式時1バイト）を復活させます。複数のデータが削除されている場合は、先に消去されたデータから先に復活させます。

なお、後退[BS]およびスペース[SP]がヘキサ形式で送られた場合は無効となります。



ヘキサ形式でデータを送る場合は、メニューのその他グループの「HEX/LIPS機能」で「有効」を設定してください。「無効」の場合はヘキサ形式として扱われません。

LIPS-ヘキサ形式モード時、次のLIPSの制御命令は無視されます。

■コメント表示命令1/2

[ESC] P y **[ESC]** \、 **[ESC]** P 0 y **[ESC]** \

また、LIPS-ヘキサ中は、テキストモードではハード・リセット命令が無視され、VDMモードではソフト・リセット命令とハード・リセット命令がLIPS-ヘキサ形式モードの終了命令となります。

■ハード・リセット命令 **[ESC]** c

■ソフト・リセット命令 **[ESC]** <

LIPS-ヘキサ形式モードは、LIPSのジョブ終了命令が送られた時点で終了します。その後送られる命令等がある場合、文字コードとして印字されます。



ヘキサ形式データの設定 @ @ C ? 《[P.4-71](#)》

「3.2.8 その他のグループ (3) ヘキサ形式モードを設定する」 《[P.3-54](#)》

4.3.5 そのほかの制御命令

そのほか、次の制御命令があります。

(1) ヘキサ形式データの設定

本制御命令以降に送られる指定バイト数のデータを、ヘキサ形式のデータとして取り扱います。

JIS @ @ C ? <バイト数 (4バイト)> (ヘキサデータ)

16進数 40h 40h 43h 3Fh <バイト数 (4バイト)> (ヘキサデータ)



<バイト数 (4バイト)>

ヘキサ形式で送るデータの総バイト数を10進数の文字4桁で指定します。

■範囲 罫：0001～9999

ただし、バイト数は、ヘキサ形式のデータに変換する前のバイナリ形式のデータで計算します (ヘキサ形式のデータはこの値の2倍になります)。



ヘキサ形式データの中に、正しい数値にならない値がある場合、その1バイトは無視されます。

また、本制御命令の制御コードの間に、ほかの制御命令と認識できるコードがあっても、本制御命令の記述内容が正しければ、その制御命令を無視してヘキサ形式モードが設定されます。ただし、本制御命令の記述が間違っている場合は、その制御命令が有効になり、制御命令以外のコードは印字データとして扱われます。

ヘキサ形式データの中に「CR (0Dh)」等他の制御命令と認識できるコードが存在した場合に、そのコード以前のヘキサ形式データを確定したものととして処理します。

また、「@」コード以降512バイト受信しても本制御命令が確定されていない場合は、次の1バイト (513バイト目) を受信した時点で、1バイト目が確定したものととして処理します。



ヘキサ形式でデータを送る場合は、メニューのその他グループの「HEX/LIPS機能」で「有効」を設定してください。「無効」の場合はヘキサ形式として扱われません。



ヘキサ形式 → 「3.2.8 その他のグループ (3) ヘキサ形式モードを設定する」 《P.3-54》

4

制御命令

付 録

15577エミュレーションモードの注意事項、初期の設定状態、サンプルプリントなどを掲載します。
必要に応じてご覧ください。

付録1. 15577モードの注意と制限

15577エミュレーションモードでは、エミュレートするIBM5577と次のような違いがあります。ご使用にあたり、それぞれの注意と制限事項をよくお読みください。

(1) 解像度の違いについて

ドットイメージの印字

イメージデータの印字は、LBPシリーズ/iRシリーズとIBM5577との解像度の違いによって、データを拡大して印字します。これによって、IBM5577の1ドット（175モード：180dpi、プロモード：360dpi）がLBPシリーズ/iRシリーズの解像度600dpiの複数のドットに拡大されるため、印字結果が若干異なることがあります。

特に、水平方向と垂直方向の縮小率が異なるページフォーマットでは、横長のイメージになります。

垂直方向の移動とイメージデータ

IBM5577では、イメージの展開の縦方向の解像度が180dpi（1インチあたり180ドット）であるのに対して、改行ピッチは1/120インチ単位になります。このため、ページフォーマットによっては拡大率の関係から1ドット幅のずれが生じることがあります。

文字の印字

文字はフォントデザインの違いにより、印字結果がIBM5577とは異なります。

水平方向・垂直方向の印字間隔

IBM5577の日本語モードでは、ページフォーマットFmode 3の水平・垂直方向およびFmode 6の垂直方向が半端な拡大率であるため、場所によって間隔が1ドットずれることがあります。また、英語モードでは、Proprinter XL24Eの水平方向の解像度が360dpi、垂直方向が216dpiまたは180dpiであり、半端な拡大／縮小率になるため、場所によって間隔が1ドットずれることがあります。

水平方向・垂直方向の縮小率

ページフォーマットFmode 4とFmode 6では、水平方向と垂直方向の縮小率が異なります。このため、イメージデータで描いた円などは横長になります。

右マージン

本エミュレーションモードでは、印字データが1ドット未満でも右マージン位置を越えた場合、次の行に印字します。

(2) 文字セット・フォントパターンについて

2バイトコードの未定義領域

2バイトコード（漢字コード）の中で、IBM5577では未定義の領域にLBPシリーズ／iRシリーズ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字させると、IBM5577ではスペースになりますが、本エミュレーションモードでは特定の文字パターンが印字されます。

1バイトコード文字のフォントと文字ピッチの関係

IBM5577では、1バイトコード文字（ANK文字）のフォントと文字ピッチはそれぞれ独立して設定されます。本エミュレーションモードでは、明朝体10cpiフォントおよび12cpiフォントを選択しているときに文字ピッチが12cpiより狭く設定されると、自動的に明朝体15cpiフォントが選択されます。

また、どの文字フォントであっても、横幅縮小設定が行われると、明朝体15cpiフォントが選択されます。

エリート、DPゴシック、クーリエのカタカナ

日本語モードのエミュレーションでは、エリート、DPゴシック、クーリエではカタカナフォントを持っていないため、エリートのカタカナは明朝12cpi、DPゴシック、クーリエのカタカナは明朝10cpiを使用しています。

印字領域の右端と右マージン

有効印字領域の右端付近に右マージンが設定されているとき、文字フォントの幅より文字ピッチが小さい場合に印字領域付近の文字が1文字印字されない場合があります。

文字フォントと文字ピッチ

IBM5577の日本語モードでは、エリート、DPゴシック、クーリエを文字フォントの幅より小さい文字ピッチで印字するとフォントの端が欠けますが、本エミュレーションモードでは文字が重なって印字されます。

1ページ内の文字フォントの数

1ページ中で使用できる文字フォントの数は、最大128種類です。このフォントの数には、文字修飾のデータも含まれます。また、スケーラブルフォントの場合は、文字サイズが異なると別フォントとして数えられます。

(3) そのほかの制限

領域モード

領域モードが無効なページフォーマット (Fmode 1, 2) のときでも領域モードの設定を変更できます。この場合、ページフォーマットがFmode 3, 4, 6, 7, 8に切り替わったときに設定が有効になります。ただし、どのページフォーマットのときでも、領域モードの設定を変更した時点で印字パラメータのリセット処理が行われます。

ユーザページの登録時のX/Y補正

共通メニューで設定したX/Y補正は、印刷時に微調整が行われるため、ユーザページの登録時には補正が行われません。したがって、ユーザページのX/Y補正を行う場合は、ユーザページを使ってオーバーレイ印刷を行う際に補正を行う必要があります。

用紙の向き

A4サイズおよびB5サイズの用紙は、共通のメニューで設定した用紙の向きによって用紙の送り方向が決まりますが、2ページ印刷およびページ登録中は用紙の送り方向は次のようになります。

- ・2ページ印刷ではA4、B5サイズのデータがA3、B4サイズに印刷されるため、つねに横方向送りでページが作成されます。
- ・ページ登録中は、2ページ印刷に関わらず用紙の向きの設定にしたがって登録ページを作成します。ただし、LIPSの制御命令によるページ登録時は、2ページ印刷が指定されていると用紙の向きの設定に関わらず横方向送りで登録ページが作成されるため、縦方向送りで登録する場合はLIPS側で2ページ印刷の設定を解除する必要があります。

複数のエミュレーション利用時のLIPSの制御命令によるページ登録

登録ページは各エミュレーションモードで共通なため、同一ページ番号に別々の登録を行うことができません。したがって、メニューの「登録レベル」を「永久」に設定してページ登録を行っても、他のモードに切り替えて同一のページに登録を行って、再度I5577エミュレーションモードに戻った場合は元の登録内容が失われています。その場合の登録ページの内容は、移行したモードの登録レベルが「永久」の場合はそのモードの登録内容がそのまま残り、「一時」の場合は消去されています。

カラープリンタでのLIPSの制御命令によるページ登録（LBPシリーズのみ）

カラー機能を持つプリンタでLIPSの制御命令によるページ登録を行う場合、共通メニューの「セットアップ」の「印字調整」にある「カラーモード」の設定によって次のようになります。

■ 「モノクロ」

モノクロで登録したフォームをエミュレーションモードのモノクロオーバーレイフォームとして使用できます。

■ 「カラー」

メニューの「LIPSフォーム」で「LIPS4」を設定し、カラーで登録したフォームをエミュレーションモードのカラーオーバーレイフォームとして使用できます。

■「自動」

モノクロで登録したフォームをエミュレーションモードのモノクロオーバーレイフォームとして使用できます。

メモリアーバー

文字の登録、マクロの登録、オーバーレイ印字のユーザページ、システムページ、複写用紙機能の共通ページ／複写ページの登録を行っているときにメモリが不足すると、『23 ダウンロードメモリフル』（iRシリーズは、『23 ダウンロードフル』）と表示されます。この場合、エラースキップの操作を行うと、次のような動作を行います。

■ユーザページ・共通ページ・複写ページ登録時

メモリフルになるまでのデータは登録され、以降の登録終了までのデータを読み飛ばします。

■システムページのページ番号指定時

システムページを展開するメモリが不足です。この場合、メモリフルになるまでのデータが展開され、以降のデータを読み飛ばします。

■文字の登録・マクロ登録時

登録を終了し、以降の登録終了までのデータを読み飛ばします。
登録中の文字データまたはマクロデータは削除されます。

ページ長

IBM5577の英語モードでは、用紙より長いページ長を設定したり、用紙上端で用紙を越える逆改行などが行えますが、本エミュレーションモードでは用紙の有効印字領域いっぱいまでを移動範囲とします。

白紙ページの排紙

本エミュレーションモードでは、ページ内に次の印字データがないと排紙を行いません。

- スペース以外の文字および登録文字
- イメージ
- アンダーライン

ただし、次の場合は白紙を排紙します。

- 「用紙位置微調整」、「上余白」の設定によって、上記を含む印字データが印字範囲を越えた場合。
- 共通プリント環境の「縦補正」・「横補正」の設定によって、上記を含む印字データが印字範囲を越えた場合。

付録2. 初期状態

I5577エミュレーションモードには、LBPシリーズでは8種類、iRシリーズでは6種類のリセット処理があります。

リセット処理が行われると、印字環境などの各種の設定は、メニューの設定に初期化されます。

■電源オン

LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオンにしたときに行われるリセット処理です。

すべての印字パラメータおよび登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）が初期化されます。

■ハードリセット処理（iRシリーズ：プリンタ初期化）

操作パネルのキー操作でハードリセット処理（プリンタ初期化）を行います。

このリセット処理では、電源オンのときと同等の処理が行われます。

すべての印字パラメータおよび登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）が初期化されます。

■ソフトリセット処理（iRシリーズ：プリント中止）

操作パネルのキー操作でソフトリセット処理（プリント中止）を行います。すべての印字パラメータが初期化されます。

登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されている場合のみ初期化されます。

■インพุットプライム信号受信によるリセット処理（1）（LBPシリーズのみ）

セットアップメニューの共通プリント環境にある「インพุットプライム」が「リセット」*に設定されている場合に、インพุットプライム信号を受信し、リセット処理が行われます。

現在作成中のページおよび受信データを破棄し、すべての印字パラメータが初期化されます。登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されている場合のみ初期化されます。

*：セットアップメニューの「拡張機能」→「インタフェース」→「セントロニクス設定」→「インพุットプライム」で設定できます。

■ジョブ終了時のソフトリセット処理

一連の印刷処理（ジョブ）が終了した時点でリセット処理が行われます。

次のようなとき、ジョブが終了したとみなされます。

- 排紙操作を行ったとき
- ジョブタイムアウトになったとき*
- LIPSモードに切り替わる制御命令を受信したとき

現在作成中のページを排紙し、一部の印字パラメータが初期化されます。登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されている場合のみ初期化されます。なお、LIPSの制御命令によるユーザページの登録に切り替わる場合は、「登録レベル」の設定に関わらずユーザページのフォーム登録文字は保持されます。

*：「タイムアウト」の設定で自動ジョブ終了時間を設定している場合、ジョブ終了命令を受信しなくても一定時間が過ぎるとジョブが終了します。

■インプットプライム信号受信によるリセット処理（2）（LBPシリーズのみ）

セットアップメニューの共通プリント環境にある「インプットプライム」が「動作モード依存」*に設定されている場合に、インプットプライム信号を受信し、リセット処理が行われます。

現在作成中のページを排紙し、一部の印字パラメータが初期化されます。

*：セットアップメニューの「拡張機能」→「インタフェース」→「セントロニクス設定」→「インプットプライム」で設定できます。

■IBM5577のリセット命令によるソフトリセット処理

IBM5577の制御命令「LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理 1Bh 7Eh 01h 00h 00h」を受信し、リセット処理が行われます。

一部の印字パラメータが初期化されます。

■LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によるパラメータリセット処理

LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令を実行すると、リセット処理が行われます。

一部の印字パラメータが初期化されます。

■リセット処理とメニューの設定値

設定項目		電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ^{1*}	ジョブ終了	インプットタイム ^{2*}	I5577 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令	
ページレイアウト	ページフォーマット						
	上余白						メニューの 設定値 ^{*1}
	用紙位置微調整						
	領域						
	右マージン既定値						
	印刷幅						
	用紙サイズ						保 持
	2ページ印刷設定						
行桁固定	行固定機能				保 持	リセット後の印 字領域で改行ピ ッチ、文字ピッ チを再設定	
	桁固定機能						
	行 数						
	桁 数						
	漢字ピッチ (iRシリーズ：漢字比率)						
フォント	漢字書体					メニューの設定値 ^{*1}	
	フォントID						
	漢字グラフィックセット						
	漢字サイズ						
	OCR文字 (iRシリーズ：OCRフォント)						
印字機能	イメージの補正						
	システムオーバーレイ						
	スタートアップマクロ						
	ユーザオーバーレイ1 (iRシリーズ：ユーザオーバーレイ1設定)						
	ユーザオーバーレイ2 (iRシリーズ：ユーザオーバーレイ2設定)						
印字動作	自動排紙					*4	
	HEXモード後の[LF] (iRシリーズ：HEXモード後の改行設定)						
	イメージラップ						

設定項目		電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ^{*5}	ジョブ終了	インプットタイム ² ^{*5}	15577 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令	
VFC	改行幅	メニューの設定値 ^{*1}		保持		保持	
	用紙長機能						
	用紙長設定						
	ミシン目スキップ						
プロプリンタ	<input type="checkbox"/> CF機能		Proprinter XL24Eの 制御命令の リセット指 定に依存 ^{*2}				保持 ^{*3}
	自動復帰機能						
	ゼロ書体						
	文字セット						
	コードページ						
	グラフィックモード						
その他	登録レベル		*4		保	持	
	HEX/LIPS機能						
	LIPSフォーム		保持 ^{*4}	メニューの 設定値			
	I75/プロモード切り替え						

*1：アプリケーションソフトウェアなどで変更されている設定項目がすべてメニューの改定値に戻ることを示します。

*2：Proモードのときにアプリケーションソフトウェアなどからリセット命令を受信した場合は、制御命令のパラメータで指定された内容のリセットが行われます。

*3：アプリケーションソフトウェアなどでProモードからI75モードに切り替えられた場合は、メニューの設定値に戻ります。

*4：排紙操作によりジョブが終了した後、メニュー項目の変更操作を行わずにジョブを開始した場合は、ジョブ終了時の状態が保持されます。また、メニュー項目の変更操作を行いジョブを開始した場合は、コマンドモードはメニューの設定値になります。

*5：LBPシリーズのみ。

■I75モード（日本語モード）制御命令による設定内容のリセット処理

設定項目	電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットブライム ^{1*3}	ジョブ終了	インプットブライム ^{2*3}	15577 制御命令	LBPシリーズ /IRシリーズ 専用命令	
I75 モード	ページ長	設定・用紙などに依存 ^{*1}				
	水平タブ位置	ANK 10cpiで8桁ごとにセット				
	垂直タブ位置	解 除				
	左マージン位置	1桁目				
	右マージン位置	ページフォーマット，印字領域モード，用紙サイズに依存				
	上マージン位置	解 除				
	改行ピッチ	メニューの設定値				
	ミシン目スキップ	メニューの設定値				
	縦書き／横書きモード	横書き				
	文字フォント	明朝体 12cpi				
	文字ピッチ	10cpi				
	強調文字モード	解 除				
	アンダーラインモード	解 除				
	文字の拡大指定	解除（縦1倍×横1倍）				
	上付き／下付き指定	解 除				
	重ね印字モード	解 除				
	イメージの転送モード	3バイト				保 持
	固定長イメージ	解 除				保 持
	現在の印字位置	最左端位置				
	セレクト/ディセレクト状態 ^{*3}	セレクト ^{*2}	セレクト			

*1：詳細は「ページ長の初期状態」を参照。〈 P. app.17〉

*2：パネル操作でリセットを行ったときはディセレクト状態。

電源オン時は自動的にセレクト状態移行します。

インプットブライム1はリセット処理後自動的にセレクト状態に移行します。

*3：LBPシリーズのみ。

■Proモード（英語モード）制御命令による設定内容のリセット処理

設定項目	電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ^{*3}	ジョブ終了	インプットタイム ^{*3}	15577 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令
Pro モード	ページ長	設定・用紙などに依存 ^{*1}	保 持	設定・用紙などに依存 ^{*1}	
	水平タブ位置	ANK 10cpiで8桁ごとにセット			
	垂直タブ位置	解 除			
	左マージン位置	1桁目			
	右マージン位置	ページフォーマット、印字領域モード、用紙サイズに依存			
	改行ピッチ	メニューの設定値			
	ミシン目スキップ	メニューの設定値			
	フォントスタイル	LtrQ 10cpiクーリエ			
	文字ピッチ	10cpi			
	強調文字モード	解 除			
	アンダーラインモード	解 除			
	オーバーラインモード	解 除			
	文字の拡大モード	解 除			
	スクリプト文字モード	解 除			
	二重印字モード	解 除			
	基本改行ピッチ単位	メニューの設定値			
	[CR]コードの機能	メニューの設定値			
	現在の印字位置	最左端位置			
	文字セット	メニューの設定値			
	コードページ	メニューの設定値			
セレクト/ディセレクト状態 ^{*3}	オンライン ^{*2}	オンライン	オフライン	オンライン	

*1：詳細は「ページ長の初期状態」を参照。《 P. app.17》

*2：パネル操作でリセットを行ったときはオフライン状態。

*3：LBPシリーズのみ。

■リセット処理とLBPシリーズ/iRシリーズ専用命令の設定値

設定項目	電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ^{*2}	ジョブ終了	インプットタイム ^{*2}	I5577 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令
LBPシリーズ 専用命令	強調印字モード	解除			
	縦縮小文字の 上付き下付き指定	上付き			
	文字の拡大縮小指定	縦1倍×横1倍			
	右マージン位置	ページフォーマット、印字領域モード、用紙サイズに依存 ^{*1}			
	ヘキサ形式モード	解除		保持	解除

*1：詳細は「右マージンの初期状態」を参照。《 P. app.17》

*2：LBPシリーズのみ。

■リセット処理と受信データ・登録データ

設定項目	電源オン	ハードリセット	インプットタイム ^{*6} ソフトリセット	ジョブ終了	I5577制御命令 LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令 インプットタイム ^{*6}	
受信・登録データ	文字の登録(2バイトコード)	クリア		クリア/保持 ^{*1}	保持 ^{*2}	
	文字の登録(1バイトコード)	クリア		クリア/保持 ^{*1}	保持 ^{*2}	
	ユーザページの登録	クリア		クリア/保持 ^{*1}	保持	
	複写ページの登録	クリア		クリア/保持 ^{*1}	保持	
	マクロ登録	クリア		クリア/保持 ^{*1}	保持	
	ページバッファ	クリア			印字 ^{*3}	印字 ^{*4}
	行メモリ内の未印字データ	クリア				クリア ^{*5}
	現在の印字位置	最左端相当位置				

*1：メニューの「登録レベル」が「永久」なら保持し、「一時」ならクリアされます。《 P.3-53》

ただし、LIPSの制御命令（ページ登録開始やLIPS-ヘキサ形式モードの開始）による一時的なジョブ終了時は「登録レベル」にかかわらず保持されます。

*2：制御命令によってI75モード/Proモードが切り替えられたときは、メニューの「登録レベル」が「永久」なら保持し、「一時」ならクリアされます。《 P.3-53》

*3：ジョブ終了までのデータを実行し、ページバッファを印字して排紙します。

*4：I5577モードおよびLBPシリーズ/iRシリーズ専用の制御命令によるリセットを受信した時点で、それまでに受信したデータを印字し、排紙します。受信バッファ内の残りのデータはリセット後に実行されます。

*5：LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令のときだけ、印字されます。

*6：LBPシリーズのみ。

■I5577エミュレーションモードのメニューの初期状態

グループ	設定項目	工場出荷時の設定状態	
		LBPシリーズ	iRシリーズ
ページレイアウト	ページフォーマット	15"→A4ヨコ	15"→A4横
	上余白	+000	0
	用紙位置微調整	+000	0
	領域	ヒョウジュン	標準
	右マージン既定値	インサツハバ	印刷幅
	印刷幅	13.2インチ	13.2インチ
	用紙サイズ	カレントヨウシ	カレント用紙
	2ページ印刷設定	シナイ	しない
行桁固定	行固定機能	ムコウ	無効
	桁固定機能	ムコウ	無効
	行数	66ギョウ	66行
	桁数	132ケタ	132桁
	漢字ピッチ (iRシリーズ：漢字比率)	2/1	2/1
フォント	漢字書体	ミンチョウ	明朝
	フォントID	002	2
	漢字グラフィックセット	JISIBM	JISIBM
	漢字サイズ	システム	システム
	OCR文字 (iRシリーズ：OCRフォント)	シヨウセズ	使用せず
印字機能	イメージの補正	シナイ	しない
	システムオーバーレイ	オフ	システムオーバーレイ設定：しない
			オーバーレイ番号：1
	スタートアップマクロ	0	0
	ユーザオーバーレイ1 (iRシリーズ：ユーザオーバーレイ1設定)	オフ	しない
	ユーザオーバーレイ2 (iRシリーズ：ユーザオーバーレイ2設定)	オフ	しない
	ASFコントロール	シナイ	
印字動作	自動排紙	オフ	自動排紙設定：しない
			排紙時間：30秒
	HEXモード後の <code>[LF]</code> (iRシリーズ：HEXモード後の改行設定)	ムシスル	無視する
イメージラップ	オン	する	

グループ	設定項目	工場出荷時の設定状態	
		LBPシリーズ	iRシリーズ
VFC	改行幅	6LPI	6lpi
	用紙長機能	ムコウ	無効
	用紙長設定	66ギョウ	66行
	ミシン目スキップ	0ギョウ	0行
プロプリンタ	<input checked="" type="checkbox"/> CR機能	フッキノミ	復帰のみ
	自動復帰機能	フッキシナイ	復帰しない
	0（ゼロ）書体	0（斜線なし）	斜線無しゼロ
	文字セット	1	1
	コードページ	437	437
	グラフィックモード（AGM）	ムコウ	無効
その他	コマンドモードメニュー （iRシリーズ：コマンドモード）	75（175モード）	75（175モード）
	登録レベル	イチジ	一時
	HEX/LIPS機能	ムコウ	無効
	LIPSフォーム	LIPS2	LIPS2

■ページ長の初期状態

リセット処理が行われたときのページ長の初期値は、ページフォーマット、領域モード、初期状態で有効になるページ長の設定（用紙長機能）によって次のようになります。

ページフォーマット	領域	用紙長機能	ページ長				
			A3	B4	A4	B5	A5
Fmode 1 Fmode 2	—	—	用紙サイズに依存				
Fmode 3 Fmode 4	標準	無効	66行 (6lpi)		用紙サイズに依存		
		有効	「用紙長設定」の設定値				
Fmode 6	標準	無効	66行 (6lpi)		用紙サイズに依存		
		有効	「用紙長設定」の設定値				
Fmode 7 Fmode 8	標準	—	用紙サイズに依存				
	ワイド						

■右マージンの初期状態

リセット処理が行われたときの右マージン位置の初期値は、ページフォーマット、領域モード、および右マージン位置の設定（右マージン規定値）によって次のようになります。

ページフォーマット	領域	右マージン 既定値	右マージン位置				
			A3	B4	A4	B5	A5
Fmode 1 Fmode 2	—	印刷幅	「印刷幅」の設定値				
		用紙右端	用紙サイズに依存				
Fmode 3 Fmode 4	標準	—	「印刷幅」の設定値		用紙サイズに依存		
	ワイド	—					
Fmode 6	標準	—	「印刷幅」の設定値		用紙サイズに依存		
	ワイド	—					
Fmode 7 Fmode 8	—	—	「印刷幅」の設定値		用紙サイズに依存		
	—	—					

付録3. I5577ステータスプリント

I5577ステータスプリントのプリントサンプル

I 5 5 7 7 ステータス プリント

【75モード】 R1.00

メニュー項目	登録状態
ページフォーマット	15インチ×A4横置
上余白	0
用紙位置後調整	0
領域	標準
右マージン既定値	印刷幅に從う
印刷幅の指定	13.2インチ
用紙サイズ	カレント用紙
2ページ印刷指定	使用しない
行固定の選択	無効
桁固定の選択	無効
固定行数	66
固定桁数	132
漢字ピッチ	2/1倍
漢字書体の選択	無効
フォントID	使用しない
漢字グラフィックセット	JISIBM
漢字サイズ	システム設定
OCRフォントの選択	使用せず
イメージの補正	しない
システムオーバーレイ	オフ
スタートアップマクロ番号指示	0
ユーザオーバーレイ1	オフ
ユーザオーバーレイ2	オフ
ASF ON制御	しない
印自動排紙	オフ
HEXモード後の改行	LF無視する
動作イメージ折り返しモード	オン
改行幅の指定	6LPI
用紙長機能の切り替え	無効
用紙長設定	66行
ミシ目スキップ	0行
OCR機能	復帰のみ
自動復帰機能	復帰しない
ゼロ書体	斜線なし
文字セットの切り替え	文字セット1
コード・ページの選択	437
代替グラフィックモード	無効
コマンドモード	75モード
登録レベル	一時登録
HEX/LIPS機能	無効
LIPSフォーム	LIPS2

001

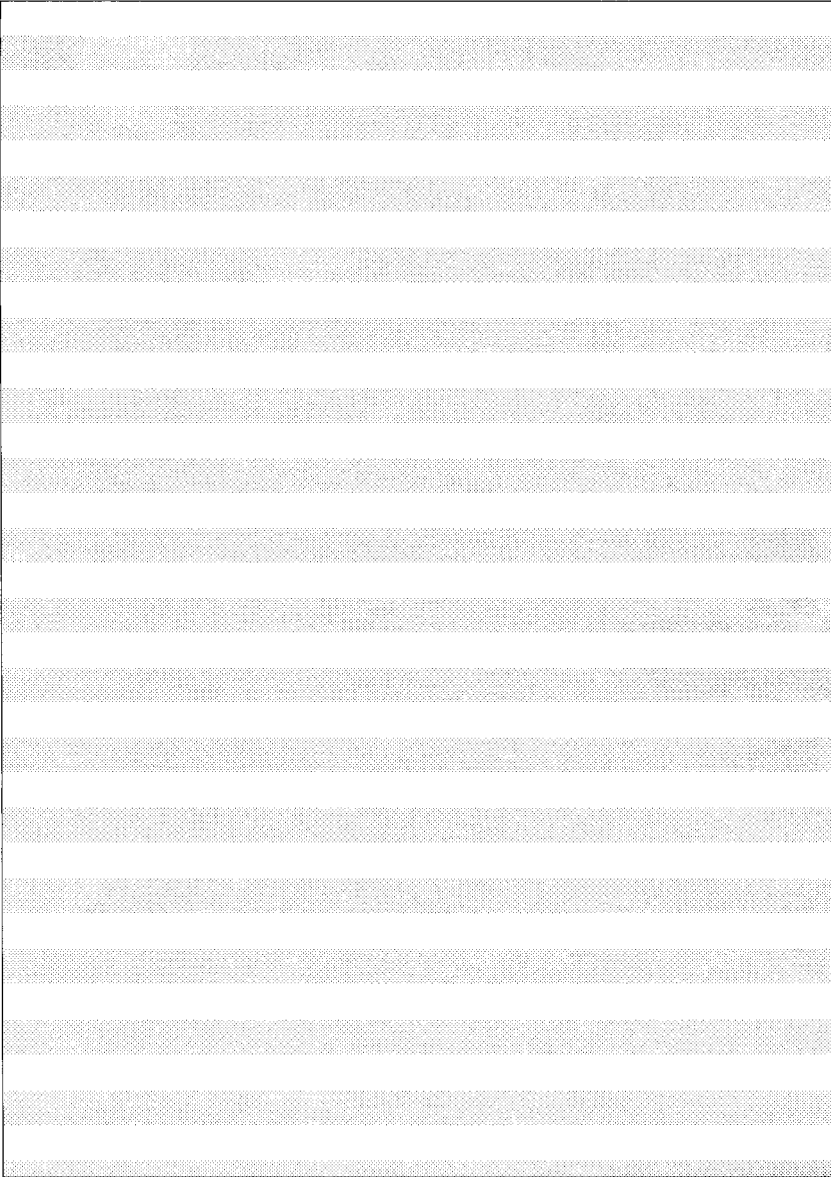
R1.00/TYS0046/06.51

付録4. 内蔵フォームの印字サンプル

(1) ページ1

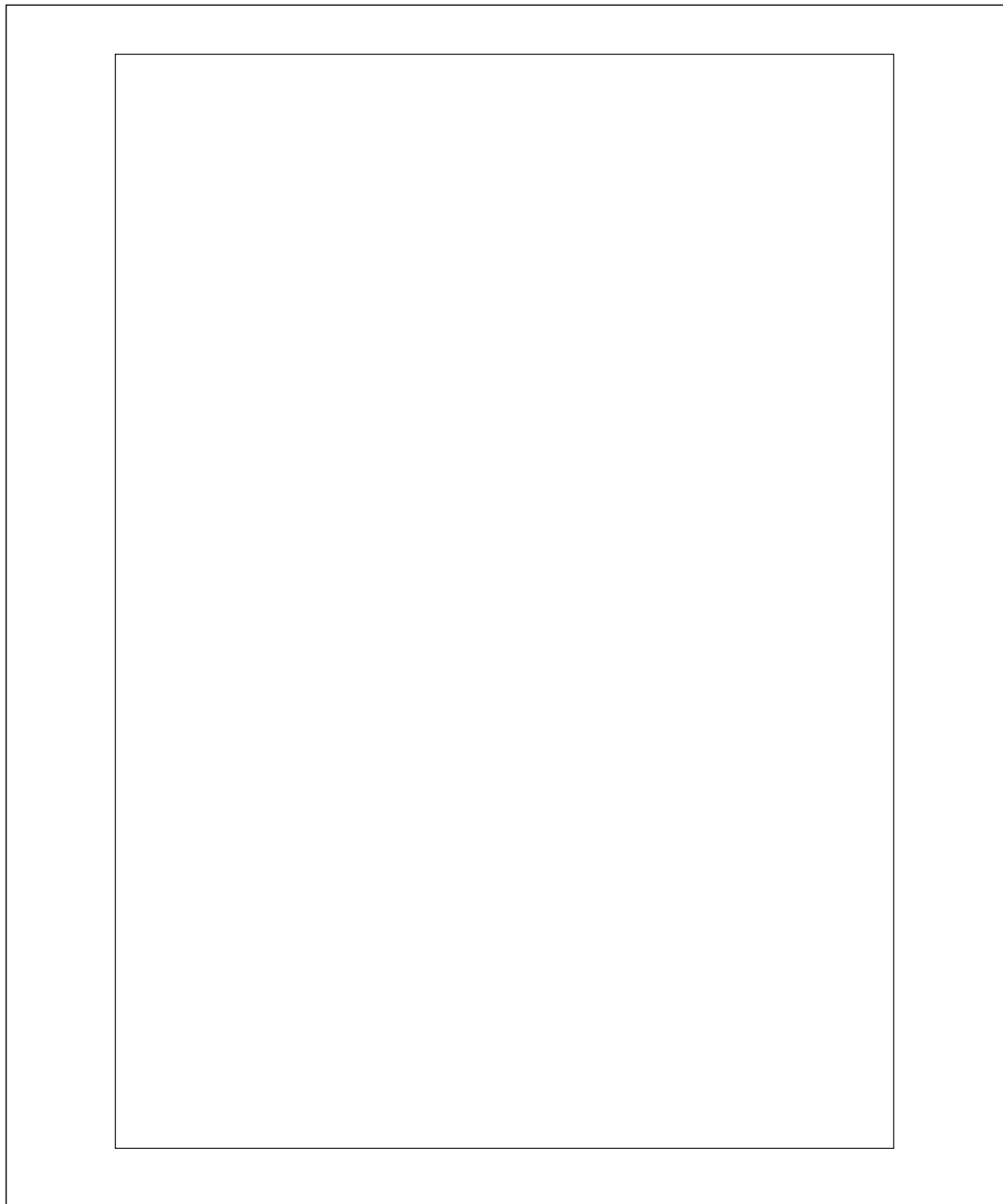
The image shows a large rectangular area containing a sample of a form. The form consists of 10 horizontal lines, each set including a solid top line, a dotted midline, and a solid bottom line, repeated 10 times.

(2) ページ 2



付録

(3) ページ 3

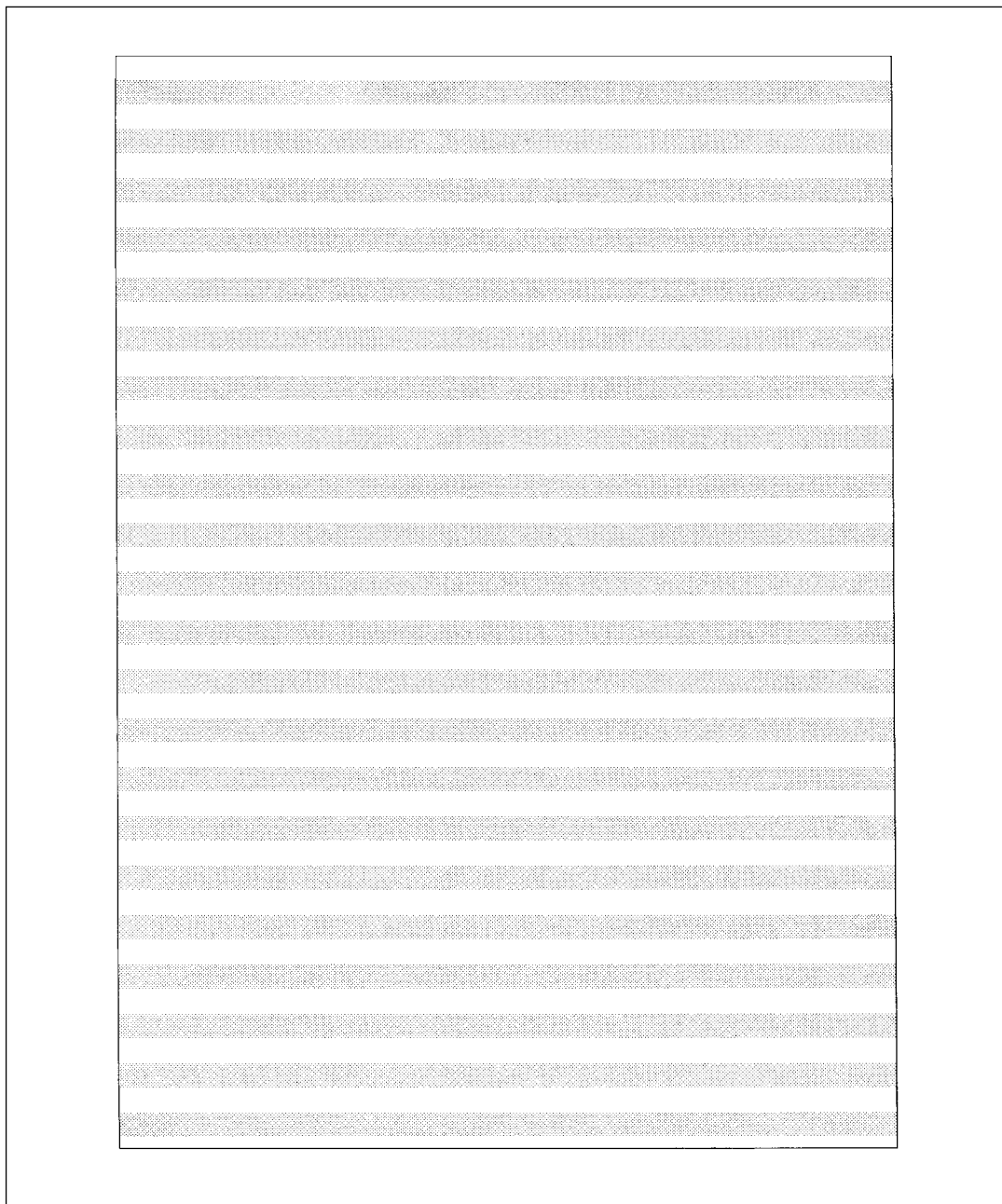


付録

(4) ページ 4

A large rectangular frame containing a series of horizontal lines for writing. Each line is a solid top line, a dotted midline, and a solid bottom line, repeated 20 times.

(5) ページ 5



付録5. コード表

(1) I75モード (日本語モード) の1バイトコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		↓		0	@	P	`	p				-	タ	ミ		
1	r		!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2	⌋		"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3	⌌		#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4	⌍		\$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5	⌎	↓	%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6	-	⌏	&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7		⌐	'	7	G	W	g	w			ア	キ	ヌ	ラ		
8			(8	H	X	h	x			イ	ク	ネ	リ		
9		⌑)	9	I	Y	i	y			ウ	ケ	ノ	ル		
A			*	:	J	Z	j	z			エ	コ	ハ	レ		
B		-	+	;	K	[k	{			オ	サ	ヒ	ロ		
C		↑	,	<	L	¥	l				ヤ	シ	フ	ワ		
D		⌒	=	M]	m	}	⌑			ユ	ス	ヘ	ン		
E		→	.	>	N	^	n	⌒			ヨ	セ	ホ	°		
F		-	/	?	O	_	o	⌒			ツ	ソ	マ	°		

(2) プロモード (英語モード) の1バイトコード表

■コードページ437

文字セット

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p		á	Ç	É	á	⌚	α	≡
1		!	"	1	A	Q	a	q		í	⌚	β	±			
2			"	2	B	R	b	r		ó	⌚	Γ	≥			
3			#	3	C	S	c	s		û	⌚	π	≤			
4			\$	4	D	T	d	t		ñ	⌚	Σ	∫			
5			%	5	E	U	e	u		Ñ	⌚	σ	∫			
6			&	6	F	V	f	v		á	⌚	μ	÷			
7			'	7	G	W	g	w		ó	⌚	τ	≈			
8		(8	H	X	h	x		é	⌚	φ	°				
9)	9	I	Y	i	y		ë	⌚	Θ	•				
A		*	:	J	Z	j	z		Û	⌚	Ω	•				
B		+	;	K	[k	{		Û	⌚	δ	√				
C		,	<	L	\	l			Û	⌚	∞	n				
D		-	=	M]	m	}		Û	⌚	φ	ε				
E		.	>	N	^	n	~		Û	⌚	Φ	ε				
F		/	?	O	_	o			Û	⌚	∩					

文字セット2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	Ç	É	á	⌚	α	≡		
1		!	"	1	A	Q	a	q	æ	í	⌚	β	±			
2			"	2	B	R	b	r	æ	ó	⌚	Γ	≥			
3	♥		#	3	C	S	c	s	â	ô	û	⌚	π	≤		
4	♦		\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	⌚	Σ	∫		
5	♣		%	5	E	U	e	u	à	ö	Ñ	⌚	σ	∫		
6	♠		&	6	F	V	f	v	â	û	á	⌚	μ	÷		
7			'	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	⌚	τ	≈		
8		(8	H	X	h	x	ê	ÿ	ÿ	ÿ	⌚	φ	°		
9)	9	I	Y	i	y	ë	ÿ	ÿ	ÿ	⌚	Θ	•		
A		*	:	J	Z	j	z	è	Û	⌚	Ω	•				
B		+	;	K	[k	{	ï	Û	⌚	δ	√				
C		,	<	L	\	l		ï	Û	⌚	∞	n				
D		-	=	M]	m	}	ï	Û	⌚	φ	ε				
E		.	>	N	^	n	~	Ä	ß	⌚	Φ	ε				
F		/	?	O	_	o		Ä	f	⌚	∩					

オールキャラクタチャート

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	◀			0	@	P	`	p	Ç	É	á	⌚	α	≡		
1	⊙	▶	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	⌚	β	±		
2	●	↑	"	2	B	R	b	r	ê	Æ	ó	⌚	Γ	≥		
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	â	ô	û	⌚	π	≤		
4	♦	↑	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	⌚	Σ	∫		
5	♣	↑	%	5	E	U	e	u	à	ö	Ñ	⌚	σ	∫		
6	♠	↑	&	6	F	V	f	v	â	û	á	⌚	μ	÷		
7	•	↑	'	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	⌚	τ	≈		
8	■	↑	(8	H	X	h	x	ê	ÿ	ÿ	⌚	φ	°		
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	ë	ÿ	ÿ	⌚	Θ	•		
A	◉	→	*	:	J	Z	j	z	è	Û	⌚	Ω	•			
B	σ	←	+	;	K	[k	{	ï	Û	⌚	δ	√			
C	♀	L	,	<	L	\	l		ï	Û	⌚	∞	n			
D	♪	⊕	-	=	M]	m	}	ï	Û	⌚	φ	ε			
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	ß	⌚	Φ	ε			
F	#	▼	/	?	O	_	o		Ä	f	⌚	∩				

■コードページ850

文字セット

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	~	p			á	â	ã	ä	å	-
1		!	"	1	A	Q	a	q		í	í	ï	ï	ð	ð	±
2			"	2	B	R	b	r		ó	ó	õ	õ	ë	ë	¸
3		#	3	C	S	c	s		ñ	ñ	ñ	ñ	ï	ï	¸	¸
4		\$	4	D	T	d	t		ñ	ñ	ñ	ñ	ï	ï	¸	¸
5		%	5	E	U	e	u		Ñ	Ñ	Ñ	Ñ	ï	ï	¸	¸
6		&	6	F	V	f	v		á	á	á	á	í	í	µ	÷
7		'	7	G	W	g	w		ó	ó	ó	ó	ï	ï	¸	¸
8		(8	H	X	h	x		é	é	é	é	ï	ï	¸	¸
9)	9	I	Y	i	y		é	é	é	é	ï	ï	¸	¸
A		*	:	J	Z	j	z		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
B		+	;	K	[k	{		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
C		,	<	L	\	l			ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
D		-	=	M]	m	}		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
E		.	>	N	^	n	~		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
F		/	?	O	_	o			ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸

文字セット2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	~	p	Ç	É	á	â	ã	ä	å	-
1		!	"	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	í	ï	ï	ð	±
2			"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	ó	õ	õ	ë	¸
3	♥	#	3	C	S	c	s		â	ô	ú	ú	ï	ï	¸	¸
4	♦	\$	4	D	T	d	t		ä	ô	ñ	ñ	ï	ï	¸	¸
5	♣	%	5	E	U	e	u		à	ô	Ñ	Ñ	ï	ï	¸	¸
6	♠	&	6	F	V	f	v		â	û	á	á	í	í	µ	÷
7		'	7	G	W	g	w		ç	ù	ó	ó	ï	ï	¸	¸
8		(8	H	X	h	x		ê	ý	é	é	ï	ï	¸	¸
9)	9	I	Y	i	y		ë	ø	é	é	ï	ï	¸	¸
A		*	:	J	Z	j	z		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
B		+	;	K	[k	{		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
C		,	<	L	\	l			ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
D		-	=	M]	m	}		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
E		.	>	N	^	n	~		ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
F		/	?	O	_	o		Ä	ä	f	»	»	ï	ï	¸	¸

オールキャラクタチャート

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	◀			0	@	P	~	p	Ç	É	á	â	ã	ä	å	-
1	⊙	◀	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	í	ï	ï	ð	±
2	⊙	↑	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	ó	õ	õ	ë	¸
3	♥	!!	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	ú	ï	ï	¸	¸
4	♦	¶	\$	4	D	T	d	t	ä	ô	ñ	ñ	ï	ï	¸	¸
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ô	Ñ	Ñ	ï	ï	¸	¸
6	♠	≡	&	6	F	V	f	v	â	û	á	á	í	í	µ	÷
7	•	↑	'	7	G	W	g	w	ç	ù	ó	ó	ï	ï	¸	¸
8	■	↑	(8	H	X	h	x	ê	ý	é	é	ï	ï	¸	¸
9	○	↓)	9	I	Y	i	y	ë	ø	é	é	ï	ï	¸	¸
A	⊙	→	*	:	J	Z	j	z	ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
B	σ	←	+	;	K	[k	{	ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
C	♀	↵	<	L	\	l			ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
D	♪	↵	=	M]	m	}	}	ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	ü	ü	ü	ü	ï	ï	¸	¸
F	※	▼	/	?	O	_	o	Δ	Ä	ä	f	»	»	ï	ï	¸

(3) 2バイトコード表

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	
81	、	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
82	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	Ⅻ	Ⅻ	Ⅾ	Ⅿ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1/2	1/4	3/4	1/2	3/4	1/2	3/4
83	ア	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	カ	キ	キ	ク	ク	ケ	ケ	コ	コ	サ	サ	シ	シ	ス	ス	ゼ	ゼ	ソ	ソ	タ	タ	ダ		
84	А	Б	В	Г	Д	Е	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю		
85																																	
86																																	
87	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	ゝ		

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
81	~		
82	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
83	チ	ヂ	ツ	ヅ	テ	ト	ド	ナ	ニ	ネ	ノ	ハ	バ	ビ	ピ	フ	ブ	ヘ	ベ	ホ	ボ	マ	ミ								
84	Я	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
85																															
86																															
87	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	mm	cm	km	mg	kg	cc	m ²								

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
81	≡	≠	≠	<	>	≤	≥	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	℃	¥	\$	£	%	#	&	*	@	☆	★	○	●	◇	◆	
82	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						
83	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ヾ	カ	ケ														
84	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	і	ї	іі	ііі	іііі	ііііі	іііііі	ііііііі	іііііііі	ііііііііі	іііііііііі	ііііііііііі	іііііііііііі	
85																																
86																																
87	”	”	No	KK	TEL	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ		

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	BO	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF
81	□	■	▲	△	▼	▽	※	〒	→	←	↑	↓	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	
82	あ	い	う	え	お	か	が	き	く	け	こ	さ	し	じ	す	ず	せ	そ	た	ち												
83	Б	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	Ο	Π	P	Σ	T	Τ	Φ	X	Ψ	Ω								α	
84																																
85																																
86																																
87	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CAC	BCC	CCD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
81																															
82	ち	つ	つ	つ	て	と	ど	なに	ぬ	ね	のは	は	は	は	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	へ	へ	へ	へ	へ	ほ	ほ	ほ	ま	み	め
83	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω								@
84																															
85																															
86	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
87																															

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	FO	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC	
81																														
82	ち	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	る	を	を	を												
83	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ
84	—																													
85																														
86	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
87																														

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	
88																																	
89	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	迂	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	
8A	魁	晦	械	海	灰	界	皆	綵	芥	蟹	開	階	貝	劬	外	咳	害	崖	慨	概	涯	礙	蓋	街	該	鏡	骸	湮	馨	蛙	垣		
8B	機	掃	殺	氣	汽	幾	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑	祇		
8C	掘	窟	香	靴	嚮	窪	熊	隈	象	栗	纒	桑	歛	勳	君	薰	訓	群	軍	郡	卦	袞	祿	係	傾	刑	啓	圭	珪	型	契		
8D	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	
8E	察	抄	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鏞	鮫	血	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蚤	蠶	贊	酸	
8F	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	吳	舟	鬼	衆	襲	響	蹶	鞣	適	餽	集	醜	什	住	充	十	從	戎	裘		

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
88																																
89	在	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	厭	厭	円	
8A	柿	蠟	鈎	劃	嚇	各	廓	括	攪	核	殼	獲	確	穫	覺	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	梁	額	額	掛	筭	檉		
8B	義	蟻	誼	議	鞠	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	杆	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救			
8C	形	徑	患	慶	慧	懸	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼	繫	羣	荊	荊	荊	計	詣	警	擊	頸	鷄	芸	迎	鯨	
8D	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醉	鉉	礦	鋼	閤	降	
8E	餐	斬	暫	殘	任	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	土	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯	施	旨	枝	止	
8F	汁	泔	猷	縱	重	銃	叔	夙	宿	祝	縮	肅	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	駿	准	循	旬	殉	殉	淳			

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
88																																
89	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	燕	猿	緣	艷	苑	蘭	遠	鉛	鴛	壩	於	汚	甥	凹	央	輿	往	心	押	
8A	樞	棍	飲	馮	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	日	經	叶	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	樞	
8B	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	紉	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	鑰	鑰	鑰	鑰	鑰	鑰	
8C	劇	戰	擊	激	際	衍	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	檢	
8D	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	羈	麴	克	刻	告	國	穀	酷	鵠	黑	獄	漚	腰	餽	忽	惚	骨	迫	此	
8E	死	氏	獅	私	系	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兪	字	寺	慈	持	時	次	
8F	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	妣	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝



■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF
88	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	旭	葦	鱗	粹	庄	幹	拔	宛	姐	虻	鈞	綫	鮎	或	粟	裕			
89	旺	橫	歐	慶	王	翁	襖	鶯	鷗	黃	岡	沖	荻	億	屋	億	桶	牡	乙	俺	卸	恩	溫	穩	音	下	化	佞	何	伽	伽	
8A	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勸	勸	卷	喚	峽	強	強	強	完	官	寬	干	幹	患	感	憤	換	敢	相	桓	植	款	鄉	
8B	俠	僑	兇	競	共	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	強	強	完	官	寬	干	幹	患	感	憤	換	敢	相	桓	植	款	鄉	鏡	言	
8C	樞	牽	犬	獻	研	硯	絹	肩	見	賢	軒	遣	鍵	險	顯	驗	元	原	嚴	幻	弦	滅	淵	玄	現	絃	絃	言	諺			
8D	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	綱	混	痕	紺	良	魂	些	佐	又	峻	峽	左	差	查	沙	瑤	砂	鑽	鏤	坐	
8E	滋	治	爾	鬱	痔	磁	示	而	耳	自	時	辭	夕	鹿	式	識	鳴	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	浸	漆	疾	質
8F	匠	升	召	哨	商	唱	膏	獎	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠	影	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CAC	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DAD	DB	DC	DD	DE	DF	
88	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	嵬	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
89	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	菓	葉	蝦	課	嘩	貨	迦	過
8A	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	筒	綫	缶	翰	肝	臙	堯	謁	諫	貫	還	鑑	閭	閑	閑	陷	韓	館	館	丸	含	岸	巖	玩
8B	鸞	鸞	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	琴	禁	禽	筋	繁	芹	菌	衿	五	伍	午	
8C	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	湖	狐	糊	袴	股	胡	葫	虎	誇	跨	鉅	屨	顧	鼓	五	伍	午		
8D	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	宰	幸	彩	才	採	栽	歲	濟	災	采	犀	碎	碧	祭	齋	細	菜	載	際	劑	在	材	罪	
8E	夷	蓀	篠	德	榮	芝	屢	藥	舍	寫	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	積	
8F	沼	消	涉	湘	滄	焦	照	症	省	硝	礁	祥	稱	章	笑	粧	紹	肖	昌	蔣	衝	裳	訟	証	証	詳	象	賞	贛	鉦	鍾	

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC			
88	謂	達	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸	稻	茨	芋	鱗	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
89	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壞	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改				
8A	癌	眼	岩	配	價	雁	頑	頰	顧	企	伎	危	喜	器	基	奇	畸	奇	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駢	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈				
8C	異	吾	娛	後	御	悟	梧	橋	湖	基	語	誤	護	餓	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8D	財	呀	坂	阪	堺	禰	肴	咲	崎	崎	碕	鷺	作	削	昨	搾	朔	柵	脊	策	索	錯	梭	銜	銜	匙	冊	刷				
8E	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	壽	授	樹	綫	需	囚	収	周			
8F	鐘	障	鞞	上	丈	丞	乘	冗	剩	剩	城	場	壤	壤	常	情	擾	條	杖	淨	狀	景	穰	蒸	讓	讓	錠	囑	埴	飾		

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS C6226-1978)

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	
90	植	殖	燭	織	色	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	疹	真	神				
91	絨	羨	腺	舩	薦	詮	踐	選	選	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲	塑	望	咀	措	曾	曾	楚	狙	胆		
92	叩	但	達	辰	春	脫	巽	堅	迴	泐	谷	狸	鱒	鱒	誰	丹	單	嘆	坦	担	探	巨	歎	淡	炭	炭	短	端	錠	錠	胆	
93	邱	鄭	釘	鼎	泥	滴	滴	滴	滴	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	適	
94	如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	禰	禰	寧	葱	貓	熱	年	念	捻	燃	粘	乃	迺	之	焚	囊	惱	濃	納	能	腦	腦		
95	鼻	柁	稗	匹	疋	詔	彥	膝	麥	肘	弼	必	畢	筆	逼	檜	姪	媿	紐	百	謬	佞	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
96	法	泡	烹	砲	縫	芳	胡	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	之	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	
97	論	輪	唯	佑	優	勇	宥	幽	悠	憂	楨	有	廊	朗	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	榔	
98	會	懼	傳	僕	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	
9A	思	晒	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	
9B	奸	灼	妝	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	
9C	廖	廣	廡	廚	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	廢	
9D	憂	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	戴	
9E	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	
9F	栗	栗	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	檻	

60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E		
90	秦	紳	臣	忝	親	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	翰	簡	諷	須	酢	厨		
91	疏	疎	礎	祖	粗	粗	素	蘇	訴	阻	溯	鼠	僧	創	雙	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匣	愷	想	搜	掃	掃	掃	掃		
92	蛋	誕	鍛	團	壇	彈	斷	暖	段	段	男	談	值	知	地	馳	恥	智	池	痴	稚	置	致	岫	遲	馳	築	畜	竹	筭		
93	伝	殿	殿	田	電	冤	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	覺	冬		
94	視	蛋	巴	把	播	播	把	波	派	破	婆	芭	馬	俳	拜	排	敗	不	丕	牌	背	肺	鞞	配	倍	培	媿	梅				
95	掃	病	秒	苗	鑄	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤	鏤		
96	冒	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡	紡		
97	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擺	曜	楊	洋	溶	溶	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦		
98	倭	和	話	至	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱	盱		
9A	音	齋	嘴	口	回	册	再	岡	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑		
9B	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	
9C	象	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗		
9D	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	
9E	杼	抄	粉	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋		
9F	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	獻	

80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F	
90	還	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	稔	衰	遂	醉	鍾	隨	瑞	隴	崇	嵩	數	枢	趨	難	掘	杉	梟	菅	頰	雀	裾		
91	操	早	曹	棗	檜	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	
92	逐	秩	窰	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	耐	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄		
93	凍	刀	唐	塔	塔	套	宕	島	鳴	悼	投	搭	東	桃	構	棟	盜	淘	湯	濤	燈	當	痘	禱	禱	答	筒	糖	統	到		
94	棟	煤	狼	買	亮	陪	這	蠅	拜	矧	萩	伯	剝	博	拍	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	泊	
95	芥	普	浮	符	腐	膚	芙	語	負	賦	赴	阜	阜	侮	撫	武	舞	葡	蕪	鄆	封	楓	風	葑	葑	伏	副	復	幅	服		
96	摩	魔	魔	埋	妹	妹	枚	每	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來		
97	沃	浴	翼	翼	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	
98	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
99	鳳	口	函	刃	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	
9A	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫		
9B	它	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	宦	
9C	怙	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠		
9D	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆	揆		
9E	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳		
9F	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	磨	

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS C6226-1978)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
E0	洩	滴	瀉	澆	濟	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	澀	
E1	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	
E2	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	磚	確	
E3	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	
E4	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	
E5	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	尋	
E6	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	
E7	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	
E8	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	
E9	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	
EA	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝		
EB																																
EC																																
ED																																
EE																																
EF																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
E0	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢	漢
E1	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫	畫
E2	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	秋	
E3	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總	總
E4	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺
E5	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧
E6	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	
E7	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛	軛
E8	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡	鏡
E9	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒
EA	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛	鸛
EB																															
EC																															
ED																															
EE																															
EF																															

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
E0	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	烙	
E1	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲	痲		
E2	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠	窠		
E3	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	綵	
E4	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	鱒	
E5	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	蚊	
E6	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚		
E7	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	輦	
E8	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	閩	
E9	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷	騷		
EA	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	
EB																																
EC																																
ED																																
EE																																
EF																																

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS C6226-1978)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F							
F0																																							
F1																																							
F2																																							
F3																																							
F4																																							
F5																																							
F6																																							
F7																																							
F8																																							
F9																																							
FA	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	株	No.	Tei.	續	嬰	鎡	銑		
FB	泣	滓	溟	清	澆	森	洵	澁	滂	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗
FC	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯	鰯

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E							
F0																																						
F1																																						
F2																																						
F3																																						
F4																																						
F5																																						
F6																																						
F7																																						
F8																																						
F9																																						
FA	靛	倍	妬	昱	精	銀	昇	翽	丨	仃	任	公	仔	但	佞	佻	侗	侗	俸	俚	僕	徒	僂	倥	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	
FB	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣
FC																																						

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F					
F0																																					
F1																																					
F2																																					
F3																																					
F4																																					
F5																																					
F6																																					
F7																																					
F8																																					
F9																																					
FA	癩	宜	洽	風	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	
FB	祥	禔	福	禔	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝	竝
FC																																					

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS C6226-1978)

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF	
F0																																	
F1																																	
F2																																	
F3																																	
F4																																	
F5																																	
F6																																	
F7																																	
F8																																	
F9																																	
FA	麥	翁	翁	翁	好	妹	孖	窠	甯	寘	寬	寮	豈	岑	崧	崧	崧	崎	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	
FB	姓	蟻	襲	訃	諄	詹	誦	閻	諛	諸	諛	諛	諛	贖	賴	賢	趕	趕	軌	返	逸	逸	郎	都	鄉	鄧	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	
FC																																	

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF	
F0																																	
F1																																	
F2																																	
F3																																	
F4																																	
F5																																	
F6																																	
F7																																	
F8																																	
F9																																	
FA	惕	惴	惴	惴	惴	惴	惴	或	柄	捷	摠	摠	摠	摠	摠	摠	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	昞	
FB	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	
FC																																	

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC			
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	朗	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	
FB	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻
FC																																

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS X0208-1990)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
81	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
82	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
83	ア	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ケ	ケ	コ	コ	サ	ザ	シ	ジ	ス	セ	ソ	タ	ダ								
84	A	B	B	G	L	E	E	J	Z	I	I	K	L	M	H	O	P	P	C	T	Y	Φ	X	Π	Ч	Ш	Ш	Ъ	Ь	Э	Ю	
85																																
86																																
87	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	…	…

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E		
81	~			…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…		
82	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							
83	チ	チ	ツ	ツ	テ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ビ	ビ	フ	ブ	ヘ	ベ	ホ	ボ	マ	ミ								
84	Я	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н		
85																																	
86																																	
87	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	mm	cm	km	mg	kg	cc	m³										°

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
81	≡	=	≠	<	>	≤	≥	∞	.	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	°	
82	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						あ
83	ム	メ	モ	ヤ	ユ	エ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ヾ	カ	ケ													A
84	o	p	p	c	t	y	φ	x	ц	ч	ш	ш	ъ	ь	э	ю	я	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x		'	"	—	
85																																
86																																
87	”	No	K	R	T	E	⓪	Ⓛ	Ⓜ	Ⓝ	Ⓞ	Ⓟ	Ⓠ	Ⓡ	Ⓢ	Ⓣ	Ⓤ	Ⓥ	Ⓦ	Ⓧ	Ⓨ	Ⓩ	ⓐ	ⓑ	ⓓ	ⓔ	ⓕ	ⓖ	ⓗ	ⓘ	ⓙ	ⓚ

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BABB	BBC	BD	BE	BF	
81	□	■	△	▲	▼	▽	※	〒	←	→	↑	↓	⇄	⇅	⇆	⇇	⇈	⇉	⇊	⇋	⇌	⇍	⇎	⇏	⇐	⇑	⇒	⇓	⇔	⇕	⇖	
82	あ	い	う	え	お	か	が	き	く	け	こ	さ	し	じ	ず	ぜ	そ	た	だ	ち												
83	B	G	Δ	E	Z	H	⊕	I	K	L	M	N	Ξ	Ο	Π	Σ	T	T	Φ	X	Ψ	Ω									α	
84		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	
85																																
86																																
87	”	”		”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CAC	BCC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DADB	DC	DD	DE	DF		
81	ち	つ	つ	つ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	ぼ	ま	み	む	め			
83	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω								@	
84																																
85																																
86	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	
87																																

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	FO	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC			
81	≡	<<	>>	√	∞	∞	.	°	°	°	°	°	°	°	°	°	A	%	#	b	♪	†	‡	¶						○		
82	ち	や	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	る	ゑ	を	ん																
83	Ⓟ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	Ⓞ	
84	—		あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	わ	つ	アイ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	カ	ケ										
85																																
86	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
87																																

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS X0208-1990)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F		
88																																		
89	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鷄	窺	丑	確	白	渦	嘯	唄	爵	蔚	鰻	姥	厥	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲		
8A	魁	晦	械	海	灰	界	皆	綵	芥	蟹	開	階	貝	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎬	骸	湮	擊	蛙	垣			
8B	機	掃	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌	飢	騎	鬼	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	圭	珪	疑	祇			
8C	掘	窟	香	靴	窪	窪	熊	隈	象	栗	纒	桑	歛	黥	君	薰	訓	群	軍	郡	卦	袞	祁	係	傾	兄	啓	圭	珪	型	契			
8D	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庚	庚	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	兎	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩			
8E	察	拶	撮	擦	私	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鏞	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蠶	蠶	贊	酸		
8F	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	襲	蹶	輻	週	酉	酬	集	醜	什	住	充	干	從	戎	柔		

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
88																																
89	住	餌	叡	當	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閏	馱	厭	門	
8A	柿	斲	鈎	劇	嚇	各	廓	括	攬	核	澱	確	穫	覓	赫	較	郭	閣	隔	革	學	岳	樂	額	額	掛	筮	筮	壓			
8B	義	蟻	誼	議	菊	鞠	吉	喫	梟	桔	橘	詰	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救			
8C	形	徑	患	慶	慰	慰	揭	携	敬	景	桂	桂	暉	稽	系	絳	繼	繫	野	荊	蚩	計	詣	警	輕	額	額	芸	迎	鯨		
8D	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醉	鉞	鉞	鋼	閏	降		
8E	餐	斬	暫	殘	仕	伺	便	刺	司	史	嗣	四	土	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	夜	斯	施	旨	枝	止		
8F	汁	洪	獸	縱	重	鏡	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楮	殉	淳	

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
88																																
89	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	煙	燕	猿	緣	艷	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	輿	往	忒	押	
8A	檀	棍	斂	渴	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	擊	叶	樺	樺	靴	株	兜	竈	釜	鏢	鴨	栢	茅	萱	粥		
8B	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	絞	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	鏢	魚	亨	亨	烹		
8C	劇	戲	擊	激	際	隙	隙	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	倓	倦	健	兼	券	劍	喧	園	堅	腰	建	憲	懸	拳	捲	
8D	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	瀾	腰	韻	忽	惚	骨	狎	込	
8E	死	氏	獅	祉	糸	系	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	
8F	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	



■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS X0208-1990)

A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF		
88	唯	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	旭	葦	鱗	粹	庄	幹	披	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	裕			
89	旺	橫	歐	毆	我	翁	襖	鴛	鳴	岡	沖	萩	億	屋	億	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	溫	穩	音	下	化	佞	何	伽	伽		
8A	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勸	卷	喚	琪	茲	完	官	寬	干	幹	患	感	價	憾	換	敢	柑	桓	楫	款	飲	汗	漢		
8B	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕃	鄉	鏡	謔	
8C	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顯	駭	顛	元	原	廠	幻	弦	滅	源	玄	現	絃	絃	言	謔		
8D	頃	今	困	坤	壘	婿	恨	懇	昏	昆	根	柄	混	紺	良	魂	些	佐	又	唆	嗟	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖	姿	坐		
8E	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	夕	鹿	式	識	鳴	竺	軸	六	霏	七	叱	執	失	嫉	室	悉	溼	漆	疾	質	
8F	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	嬰	妾	媼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樵	樵

C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF	
88	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匪	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	衣	
89	佳	加	可	嘉	嫁	家	寡	科	嘍	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	
8A	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	綫	缶	翰	肝	艦	究	覲	諫	貫	還	鑑	閭	闕	陷	韓	館	館	丸	含	岸	巖	玩	
8B	饗	驚	仰	凝	堯	晚	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	韓	繁	片	茵	衿	互	伍	午
8C	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	孤	戶	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	葫	虎	誇	跨	窟	窟	顧	鼓	五	互	伍	午
8D	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟	災	采	犀	碎	碧	祭	齋	細	菜	載	際	劑	在	材	罪	
8E	夷	薺	篠	偃	柴	芝	屢	蕊	綺	含	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	灼	灼	爵	酌	穢
8F	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	稱	章	笑	粧	紹	肖	昌	蔣	蕉	衝	寰	訟	証	証	詳	象	賞	賞	鉦	鉦

E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC	
88	謂	違	遺	医	井	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸	稻	苾	芋	鱗	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
89	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	質	雅	餓	駕	介	解	回	塊	廻	快	怪	悔	懷	懷	戒	拐	改		
8A	癩	眼	岩	駢	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
8B	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	駟	駟	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
8C	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	樵	瑚	基	語	誤	護	餽	乞	鯉	交	倭	侯	倅	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
8D	財	冚	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	崎	碕	鷺	作	削	昨	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	櫻	銜	匙	冊	刷	
8E	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	殊	符	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綫	需	囚	収	周	
8F	鐘	障	鞘	上	丈	禾	乘	冗	刺	城	場	壤	常	情	擾	条	杖	淨	狀	暈	穰	蒸	讓	餓	鉦	鉦	囑	埴	埴



■漢字コード表 (JIS第一水準 JIS X0208-1990)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
90	拭	植	殖	蠟	織	色	蝕	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	寢	審	心	慎	振	新	晉	森	榛	浸	深	申	疹	真	神		
91	緘	羨	腺	舛	船	詮	踐	邁	選	錢	銑	閃	鮮	前	漸	然	全	禪	繕	膳	輝	塑	望	咀	措	曾	曾	楚	狙	胆		
92	叩	但	達	辰	唇	脫	巽	堅	迦	迦	谷	狸	標	誰	丹	單	喚	坦	探	巨	歎	淡	澗	炭	短	端	筆	經	耽	胆		
93	邱	鄭	釘	鼎	妊	拗	擢	敵	滴	的	笛	適	錫	溺	哲	徹	迭	鉄	天	展	店	添	纏	甜	貼	軋	軋	軋	軋	軋		
94	如	尿	菲	任	忍	認	濡	襦	襦	寧	葱	貓	熱	年	念	捻	燃	粘	乃	迺	之	筌	囊	惱	納	能	腦	腦	腦	腦		
95	鼻	佟	稗	匹	疍	髭	彥	膝	菱	肘	躬	必	畢	筆	逼	恰	姪	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	水	漂	濃	票	表	評	豹	
96	法	泡	烹	砲	縫	芳	萌	蓬	菱	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒			
97	論	輪	唯	佑	纒	勇	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	獸	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	論	
98	連	連	鍊	呂	櫓	戶	路	露	勞	婁	弄	朗	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	蠶	郎	郎	六	麓	肋	助	鏡	鏡	鏡	鏡	
99	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
9A	思	晒	咄	咄	高	哿	哦	唏	唏	哽	唏	喃	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	唏	
9B	奸	灼	妝	佞	佞	姐	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼
9C	廖	廣	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝
9D	曼	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁	裁
9E	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩	嘩
9F	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉	葉

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
90	秦	紳	臣	心	親	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	王	尋	甚	腎	訊	迅	陣	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫	鞫
91	疏	疎	礎	礎	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租
92	蛋	誕	鍛	團	彈	彈	斷	暖	檀	段	男	談	值	知	地	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築	畜	竹	筵	著	
93	伝	殿	殿	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	免	賭	途	都	鏞	砥	砥	努	度	王	奴	怨	劍	冬	
94	視	蛋	巴	把	播	翻	把	波	派	琶	破	婆	芭	馬	俳	拜	非	敗	不	杯	牌	背	肺	配	倍	培	媾	梅			
95	描	病	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭
96	冒	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼
97	輿	預	備	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼	幼
98	倭	和	話	至	爾	隨	惑	樺	瓦	巨	鱈	葦	藏	碗	碗	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕
99	俞	兮	冀	回	冊	再	岡	青	晷	冕	一	冕	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	
9A	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾	啾
9B	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
9C	象	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗	彗
9D	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜	拜
9E	籽	抄	粉	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋
9F	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
90	還	吹	垂	師	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	鍾	鍾	隨	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	
91	操	早	曹	巢	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	槽	
92	逐	狹	窳	茶	摘	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	酎	
93	凍	刀	唐	塔	塔	套	若	島	鳴	鳩	投	搭	東	桃	棟	盜	淘	湯	湯	燈	當	痘	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	袴	
94	模	煤	狼	買	亮	陪	這	蟬	輝	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	船	薄	迫	曝	曝	曝	曝	曝	曝	曝	曝	曝	
95	斧	普	浮	父	符	腐	膚	美	譜	負	賦	赴	阜	阜	侮	撫	武	舞	葡	蕪	鄧	封	楓	風	聳	聳	聳	聳	聳	聳		
96	摩	磨	磨	麻	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	妹	
97	沃	浴	翌	翼	淀	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	羅	
98	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	∖	
99	鳳	口	函	刃	刊	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	
9A	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	
9B	它	宦	宸	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	寇	
9C	恰	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	
9D	振	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	
9E	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	
9F	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹	鷹

付録

■漢字コード表（JIS第一水準 JIS X0208-1990）

Table with 28 columns (A0-A1) and 28 rows (90-9F) containing Japanese characters from the JIS X0208-1990 standard.

Table with 28 columns (C0-C1) and 28 rows (90-9F) containing Japanese characters from the JIS X0208-1990 standard.

Table with 28 columns (E0-E1) and 28 rows (90-9F) containing Japanese characters from the JIS X0208-1990 standard.

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS X0208-1990)

	AO A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	AA	AB	AC	AD	AE	AF	BO B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BABB	BC	BD	BE	BF
E0	爍	爐	爛	爨	攀	爬	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E1	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E2	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E3	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E4	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E5	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E6	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E7	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E8	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
E9	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰	爰
EA																												
EB																												
EC																												
ED																												
EE																												
EF																												

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
E0	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E1	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E2	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E3	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E4	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E5	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E6	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E7	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E8	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
E9	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽	狽		
EA																															
EB																															
EC																															
ED																															
EE																															
EF																															

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EABB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC
E0	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E1	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E2	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E3	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E4	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E5	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E6	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E7	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E8	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
E9	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙	珙
EA																												
EB																												
EC																												
ED																												
EE																												
EF																												

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS X0208-1990)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	一	丨	丿	丨	丨	丨	丨	丨	丨	丨	丨	
FB	泣	澤	溟	清	澆	森	洵	滯	溪	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	澗	
FC	鰯	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
F0																															
F1																															
F2																															
F3																															
F4																															
F5																															
F6																															
F7																															
F8																															
F9																															
FA	配	倍	炆	昱	精	銀	昇	罇	丨	仝	任	公	仔	但	佖	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	佞	
FB	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣
FC																															

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	熈	巨	洽	夙	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘	芘		
FB	祥	禔	福	禔	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	
FC																																

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 JIS X0208-1990)

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF	
F0																																	
F1																																	
F2																																	
F3																																	
F4																																	
F5																																	
F6																																	
F7																																	
F8																																	
F9																																	
FA	參	翁	翁	翁	好	妹	孖	窠	宵	寘	寬	寮	豈	峇	崧	崧	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠		
FB	蚌	蟻	妻	訶	諄	詹	誦	閻	諛	諸	諶	諶	諶	贖	賴	賢	趕	趕	軌	返	逸	道	郎	都	鄉	鄧	釵	釵	釵	釵	釵		
FC																																	

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	惕	愠	惓	惓	愠	愠	愠	或	柄	捷	摠	摠	摠	摠	摠	摠	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	昀	
FB	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
FC																																

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC		
F0																															
F1																															
F2																															
F3																															
F4																															
F5																															
F6																															
F7																															
F8																															
F9																															
FA	朗	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓
FB	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷	銷
FC																															

付録

■漢字コード表 (IBM JIS)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F			
81	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、		
82	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1/2	1/3	1/4	1/5	3/4					
83	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	ビ	ブ	ヘ	ベ	ホ	ボ	マ	ミ
84	A	B	B	D	E	E	J	K	L	M	H	O	P	P	C	T	Y	F	X	I	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	
85																																			
86																																			
87	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X					

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F		
81	~			()	[]	{ }	< >	<>	<>	「 」	『 』	[]	+ -	±	×												
82	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z								
83	チ	ツ	ツ	ツ	テ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	ビ	ブ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	
84	Я	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н			
85																																		
86																																		
87	*	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	mm	cm	km	mg	kg	cc	cm ³											平成

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F	
81	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	.	°	′	″	°	¢	¥	\$	£	%	#	&	*	@	☆	★	○	●	◇	◆					
82	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z							あ
83	△	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ヴ	カ	ケ														A
84	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ь	э	ю	я	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	'	"	—			
85																																	
86																																	
87	”	No	KK	TEL	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF	
81	□	■	▲	▼	▽	※	〒	←	↑	↓	⇒	⇐	⇑	⇓	⇔	⇕	⇖	⇗	⇘	⇙	⇚	⇛	⇜	⇝	⇞	⇟	⇠	⇡	⇢	⇣	⇤	⇥	
82	あ	い	う	え	お	か	が	き	く	け	こ	ご	さ	し	じ	ず	ぜ	そ	た	だ	ち												
83	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	L	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	T	Φ	X	Ψ	Ω									α	
84																																	
85																																	
86																																	
87	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DAD	DB	DC	DD	DE	DF	
81	ち	つ	つ	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	び	び	ぶ	ぶ	へ	べ	ぼ	ぼ	ま	ま	み	み	む	め						
82	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω										
83																																	
84																																	
85																																	
86																																	
87																																	

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC					
81	=	<	>	√	∞	∞	.	∫	∫	∫							A	%	#	b	♪	†	‡	¶										
82	ち	や	や	ゆ	ゆ	よ	ら	り	る	ろ	わ	わ	る	る	る	る	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を	を		
83	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ	ⓧ		
84	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	
85																																		
86																																		
87																																		

付録

■漢字コード表 (IBM JIS)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F		
88																																		
89	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鴉	窺	丑	確	白	渦	噁	嘔	蔚	蔚	鰻	姥	既	浦	瓜	閏	啤	運	雲			
8A	魁	崎	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖	慨	概	淫	碍	蓋	街	該	鑑	裡	馨	蛙	垣			
8B	機	歸	毅	氣	汽	畿	折	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑	祇		
8C	掘	窟	香	靴	嚮	窪	熊	隈	象	栗	纜	桑	鍛	敷	君	薰	訓	群	軍	郡	卦	袞	祁	係	傾	刑	兄	圭	珪	型	契			
8D	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庠	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩		
8E	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	皁	捌	鏞	鮫	血	晒	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蚤	讚	贊	酸		
8F	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讐	蹴	輯	週	會	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎	柔		

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E		
88																																	
89	在	餌	叡	宮	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	越	閱	覆	厭	凹			
8A	柿	蠟	鈎	劃	嚇	各	廓	括	攬	格	核	殼	獲	確	穫	覺	角	赫	較	郭	閣	隔	革	學	岳	桑	額	顎	掛	筭	榨		
8B	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救		
8C	形	徑	患	慶	慧	懸	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼	繫	野	荊	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	去	迎	顛		
8D	溝	溝	甲	皇	硬	穉	糠	紅	紘	絃	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醉	鉦	礦	鋼	閣	降		
8E	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯	施	旨	枝	止		
8F	汗	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	熟	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳		

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F	
88																																	
89	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	緣	艷	苑	園	遠	鉛	鴛	鹽	於	汚	甥	凹	央	奧	往	忒	押	
8A	櫃	梔	梔	馮	割	喝	恰	括	活	渴	葛	褐	轄	且	鯉	叶	椹	樺	靴	株	兜	竈	蒲	釜	釜	鋸	鋸	禦	魚	亨	享	京	供
8B	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	擲	拳	渠	虛	許	距	鋸	鋸	禦	魚	亨	享	京	供		
8C	劇	戟	擊	激	隙	隙	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	檢	
8D	項	香	高	鴻	剛	劫	劫	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻	告	國	穀	錫	黑	獄	漉	腰	韻	忽	惚	骨	狛	込	此		
8E	死	氏	獅	社	私	糸	紙	紫	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	時	時	次		
8F	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	署	諸	諸	助	叙	叙	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝	



■漢字コード表 (IBM JIS)

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF
88	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	旭	葦	鱗	梓	庄	幹	披	宛	姐	虻	鉤	絢	綾	鮎	或	粟	裕		
89	旺	橫	歐	陵	王	翁	襖	鶯	黃	岡	沖	菽	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	溫	穩	音	下	化	何	佝	伽		
8A	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干	幹	患	感	憤	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歡	汗		
8B	俠	僑	兇	鏡	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	菁	鄉		
8C	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	道	鍵	險	顯	驗	鹼	元	原	嚴	幻	弦	滅	源	玄	現	絃	絃		
8D	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂	些	左	又	峻	嵯	左	差	查	沙	瑩	砂	詐	鑽		
8E	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺	軸	穴	霰	七	叱	執	失	嫉	室	悉	濕	漆		
8F	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	羹	妾	媚	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	抄	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
88	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	嵬	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	異	異	移	維	緯	胃	萎	
89	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	唾	迦	過		
8A	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	綫	缶	翰	肝	艦	莞	觀	諫	貫	還	鑑	閑	閑	閑	陷	館	館	丸	含	岸	巖	玩	
8B	鸞	鸞	仰	凝	堯	曉	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	繁	芹	菌	衿	襟	謹		
8C	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	庫	弧	戶	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	葫	虎	誇	跨	鉅	屨	顧	鼓	五	互	伍		
8D	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	宰	幸	彩	才	採	栽	歲	濟	災	采	犀	碎	碧	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	在		
8E	實	蔘	篠	僂	恩	柴	芝	屢	藥	綺	舍	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	杓	杓	爵		
8F	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	昌	蔣	焦	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	贛	鍾	

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC
88	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸	稻	茨	芋	鱗	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
89	霞	蚊	俄	峨	我	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
8A	癌	眼	岩	醜	贗	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬌	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	旣	期	棋	棄
8B	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	矩	苦	驅	駟	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	櫛	肩	屈		
8C	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	橋	瑚	基	語	誤	護	餽	乞	鯉	交	佼	侯	倅	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
8D	財	呀	坂	阪	界	禰	肴	咲	崎	崎	碯	鸞	作	削	昨	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	櫻	鮭	筴	匙	冊	刷
8E	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	宋	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綫	霰	囚	収	周
8F	鐘	障	轄	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	常	情	摯	条	杖	淨	狀	量	穰	蒸	讓	醜	鉅	颯	埴	填



■漢字コード表 (IBM JIS)

40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
90	拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食	蝕	辱	尻	伸	侵	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	浸	深	申	疹	真	神	
91	織	羨	腺	舩	薦	詮	賤	踐	選	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禪	繡	膳	糧	糧	糧	糧	糧	糧	糧	糧	糧	
92	叩	但	達	辰	奪	駭	巽	堅	迦	棚	谷	狸	轉	誰	丹	喚	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	湛	短	端	綻	綻	綻	綻	
93	邸	鄭	釘	鼎	冠	擺	敵	滴	的	笛	適	鏞	溺	哲	徹	輒	送	鉄	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	貼	貼	貼	貼	
94	如	尿	菲	任	忍	認	滿	彌	苾	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	葱	
95	鼻	格	稗	匹	正	髻	彦	膝	菱	肘	病	必	畢	筆	逼	檜	媛	媛	紐	百	謬	依	彪	標	漂	飄	票	表	評	豹	廟
96	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	衰	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	之	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忙	房	暴	望	某	棒
97	論	輸	唯	佑	優	勇	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	猶	飲	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	融	夕	子	余	与	譽	論	
98	98	僊	僊	傳	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊
99	99	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊

60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
90	秦	紳	臣	忝	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	子	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	綱	綱	綱	綱	綱	綱	
91	疏	疎	礎	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	
92	蛋	誕	鍛	囤	壇	彈	斷	暖	禮	段	男	談	值	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	致	致	致	致	致	致	致	致	致	
93	伝	殿	殿	田	電	電	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	冤	賭	途	都	鈹	砥	礪	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
94	視	蚤	巴	把	播	翻	杷	波	派	琶	破	婆	馬	芭	馬	非	靡	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	配	位	培	煤	媒	敷	
95	診	病	秒	苗	鑄	鏝	鏝	鏝	品	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	富	富	富	富	富	富	
96	冒	紡	紡	膨	謀	賢	賢	鉅	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	鈞	勃	沒	殆	嵬	魄	奔	本	翻	凡	盆
97	興	預	備	幼	妖	庸	揚	搖	搖	囉	楊	樣	洋	溶	熔	用	黛	羊	耀	菜	要	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	誦	
98	倭	和	話	歪	賄	賄	惑	粹	鷲	互	鷲	蕪	蕪	碗	碗	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	腕	
99	兪	兮	莫	同	回	册	冉	岡	冓	冓	冕	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	冓	

80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
90	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	燂	粹	翠	衰	遂	醉	錘	髓	瑞	髓	崇	嵩	數	樞	趨	雛	据	杉	榻	菅	頰	雀	襪	澄
91	操	曹	菓	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜	檜
92	逐	秩	窠	茶	藪	着	中	仲	由	忠	抽	昼	柱	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	
93	凍	刀	唐	塔	塔	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棟	盜	淘	湯	瀟	燈	燈	當	痘	禱	等	答	筒	糖	統	董	
94	煤	煤	狼	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
95	斧	普	浮	符	腐	膚	芙	譜	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	葡	蕪	部	封	楓	風	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	
96	摩	磨	麻	理	妹	枚	每	哩	積	幕	枕	甞	臍	亦	僕	又	抹	末	沫	迄	齒	磨	萬	處	處	處	處	處	處	處	
97	沃	浴	登	翼	羅	羅	裸	萊	萊	類	雷	洛	絡	落	酪	亂	卵	嵐	欄	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	
98	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	
99	鳳	口	函	刃	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	判	

付録

■漢字コード表 (IBM JIS)

AO	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF	
90	摺	世	瀨	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	聲	製	西	誠	誓	請		
91	歲	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	屬	賊	族	統	卒	袖	其	揣	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
92	帳	庁	弔	張	影	徵	懲	挑	朝	暢	朝	牒	眺	眺	聽	腸	腸	蝶	調	課	跳	跳	跳	頂	鳥	勅	擿	直	朕	沈	珍	
93	蕩	藤	討	釐	躋	踏	逃	透	鏡	陶	頭	騰	關	鬪	動	同	堂	導	撞	撞	洞	瞳	童	胴	道	銅	峠	錫	箇	得		
94	箱	裕	箸	箸	箸	櫛	櫛	肌	畑	島	八	鉢	滾	發	髮	伐	罰	拔	筏	筏	閥	鳩	嘶	鳩	牟	判	半	反	叛	帆		
95	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	緋	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	粉	霧	文	聞	內	併	兵	屏	幣	平	弊	柄	
96	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	葵	稔	脈	妙	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘	冥	名	命	盟	
97	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	乖	掠	略	劉	流	溜	琉	留	疏	粒	隆	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	儂	兩	凌	寮	料	
98	丐	丕	个	夆	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	丩	
99	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	

CO	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
90	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設	窃	笛	
91	訖	唾	墮	妥	情	打	杞	陀	陀	駝	驪	体	堆	对	耐	岱	帶	待	怠	態	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	
92	賃	鎮	陳	津	推	樵	追	鋪	通	塚	楨	楓	規	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鏗	椿	潰	壺	壺	孀	紬	爪	吊	鈞	鶴	
93	濱	特	督	禿	黨	獨	誦	柄	般	潘	範	範	采	煩	飯	挽	晚	番	盤	馨	蕃	蜜	匪	卑	否	妃	庇	彼	那		
94	搬	斑	板	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎
95	蔽	蔽	陸	米	眞	辟	壁	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧	碧
96	迷	銘	鳴	姪	牡	滅	免	棉	綿	緬	麵	摸	摸	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	丕	勿	餅	尤	戾
97	梁	涼	獮	療	瞭	瞭	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫	厘	淋	淋	淋	淋	臨	臨	麟	麟	璠	璠	璠	璠	璠	璠
98	仟	价	伉	伏	伏	佛	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙	尙
99	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵

EO	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC			
90	說	雪	絕	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	扇	撰	桧	桧	泉	淺	染	潛	煎	旋	旋	穿	箭	線			
91	隊	窳	銅	代	台	大	第	醜	鷹	滝	卓	啄	宅	托	扞	拓	沃	灌	琢	託	鐸	濁	誦	莖	莖	風	蛄	只			
92	亭	低	停	偵	刺	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	提	梯	汀	碇	偵	程	縮	締	訂	飆	蹄	通			
93	內	乍	瓜	雞	謎	灘	捺	鍋	駟	繩	礙	南	楠	軟	難	汝	二	尼	式	邇	邇	邇	肉	虹	廿	日	乳	入			
94	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	秘	緋	肥	被	非	費	避	非	飛	髓	髓	備	尾	微	毘	毘	眉	眉	美				
95	步	甫	補	輔	輔	墓	慕	慕	暮	母	簿	善	倣	俸	包	呆	報	奉	寶	峯	崩	抱	抱	捧	放	方	朋				
96	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦	靦
97	伶	例	冷	勵	嶺	玲	礼	鈴	隸	零	麗	齡	曆	歷	列	劣	裂	廉	恋	憐	煉	煉	煉	煉	煉	煉	煉	煉			
98	倨	倨	倪	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
99	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮
9A	壘	壯	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
9B	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖	厖
9C	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫	憫
9D	杳	呢	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶	昶
9E	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅	樅
9F	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐	泐

付録

■漢字コード表 (IBM JIS)

AOI A1	A2 A3	A4 A5	A6 A7	A8 A9	AA AB	AC AD	AE AF	BO B1	B2 B3	B4 B5	B6 B7	B8 B9	BA BB	BC BD	BE BF
E0	耀燦	爐爛	爛攀	爭爬	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E1	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E2	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E3	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E4	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E5	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E6	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E7	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E8	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
E9	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
EA	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰	爰爰
EB															
EC															
ED															
EE															
EF															

CO C1	C2 C3	C4 C5	C6 C7	C8 C9	CA CB	CC CD	CE CF	DO D1	D2 D3	D4 D5	D6 D7	D8 D9	DA DB	DC DD	DE DF
E0	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E1	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E2	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E3	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E4	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E5	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E6	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E7	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E8	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
E9	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊	猊猊
EA															
EB															
EC															
ED															
EE															
EF															

EO E1	E2 E3	E4 E5	E6 E7	E8 E9	EA EB	EC ED	EE EF	FO F1	F2 F3	F4 F5	F6 F7	F8 F9	FA FB	FC
E0	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E1	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E2	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E3	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E4	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E5	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E6	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E7	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E8	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
E9	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉	珉珉
EA														
EB														
EC														
ED														
EE														
EF														

付録

■漢字コード表 (IBM JIS)

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	一	丨	”	(株)	No.	TEL.	..	續	嬰	鉄	銑	
FB	粒	滓	溟	清	澆	森	洵	湜	滯	漢	澗	激	漸	瀆	溼	瀨	吳	炫	熾	焄	焜	焹	焯	焱	焮	焯	焱	焮	焯	焱	焮	
FC	鬪	鯨	鮪	鮓	鮔	鮕	鰻	鰼	鰽	鰾	鰿	鰻	鰼	鰽	鰾	鰿	鰻	鰼	鰽	鰾	鰿	鰻	鰼	鰽	鰾	鰿	鰻	鰼	鰽	鰾	鰿	

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
F0																															
F1																															
F2																															
F3																															
F4																															
F5																															
F6																															
F7																															
F8																															
F9																															
FA	配	侶	妬	昱	精	銀	昇	擲	丨	乞	任	公	仔	但	佖	佞	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	
FB	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣	珣
FC																															

	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	8A	8B	8C	8D	8E	8F	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	9A	9B	9C	9D	9E	9F
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	
FB	祥	禔	福	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	禔	
FC																																

付録

■漢字コード表 (IBM JIS)

	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	AB	AC	AD	AE	AF	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	BA	BB	BC	BD	BE	BF
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	參	翁	奄	翁	好	妹	孖	窠	甯	寘	寬	寮	豈	岑	崕	崧	崑	嶺	嶠	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	嶸	
FB	姓	蟻	妻	訶	諄	詹	誦	闇	諛	諸	諛	諛	諛	諛	贖	賴	賈	趕	軌	返	逸	邈	郎	都	鄉	鄧	釵	釵	釵	釵	釵	
FC																																

	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	CA	CB	CC	CD	CE	CF	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9	DA	DB	DC	DD	DE	DF
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	惕	愠	惓	愠	愠	愠	愠	或	柄	鍵	摠	摠	摠	摠	摠	摠	昂	昉	昂	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	昉	
FB	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
FC																																

	E0	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9	EA	EB	EC	ED	EE	EF	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	FA	FB	FC			
F0																																
F1																																
F2																																
F3																																
F4																																
F5																																
F6																																
F7																																
F8																																
F9																																
FA	朗	杓	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	榘	
FB	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻	銻
FC																																

付録

索引

【数字・アルファベット】

0 (ゼロ) 書体	3-48
2ページ印刷機能	2-62
2ページ印刷機能の設定	3-17
CR機能	3-46
Fmode 1	2-9
Fmode 2	2-11
Fmode 3	2-12
Fmode 3のワイド領域	2-23
Fmode 4	2-14
Fmode 4のワイド領域	2-25
Fmode 6	2-16
Fmode 6のワイド領域	2-26
Fmode 7	2-18
Fmode 7のワイド領域	2-27
Fmode 8	2-20
Fmode 8のワイド領域	2-28
HEX/LIPS機能	3-54
LIPSフォーム	3-56
OCR文字	3-27
VFCグループ	3-41

【い】

イメージの補正	3-29
イメージラップ	3-40
印刷幅	3-15
印字機能グループ	3-29
印字動作グループ	3-37
印字領域の右端	2-41
印字領域の下端	2-38
印字領域の左端	2-36

印字領域の上端	2-33
印字領域モード	3-13
【う】	
上余白	3-9
【え】	
エミュレーションモードの初期値	app.7
【か】	
改行幅	3-41
拡張機能	2-42
カット紙	2-2
漢字グラフィックセット	3-25
漢字サイズ	3-26
漢字書体	3-23
漢字比率	2-58
漢字ピッチ	3-22
【き】	
行桁固定機能	2-57
行桁固定機能グループ	3-18
行数	3-20
行数固定機能	3-18
共通ページ	2-48
【く】	
グラフィックモード	3-51
【け】	
桁固定機能	3-19
桁数	3-21

【こ】

コードページ	3-50
コマンドモード	3-52

【し】

システムページ	2-43
システムページのオーバーレイ印字	3-30
自動排紙	3-37
自動復帰機能	3-47
初期状態	app.7

【す】

スタートアップマクロ	3-32
ステータスプリント	app.18

【そ】

ソフトリセット処理	app.7
-----------------	-------

【と】

動作モード	1-5
登録レベル	3-53

【は】

ハードリセット処理	app.7
-----------------	-------

【ひ】

標準領域モード	2-3, 2-23
左開き	2-62

【ふ】

フォントID	3-24
フォントグループ	3-23
複写ページ	2-48
複写用紙機能	2-48

プリンタ初期化	app.7
プリント中止	app.7
プロプリンタグループ	3-46

【へ】

ヘキサ形式モード後の改行無視の設定	3-39
ページオーバーレイ機能	2-42
ページフォーマット	2-3
ページフォーマットの種類	2-8
ページフォーマットの選択	3-7
ページレイアウトグループ	3-7

【ま】

マクロ機能	2-53
マクロ番号	2-53

【み】

右開き	2-62
右マージン既定値	3-14
ミシン目スキップ行数の設定	3-45

【も】

文字セット	3-49
-------	------

【ゆ】

ユーザページ	2-45
ユーザページのオーバーレイ印字	3-34, 3-35
ユーザページの登録	2-45

【よ】

用紙位置の微調整	3-11
用紙サイズ	2-2
用紙サイズの設定	3-16
用紙長機能	3-42

用紙長設定	3-43
【り】	
リセット処理	app.7
リセット処理の種類	app.7
【れ】	
連続用紙	2-2
【わ】	
ワイド領域モード	2-23

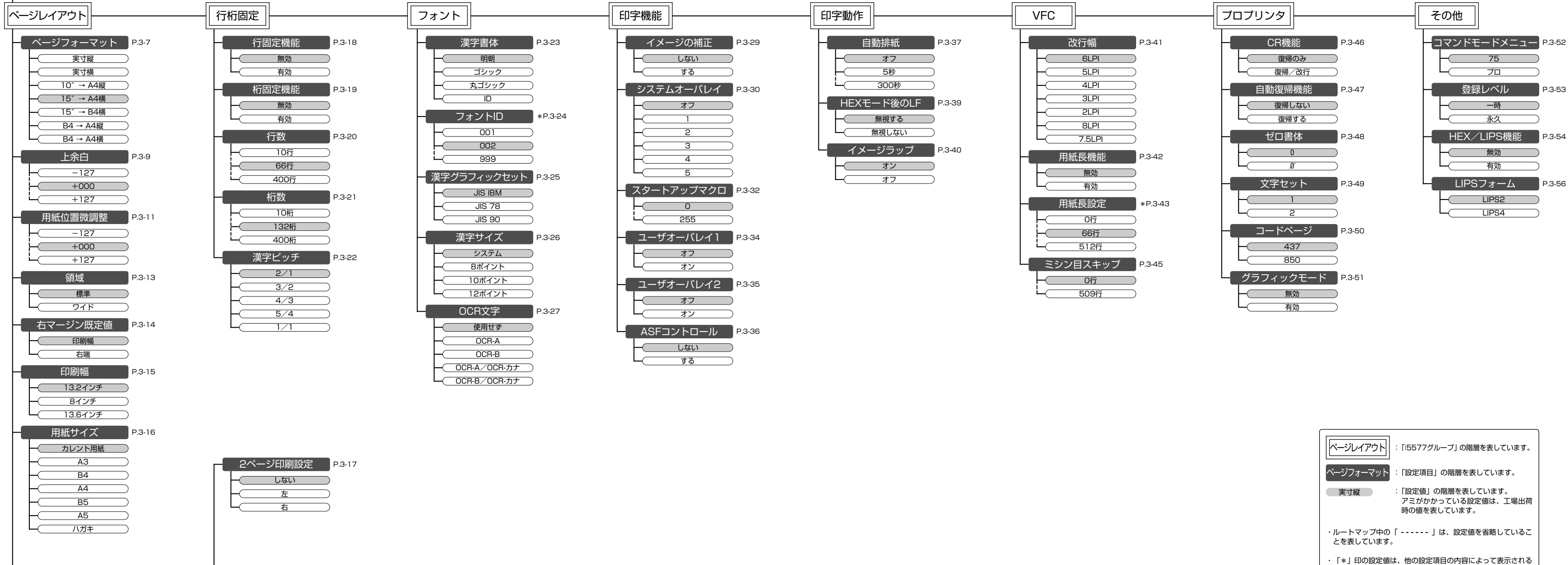
メニュールートマップ (LBPシリーズ)

15577

《15577専用セットアップメニュー》

共通セットアップメニューのグループの階層で「15577セットアップ」を選択すると、15577専用セットアップメニューが表示されます。

15577セットアップ



ページレイアウト : 「15577グループ」の階層を表しています。

ページフォーマット : 「設定項目」の階層を表しています。

実寸縦 : 「設定値」の階層を表しています。
アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値を表しています。

・ルートマップ中の「-----」は、設定値を省略していることを表しています。

・「*」印の設定値は、他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。

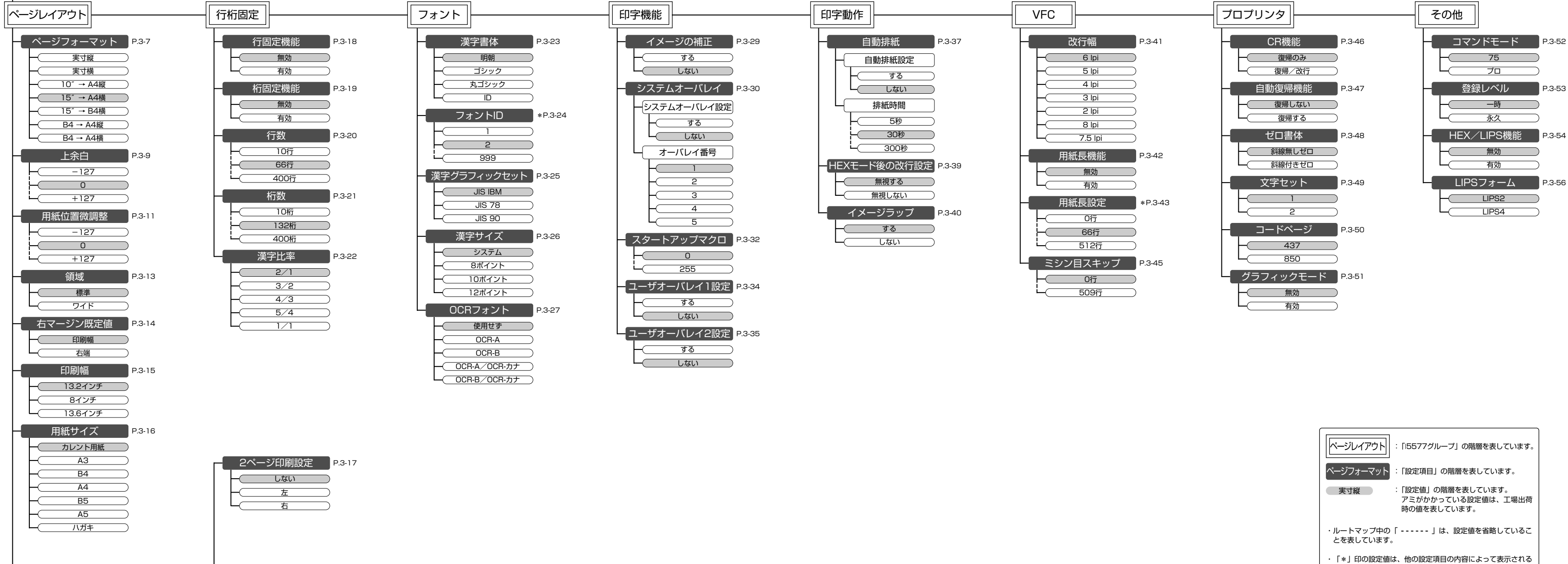
メニュールートマップ (iRシリーズ)

i5577

《i5577専用セットアップメニュー》

LIPS/エミュレーション設定メニューで「i5577設定」を選択すると、i5577専用セットアップメニューが表示されます。

i5577設定



ページレイアウト : 「i5577グループ」の階層を表しています。
ページフォーマット : 「設定項目」の階層を表しています。
実寸縦 : 「設定値」の階層を表しています。
アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値を表しています。

・ルートマップ中の「-----」は、設定値を省略していることを表しています。

・「*」印の設定値は、他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。

Canon